

### 第三十一 教育費補助

#### ○市町村立小學校教員住宅費補助條件並歩合等規定ニ關スル注意事項

(明治四〇・四二・普通學務局通牒)  
未發普三六二號

今般文部省令第三十號ヲ以テ市町村立小學校教員住宅費補助規程發布相成候ニ付テハ該規程第二條ニ依リ補助ノ條件並歩合等御定メ可相成等ニ有之候處右ニ關シテハ左記ノ事項御注意相成度且教員住宅ノ設置ハ精々獎勵ヲ加ヘラレ度

- 一、教員住宅ハ成ルヘク學校ノ附近ニ設クヘキコト(但シ土地ノ狀況ニ依リ學校設置區域内ノ各部ニ配置スルモ可ナリ)
- 二、教員住宅ニハ土地ノ狀況ニ應シ相當ノ菜園ヲ設クヘキコト
- 三、資力ニ乏シキ町村ニ對シテハ特ニ補助ノ歩合ヲ多クスルコト

#### ○市町村立小學校教員住宅費補助差支ナク補助ヲ受ケ設置ノ住宅廢止又ハ處分等取締方

〔問〕 客年貴省令第三十號ヲ以テ市町村立小學校教員住宅費補助ニ關スル規程發布相成候處適當ナル建物ヲ買入レ教員住宅

ニ充ツル場合ニ於テモ右規程第二條ニ依リ經費ヲ補助シ差支無之候哉 (明治四一・一・九・東京府照會)

〔答〕 右ハ御見込ノ通差支無之 追テ補助ヲ受ケテ設置シタル教員住宅ノ廢止又ハ處分等ノ場合ニハ認可ヲ受ケシムル等補助方法中ニ於テ相當取締ノ途御設相成可然儀ト存候 (明治四一・一・二一・普通學務局回答各地方廳へ通牒)

#### ○市町村立小學校教育補助費ノ爲北海道地方費及府縣費支出ニ關スル認可申請ニ添付スヘキ取調事項變更

(明治四三・二・二八・各地方廳へ普通學務局通牒)

明治四十年勅令第二百十七號第二條ニ依リ認可申請ノ場合ニ於ケル取調事項ニ關シテハ同年十一月未發普三九九號ヲ以テ及通牒置候處右ハ自今左記ノ通御取調申請書ニ御添付相成度此段及通牒候也

- 一、當該年度及前年度ニ於ケル小學校教員加俸支出見込金額並其ノ支給ヲ受ケル見込人員(右金額並人員トモ本科正教員專

科正教員及准教員ニ分チ且年功加俸、同増加加俸、單級加俸、多級加俸、僻陬加俸及同増加加俸ニ區分シ當該年度ノ加俸資金歲入歳出豫算書ヲ添付セラルルコト)

- 二、前年度未ニ於ケル小學校ノ本科正教員專科正教員及准教員ノ見込人員(右同一道府縣内ニ勤続五箇年未滿、五箇年以上十箇年未滿及十箇年以上ニ區分スルコト)

- 三、前年度未ニ於ケル加俸資金殘存高、當該年度ニ加俸資金繰越見込高及前年度住宅費補助金ノ殘餘ヲ加俸資金ニ編入スルトキハ其ノ見込高

- 四、小學校教員住宅ノ新築改築住宅料賃借料ノ見込數並其ノ各費用ノ見込額及之ニ對スル補助金額ノ割合

#### ○市町村立小學校教員住宅費補助ニ關スル規程中疑義

〔問〕 明治四十年文部省令第三十號市町村立小學校教員住宅費補助ニ關スル規程第二條中住宅ヲ建設シトハ住宅ノ改築、移築、移轉、増築ヲモ含ム義ニ可有之哉 (大正六・七・一・青森縣照會)

〔答〕 右ハ總テ御意見ノ通 (大正六・七・二一・普通學務局回答)

#### ○兒童全部ノ教育事務ヲ他町村へ委託解除ノ場合ニ於ケル市町村義務教育費交付方

(大正十・六・三 各地方廳へ通牒)  
岐普五三號

〔問〕 本年度ニ於テ交付可相成標記交付金ハ法第三條ニ依リ前年六月一日現在ノ教員數並兒童數ニ比例配分可致義ニ有之候處從來兒童全部ノ教育事務ヲ他町村ニ委託致居候町村ニシテ昨年度内ニ前記委託關係ヲ解除シ本年四月一日ヨリ全ク獨立シタル場合ニ於テモ尙交付金ハ前ノ受託町村ニ對シ全額交付スヘキ義ニ有之候哉若前陳ノ如ク年度開始前ニ於テ委託ヲ解除シタル場合ハ分配交付スヘキモノトセハ四月一日現在ノ教員數並兒童數ニ依リ配當可然哉 (岐阜縣照會)

〔答〕 町村全部ノ兒童教育事務委託ノ場合前年六月一日以後ニ於テ委託ヲ解除シタルトキハ市町村義務教育費國庫負擔法施行規程第三條ニ準シ夫々關係町村ニ分配交付相成度 (普通學務局回答)

○市町村義務教育費國庫負擔法第三條ニ依ル交付金八前年六月一日現在ノ正准教員數並就學兒童數ニ依ルニシテ翌年度ノ見込數ヲ加算セス

(大正九・二・十 奈良縣事申) (大正九・二・二八 普通學務局通牒) (教第八四四號)

【問】 本縣添上郡佐保村學齡兒童ハ從來之ヲ本縣女子師範學校附屬小學校ニ收容シ義務教育ヲ修了セシムルコトニ致居リ候處大正九年度ヨリ同村ニ尋常小學校ヲ設置シ大正九、十ノ兩年度ニ限り尋常小學校第五、六學年ノ兒童ヲ入學セシメ大正十一年度ヨリ全學年兒童ヲ收容ノ上義務教育ヲ修了セシムルコトニ決定候條市町村義務教育費國庫負擔法ニ依リ同村ニ對シ國庫交付金御下渡ノ義御取計相成度此段稟申候也

【答】 追テ同村學齡兒童中大正八年六月一日現在本縣女子師範學校附屬小學校在籍兒童數ハ尋常科第五學年二五名同第六學年二三名計四八名ニシテ大正九年度ニ於テハ正教員一名ヲ配置ノ見込ニ有之候條御詮議ノ上ハ客年八月二十七日付教第五三五五號ヲ以テ御報告ニ置及候正教員數一、六六〇准教員數八九就學兒童數八五、六六八ニ御加算相成度尙同村大正九年度豫算編成ノ都合モ有之候條國庫交付金下付見込ニ付御回報相煩度申添候也

【問】 大正八年六月一日ニ於ケル師範學校附屬小學校兒童ニシテ大正九年四月ヨリ市町村立尋常小學校ニ就學セシムル場合該兒童數及大正九年度教員配置見込數等ハ大正九年度國庫負擔金交付ニ際シ同法第三條ノ教員數及兒童數ニ加算セサル義ニ有之候條御了知相成度依而此段及通牒候也

○市町村立小學校教育費ヲ補助スル爲メ北海道地方費及府縣費支出上疑義

(大正一五・一・四 各地方廳へ普通) (玉 普 四 五 號 學 務 局 通 牒)

【問】 標記ノ件ニ關スル明治四十年五月勅令第二百十七號第一條ニ依レハ府縣ハ市町村立小學校教育費ヲ補助スル爲メ市町村立小學校教育費國庫補助法ニ依リ配賦スル金額ト同額ノ支出ヲ爲ス可キ旨明示有之候ハ共同條ニ所謂同額トハ一般會計ヨリノ歳出ノミヲ意味シ小學校教員加俸令第一條ニ依リ設置シタル加俸資金ヨリ生スル收入ハ同令第二條ニ依リ當然資金ニ編入セラル可キ義ト思考セラレ候モ明治四十年五月勅令第二百十七號第一條ノ道府縣ニ對スル經費支出ヲ命

セル規定中ニハ一般會計ノミヨリ支出ス可キ旨ノ明記無キ爲特別會計ヨリ生スル收入ヲモ合算シ經理シ得ルヤノ疑義相生シ候ニ付之等ノ御解釋並ニ其ノ法規上ノ根據等御回示願度

【答】 市町村立小學校教員加俸令(明治三十三年勅令第一三三號)ニ依リ設置シタル加俸資金ヨリ生スル收入ハ同令第二條ニ依リ當然該資金ニ編入スヘキモノナルヲ以テ市町村立小學校教育費ヲ補助スル爲メ北海道地方費及府縣費支出ノ件(明治四十年勅令第二一七號)第一條ノ規定ニ依ル府縣費支出額中ニハ前記加俸資金ヨリ生スル收入ヲ包含セサルモノト御了知相成度

○市町村義務教育費國庫負擔法施行規程ニ依ル教員數算入方

(昭和二・一・三一 山口縣照會) (學 第 三 九 六 號)

【問】 一、尋常高等小學校ノ高等小學校本科正教員ニシテ兼ネテ尋常小學校ノ某專科々目ヲ擔任スル者ハ之ヲ尋常小學校ノ教員數ニ算入差支ナキヤ算入差支ナシトセハ本科正教員トスヘキヤ專科正教員トスヘキヤ  
二、尋常高等小學校ノ高等小學校專科正教員ニシテ兼ネテ尋常小學校代用教員(補助教員勤務)トシテ勤務スルモノハ之ヲ尋常小學校代用教員トシテ算入差支ナキヤ

【答】 一、尋常高等小學校ノ高等小學校本科正教員ニシテ兼ネテ尋常小學校ノ某專科々目ヲ擔任スルトアルハ尋常高等小學校高等科勤務ノ本科正教員カ尋常科ノ教授ヲモ受持ツ場合ト認ムルニ付右ハ本法施行規程第一條第四號ニ依リ尋常小學校ノ本科正教員數ニ算入スヘキモノトス  
二、尋常高等小學校ノ專科正教員カ尋常科ニ於テ其ノ專科タル學科目ヲ受持ツ場合ハ本法施行規程第一條第二號又ハ第四號ニ依リ之ヲ尋常小學校ノ專科正教員數ニ算入スヘキモノナルモ、然ラサル場合ハ之ヲ同規程第一條ニ依ル教員數ノ何レニモ算入スルコトヲ得ス (昭和二・二・一四 普通學務局回答)

○市町村立小學校教育費補助ノ爲北海道地方費及府縣費支出上疑義

(昭和二・三・三十 各地方廳へ普通學務局通牒) (長 普 一 號)

【問】 明治四十年五月勅令第二百十七號第一條ニ依レハ府縣ハ市町村立小學校教育費ヲ補助スル爲市町村立小學校教育費國庫補助法ニ依リ配賦セラルル金額ト同額ノ支出ヲ爲スヘキ事ヲ規定致サレ候處右ハ一般會計ノモヨリ支出スヘキ旨明記無之候ニ付前年度繰越金ヲモ合算經理致シ差支ナキモノト解釋致シ可然哉繰越金ヲモ合算經理スルヲ得ルモノトスレハ合算シタル金額カ國庫配賦金ト同額以上ニ爲リタル場合減額認可ノ稟請ハ要セサルモノト考ヘ可然哉（兵庫縣伺）

【答】 右ニツキ經理上當該年度一般會計ヨリ支出スル金額ニ前年度加俸資金繰越金ヲ加算處理スルコトハ特ニ該繰越金ヲ加俸資金トシテ積立ツヘキ規定ナキ限リ差支ナキモ、右勅令第一條ニ依リ支出ヲ要スルハ北海道地方費及府縣ノ一般會計ヨリ支出スル金額カ市町村立小學校教育費國庫補助法ニ依リ配賦スル金額ト同額ナルヘキ趣旨ナリ隨テ當該年度一般會計ヨリ支出スル金額カ國庫配賦額ニ達セサルトキハ減額認可ノ稟請ヲ要スル義ト御了知相成度（回答）

○市町村義務教育費國庫負擔法施行規程ニ依ル教員數算入方

（昭和二・三・二九 青普四四號 各地方廳へ普通學務局通牒）

【問】 市町村義務教育費國庫負擔法施行規程中左記疑義ニ付御教示相成度及照會候也

- 一、規程第一條第五項教員數ノ調ハ小學校長ヲ兼務スル本科正教員ヲ除キ凡テ尋常科ノ學級數ニ連スルマテ代用教員モ算入スヘキモノト思考セラルルモ例ヘハ單級ノ小學校ニ於テ本科正教員ノ校長一人ト裁縫專科ノ代用教員（月俸三四乃至十圓位ノモノ）一人トアル學校モ教員數二人ト調査スヘキヤ
  - 二、規程第一條第七項市町村ノ就學兒童數ノ調ハ其ノ市町村立尋常小學校ニ在籍スル兒童ニ付當該市町村ニ於テ調査スヘキモノト思考セラルルモ行政區劃ニ限定セラレス例ヘ他市町村立小學校ニ通學シ居ルモノト雖モ苟クモ就學シ居ルモノハ全部居住地市町村ニ於テ調査スヘキヤ
- 例ヘハ甲村居住ノ兒童カ教育事務委託又ハ寄留等何等手續ヲ了セス乙市立尋常小學校モ入學シ居ルモノハ何レノ市町村ニ於テ調査スヘキヤ

【答】 一、市町村立ノ單級小學校ニ於テ學校長ヲ兼務スル訓導ノ外ニ代用教員一人アルトキハ右代用教員ハ御意見ノ通市町村義務教育國庫負擔法ニ依ル教員數ニ計上スルコト

二、兒童ノ教育事務委託又ハ寄留等ノ手續ヲ了セスシテ兒童ノ居住スル市町村以外ノ市町村立尋常小學校ニ就學スル兒童ハ其ノ居住スル市町村ノ兒童トシテ計上スルコト

○市町村義務教育費國庫負擔法施行手續中疑義

（昭和二・六・三〇 青森縣照會）（昭和二・七・一六 普通學務局回答）

【問】 本年三月二十九日青普四四號ヲ以テ市町村義務教育費國庫負擔法施行規程第一條ニ依ル小學校教員數及就學兒童數調査ニ關スル件御通牒有之候處左記例ノ如キハ公簿ニ基キ乙村ノ兒童トシテ乙村ニ於テ計上スヘキ儀ト被存候ヘ共聊カ疑義ニ涉リ目下調査上差迫候ニ付至急何分ノ御教示相成度及照會候也

- 一、甲村ノ兒童ニシテ乙村ニ寄留ノ手續ヲ了シタルモ住居ヲ移サスシテ乙村小學校ニ通學スルモノハ甲村ノ就學兒童トシテ調査スヘキヤ又乙村ニ於テ調査スヘキヤ
- 二、右ハ公簿ニ依リ乙村ニ於テ調査スヘキモノトスレハ其兒童ハ寄留復歸ノ手續ヲ了セスシテ甲村ノ小學校ニ就學シタル場合モ乙村ニ於テ調査スヘキヤ

【答】 右ハ何レモ御見解ノ通り追テ御照會ノ左記第二項ニ依レハ乙村ニ於テ計上スヘキ就學兒童カ寄留復歸ノ手續ヲ了セスシテ甲村立小學校ニ就學セル様記載シアルモ右ハ小學校令施行規則第八十八條等ニ依ル正規ノ手續ヲ採リタルモノトハ認メラレサルニ付斯ノ如キ事實有之場合ハ速ニ甲村ヘ復歸等ノ手續ヲ取運ハシメラレ度申添フ

○市町村義務教育費國庫負擔法ノ施行ニ關スル件第八條第二項ノ命令ニ關スル疑義

（昭和六・六・一二 各地方廳へ普通學務局通牒）

【問】 市町村義務教育費國庫負擔法第三條乃至第五條ノ支出金ヲ市町村ニ交付スル場合ニ於テ大正十二年六月十九日勅令第

三百十五號市町村義務教育費國庫負擔法ノ施行ニ關スル件第八條第二項ヲ適用シ其ノ支出金ノ一部ヲ市町村立ノ尋常小學校及尋常高等小學校ノ校長俸給ノ全額ニ充テシムヘク市町村ニ命令スルハ差支無之候哉 (岡山縣照會)

【答】 市町村義務教育費國庫負擔法ニ依ル國庫支川金ヲ以テ市町村立尋常小學校及尋常高等小學校ノ校長ヲ兼務スル本科正教員ノ俸給全額ニ充當セシムルコトハ其ノ影響スル所極メテ大ナルモノ有之慎重考究ヲ要スヘキコトト存スルニ付本件ニ關シ少數ノ府縣ニ於テ其ノ管内市町村ニ對シ命令ヲ發スルコトハ御見合セ相成度 (普通學務局回答)

○市町村義務教育費國庫負擔法ニ依ル特別市町村認定ニ關シ調査票ニ計上スヘキ釧業稅ノ取扱方

【問】 特別町村調査票ニ計上スヘキ釧業稅ニシテ一釧區カ數ケ町村ニ亘リタル場合ノ賦課額ハ町村毎ニ分割スルヲ得ス如何ニスヘキヤ電信ニテ回答アリタシ (宮城縣照會)

【答】 一釧區カ數ケ町村ニ亘リタル場合ノ釧業稅ハ各町村ニ於テ賦課スル釧業稅附加稅ノ基礎トナルヘキ釧業稅ノミテ其ノ町村ノ調査票該當欄ニ計上セシメラレ度 追テ砂釧區稅ニ付テモ本文同様御取扱相成度申添フ (普通學務局回答)

○市町村義務教育費國庫負擔法ニ依ル教員數及就學兒童數調報告方

(昭和八・六・二 昭普一・九・九 各地方廳へ普通學務局通牒)

標記ノ件ニ關シテハ昭和四年五月二日照普二〇號ヲ以テ及通牒置タル處爾今一層正確ヲ期スル爲同通牒第二表中「受持學年及組名」ノ下ニ「在籍兒童數」ノ一欄ヲ設ケ各學級毎ニ在籍兒童數ヲ計上シ最後ニ計ノ欄ヲ設ケ尋常科高等科別ニ其ノ兒童數ヲ集計シ御報告相成度此段通牒ス 追テ兒童教育事務委託ニ依ル受託兒童數ニ付テハ當該欄へ△印ヲ附シ夫々外書相成度

### 第三十二 教員加俸

○小學校教員年功加俸證書返納方

(明治二九・一・二 四兵庫縣何) (明治三〇・一・二〇 普通學務局通牒)

【問】 本年五月文部省令第七號第五條ニ依リ交付スヘキ年功加俸證書ハ辭令書ニ非ラサルカ故ニ學校編制ノ變更及ヒ退職死亡等ニテ異動ヲ生シタル場合ニハ先キニ交付ノ證書ハ其都度返納セシムヘキ義ト存候得共御指令有之度

【答】 右證書ヲ返納セシムルト否トハ貴官ニ於テ便宜御處理相成可然存候條別段指令ニ及ハレス依命此段及御通牒候也

○小學校教員勤績年數計算方

(明治三十・四・三〇 千葉縣問合) (明治三〇・五・一三 普通學務局回答)

【問】 戰時若クハ事變ニ際シ召集セラレ休職トナリ其事故止ミタルモ尙休職期間中他ノ學校ニ就職シタルモノアリ右ハ明治二十九年法律第十四號年功加俸勤績年數計算上勤績ノ例ニ依ルヘキモノニ無之哉

【答】 右ハ明治二十九年法律第十四號第六條ニ依リ其在職年數ハ勤績年數ニ通算スヘキ義ト存候此段及御回答候也

○市町村立小學校教員年功加俸ニ關スル勤績年數計算方

(明治三〇・七・十 熊本縣何) (明治三〇・七・二八 指令)

【問】 明治二十九年三月法律第十四號市町村立小學校教員年功加俸國庫補助法第二條ニ年功加俸ハ五箇年勤績シタル者ニ本俸ノ百分ノ十五ヲ給シ後五箇年ヲ加フル毎ニ百分ノ十ヲ加ヘ云々第三條ニ此ノ法律施行前ヨリ勤績スル者ニ對シテハ明治二十三年勅令第二百十五號小學校令發布後ニ於ケル勤務ノ月ヨリ其勤績年數ヲ起算スト有之第二條ニ依レハ一旦年功加俸ヲ受ケシ後更ニ五箇年間勤績セサレハ増加加俸ヲ給スルコトヲ得サル様相見ヘ候モ第三條ニ依レハ假令一旦年功加俸ヲ受ケシ後五箇年間勤績セサルモ小學校令發布ノ際ヨリ引續キ十箇年間勤績スル者ニ對シテハ増加加俸ヲ給スヘキ様相見ヘ判明致兼候間何分御指示相成度此段相伺候也

【答】 明治三十年七月十日三五〇四三號同小學校教員年功加俸ニ關シ勤績年數計算方ノ件後段伺ノ通

○傳給ヲ受ケサル休職ノ小學校正教員二年功加俸證書交付方

(明治三〇・九・一八靜岡縣照會)  
(三第二四四六號)

【問】 俸給ヲ受ケサル休職ノ小學校正教員ニシテ休職中一校ニ勤績年數五箇年ニ達シタルトキハ其翌月ヨリ年功加俸證書ノミヲ交付スヘキモノト心得居候得共右ニテ差支無之候哉念ノ爲メ此段及御照會候也

【答】 右ハ證書ヲ交付スルニ及ハサルノ例ニ有之候 (明治三〇・九・二八・普通學務局回答)

○小學校教員年功加俸ニ關シ勤績取扱方

(明治三一・一・二六北海道照會) (明治三一・二・九普通學務局回答)  
(內教第九一號)

【問】 第一項、准教員ニシテ正教員ニ代リ勤務セシメタル者未タ滿期ニ至ラサルモ正教員ヲ得タル爲メ其人ヲ要セサルニ依リ他ニ轉任ヲ命シタル場合 第二項、休職者ノ復職シタル爲メ其代員トシテ任用シタル教員不要ニ付他ニ轉任ヲ命シタル場合 右ハ何レモ小學校教員年功加俸國庫補助法第五條ニ依リ當然勤績之例ニ依リ取扱フヘキモノナリヤ

○小學校教員免許狀有效滿期後一時履教員タリシモノノ勤績取扱方

【問】 明治二十九年五月御省令第七號第二條ノ二箇月以内ニ更ニ教員免許狀ヲ得實際其學校ニ在リテ引續キ教員ノ職務ヲ執リタル者ハ勤績者ト見做ストアルハ二箇月以内ニ更ニ教員免許狀ヲ得タルモ任用遲延セシ爲メ履教員トシテ職務ヲ執ルコト二箇月以上ニ涉リタル者モ勤績者ト見做シ可然歟 (明治三一・三・一六・福岡縣照會)

【答】 右ハ勤績ト見做スヘキ限リニ無之候 (明治三一・三・二四・普通學務局回答)

○小學校教員年功加俸本俸ニ加算方

(明治三一・三・七三重縣問合) (明治三一・四・二會計課回答)  
(內三法甲一〇四號)

【問】 小學校教員年功加俸ハ明治二十三年法律第九十號ニ規定セラレタル諸給與及納金ノ關係ニ於テハ本俸ニ加算スヘキ旨

明治二十九年法律第十四號ニ明文有之候得共明治二十三年法律第九十號第五條第一項第四款但書及同條第二項第一款退職現時ノ給料トアル廉ニハ別ニ加算ノ明文ナキニヨリ本俸ニ加算セス單ニ本俸ノミヲ指シタルモノト相心得可然哉

【答】 小學校教員年功加俸本俸ニ加算方ノ件御意見ノ通り(電信)

○小學校教員年功加俸六箇月分取纏仕拂方

(明治三一・九・二六各地方廳へ會計課通牒)  
(戊會甲第二〇二三號)

市町村立小學校教員年功加俸ハ便宜三箇月分取纏メ仕拂ヲ爲スモ差支ナキ旨及御通牒候處今般尙未受給者ノ便否ヲ圖リ六箇月分取纏メ仕拂ヲ爲スモ差支ナキ事ニ決定相成候間依命此段及御通牒候也

○小學校教員年功加俸現金前渡施行方

(明治三一・八・一各地方廳へ會計課通牒)  
(戊會甲一二五二號)

當省所管ニ屬スル市町村立小學校教員年功加俸ハ是迄現金前渡ヲ爲スヲ得セシメラレス候處運輸通信ノ不便ナル地方ニ於テ現金前渡ヲ爲スニアラサレハ實際不便多キ場合ハ止ヲ得サル次第ニ付明治二十九年當省訓令第三號第一條ノ委任ノ範圍内ニ於テ之カ仕拂命令ヲ發行シ現金前渡ヲ爲スモ妨ケナキ事ニ今般決定相成候依命此段及御通牒候也

○小學校教員配置上ノ更迭年功加俸給與上勤績ノ例適用方

(明治三二・一・九愛媛縣問合) (普通學務局回答)  
(內三第七號)

【問】 小學校ニ於テ拾圓ノ訓導ヲ止メテ拾五圓ノ訓導ヲ任用セントスルカ如キ事情起リタル爲メ其訓導ヲ更迭スルハ教員配置上ノ都合ニ基因セル儀ト存候處滋賀縣ノ伺ニ對シ明治二十五年九月二十六日貴局竝教員恩給課ヨリノ通牒ニ依レハ右ハ教員任用進退上ニ於テ學校編制ノ變更トシテ處分スヘキ儀ニ有之候右果シテ學校編制ノ變更ニ基因スルモノトセハ其拾圓ノ訓導ニ付テハ他へ轉任スルト一旦退職ノ後再ヒ就職スル場合ト問ハス明治二十九年三月法律第十四號市町村立小學校教員年功加俸國庫補助法第五條ニ依リ年功加俸給與上ニ於テ勤績ノ例ヲ適用スヘキ儀ニ有之候哉

【答】 右ハ學校編制ノ變更トシテ處分スヘキモノニアラサルニ付年功加俸給與上ニ於テ勤績ノ例ヲ適用スヘキ限ニ無之

○小學校教員罰俸ヲ科セラレタルモノノ年功加俸支給方

(明治三二・三・八茨城縣會)

【問】 小學校教員ニシテ罰俸ヲ科セラレタルモノノ年功加俸支給方ハ右罰俸ヲ控除シタル額ニ依ル儀ト存候得共爲念及照會候  
【答】 右ハ御見込ノ通ニテ可然存候此段及御回答候也 (明治三二・三・一八・會計課回答)

○舊規定ニ依リ年功加俸ヲ受ケ同一學校勤務者其加俸ニ相當スル金額支給ニ關スル取扱方

(明治三三・五・一七・普通學務局通牒)

【問】 一、市町村立小學校教育費國庫補助法施行ノ際舊規定(市町村立小學校教員年功加俸國庫補助法)ニ依リ年功加俸ヲ受  
タル者ニハ同一學校ニ勤務スル間仍其加俸ニ相當スル金額ヲ支給スヘキ義ニ候處右ハ四月一日即チ本法施行以後其  
本俸額ニ増減アルモ本法第六條ノ支給金額ハ三月末ニ於ケル年功加俸ニ相當スル金額ヲ支給スル義ナルヤ  
二、本法第六條ニ依リ加俸ニ相當スル金額ノ支給ヲ受ケル者學校又ハ學級ノ編制等ニヨリ他ノ學校ニ轉任セシ等ノ場  
合ニ於テハ其支給ヲ止ムヘキカ又ハ繼續支給スヘキモノナルヤ  
三、年功加俸國庫補助法施行規則(二十九年省令七號)第二條ニ該當スルモノハ本法(三十三年法律第六十三號)ニ於テ  
モ勤務ト見做スコトヲ得ヘキカ  
四、舊規定ニ依リ年功加俸ヲ受ケル者本年三月三十一日學校編制ノ變更ニ依リ四月一日他ノ學校ニ採用セシ者ハ本法  
第六條ニ依リ其加俸ニ相當スル金額ヲ支給スヘキヤ又ハ支給スヘキモノニアラサルヤ (某縣照會)

【答】 第一、見解ノ通り 第二、繼續支給スルヲ得サルヘシ 第三、勤務ト見做スコトヲ得サルヘシ 第四、後段御  
見込ノ通

○年功加俸及特別加俸ハ退職料及遺族扶助料法ノ諸給與及納金ノ關係上本俸ニ加算方 (明治三三・五・一七・通牒)

【問】 年功加俸及特別加俸ハ退職料及遺族扶助料法ニ於ケル諸給與及納金ノ關係ニ於テ本俸ニ加算スヘキヤ (某縣會)  
【答】 見込ノ通 (普通學務局回答及通牒)

○本校分校及尋常高等小學校尋常科ヲ各單級ニ編制スルモノハ單級學校ト不認定方 (明治三三・五・一七・通牒)

【問】 一、本校ト分校トヲ設置シ兩校共ニ單級ニ編制スルモノハ各加俸令第七條ノ所謂單級學校ト認ムルヲ得ヘキヤ  
二、尋常高等小學校ニ於テ其尋常科ノ兒童ヲ單級ニ編制スルモノハ加俸令ニ於ケル單級學校ト認ムルヲ得ヘキカ  
【答】 一、單級學校ト認ムルヲ得ス 二、單級學校ト認ムルヲ得ス (某縣照會普通學務局回答)

○小學校本科正教員准教員ノ勤務年數ハ加俸令上相互通算方 (明治三三・五・一七・普通學務局通牒)

【問】 本科正教員准教員ノ勤務年數ハ加俸令ニ於テハ之ヲ通算スルヲ得ヘキカ (某縣照會)  
【答】 相互通算ス

○小學校本科正教員ノ單級學校ニ勤務スル特別加俸ノ支給期日 (明治三三・五・一七・普通學務局通牒)

【問】 加俸第七條ニ市町村立尋常小學校本科正教員ニシテ單級學校ニ勤務スル者ニハ年額二十四圓以下ノ特別加俸ヲ給スト  
アルニ依テ見レハ該特別加俸ハ他ノ特別加俸及年功加俸トハ相異ナリ單級學校ニ勤務スルト同時ニ必ス之ヲ給セサル  
ヲ得サルモノニシテ給與細則ニ於テ辭令發布ノ翌月ヨリ支給スト規定スルカ如キハ加俸令ノ規定ニ背戾スルモノト認  
ムヘキヤ、又是等ハ支給ノ方法ニ屬スルモノナレハ他ノ加俸ト均シク給與細則ニ於テ辭令發布ノ翌日ヨリ又ハ翌月ヨ  
リ支給スト規定スルモ加俸令ニ對シ差支ナカルヘキカ (某縣照會)  
【答】 後段意見ノ通 但加俸ノ支給ハ月ヲ以テ計算スル方可然

○市町村立小學校教員加俸休職者ニ支給方

(明治三三年宮崎縣照會) (明治三三・六・四普通學務局回答)

【問】 町村立小學校教員加俸ハ病氣ノ爲ノ休職者ニモ支給シ差支ナキヤ (電信)

【答】 市町村立小學校教員加俸ハ休職者ニハ總テ支給セサル儀ト承知アレ (電信)

○補習科附設單級學校教員ノ加俸支給方

(明治三三 三重縣照會) (明治三三・七・六各地方廳へ普通學務局通牒)

【問】 單級學校ニ時間内ノ補習科ヲ設ケ別ニ教員ヲ配置シタルモノハ加俸支給ニ單級ト認メ差支ナキヤ(電信)

【答】 單級學校ノ補習科ニ別ニ教員配置スルモノ單級ト認メ正教科擔當ノ正教員ニハ加俸ヲ給シ差支ナシ(電信)

○本校及分教室輪番巡回授業正教員ニ特別加俸支給方 (明治三三・六・二〇・新潟縣照會)

【問】 本縣ニテハ別紙記載ノ如キ事情アルモノニ限リ分教室ヲ設置シ壹人ノ正教員ヲシテ本校ト分教室トヲ輪番ニ巡回シテ授業セシメ置候處右ハ普通ノ分教室トハ全ク其性質ヲ異ニスル次第ニ付本校分教室共ニ單級ナルトキハ同校勤務ノ正教員ニハ單級學校勤務ノ者トシテ特別加俸ヲ支給致シ差支無之候哉(別紙略)

【答】 御見込ノ通り(普通學務局回答)

○年功加俸ヲ受クル准訓導及訓導相互轉任者ハ本職相當ノ加俸支給方 (明治三三・六・二〇・新潟縣照會)

【問】 新法ニ依リ年功加俸ヲ受クル者ニシテ准訓導ヨリ訓導トナリ又ハ訓導ヨリ准訓導トナルモ其支給ヲ廢止セサル義ト心得可然哉

【答】 訓導准訓導ノ勤続年數ハ加俸支給上相互通算スルヲ得ルモ加俸ノ年額相異リ候ニ付其成績佳良ナリト認メラレタル者ニアリテハ更ニ本職相當ノ加俸ヲ支給セラレ然ルヘシ(普通學務局回答)

○舊法ニ依リ年功加俸ヲ受ケシ休職者ニシテ新法施行後ノ復職者ハ加俸相當額不支給方

【問】 舊法ニ依リ加俸ヲ受ケシ者本年四月一日休職ニアルモ其後復職スルトキハ市町村立小學校教育費國庫補助法第六條第一項ニ依リ加俸ヲ支給致シ差支無之候哉(明治三三・六・二〇・新潟縣照會)

【答】 補助法施行ノ際現ニ年功加俸ヲ受クル者ニアラサレハ支給スルノ限ニアラス(普通學務局回答)

○教育基金及市町村立小學校教員加俸令ノ資金取扱上ニ要スル費用ノ支途

【問】 明治三十二年勅令第四百三十五號教育基金令及明治三十三年勅令第三百三十三號市町村立小學校教員加俸令ニ依リ各資金特別會計ヲ設置スヘキ儀ニ有之候處右取扱上ニ要スル費用例ヘハ送金手數料物品運送費ノ類ノ如キハ各該資金中ヨ

リ支辨シ可然儀ニ候哉將タ當然縣ノ負擔ニ屬スヘキモノニ候哉(明治三三・五・二六・石川縣照會)

【答】 後段御見込ノ通、追テ送金手數料ハ縣稅取扱費ヨリ物品運送費ハ教育費中學事諸費ヨリ支辨シ可然ト存候(回答)

○加俸資金ヲ以テ公債證書ヲ買入ルル爲ニ要スル費用ノ支途 (明治三三・六・一二・宮城縣照會)(普通學務局回答)

【問】 加俸資金ヲ以テ公債證書ヲ買入ルル爲ニ要スル費用ハ該資金ノ内ヨリ支辨シ差支ナキヤ(電信)

【答】 右ハ縣費ヨリ支辨セラレ可然(本件ニ關シ買入費用ノ用途ヲ問合セタルニ買入ニ關スル運送賃郵便稅ノ類ト回答アリタリ)

○町村分合ノ際舊町村立小學校一時存続ノ場合引續教職ニ従事スル者ノ取扱方

【問】 明治二十九年十一月十日普通甲第九九三號御通牒ニ依レハ町村分合ノ場合舊町村立小學校ニ於テ實際教授ニ従事スルモノハ在勤者ト見做スヘキ義ニ有之候處右ハ舊町村立小學校ヲ以テ尙存続スルモノト見做スニ非サレハ勤続者トシテ取扱フ能ハサルヘク然ルニ尙存続スルモノト見做ストキハ其經費ヲ負擔スヘキモノナカルヘカラサルニ舊町村ハ學校ノ關係ヲ於テノミ存続スルモノトモ認メ難ク被存候ニ付テハ町村ノ消滅ト共ニ其ノ設立ニ係ル小學校モ消滅シ隨テ該小學校教員モ同時ニ退職セルモノトシテ取扱フ方正當ト被存候右ハ年功加俸支給上ノミナラス退職給與金退隱料遺族扶助料支給上ニ於テモ重要ノ關係有之儀ニ付御省議承知致度(明治三三・三・三〇・秋田縣照會)

【答】 兒童教育ノ事務ハ一日モ中絶セシムルコトヲ得サルハ勿論ノ儀ニ候ヘハ新町村ニ教育事務ノ引繼ヲ了スル迄ハ從來ノ學校ヲ存続スル等貴官ニ於テ便宜處置セシメラレ可然尙貴官ニ於テ存続セシメラレタル場合ニ於テ引續キ其學校ニ於テ授業ニ従事スル間ハ取扱上在職者トナスヘキ義ニ有之候(明治三三・二・二八・普通學務局回答)

○小學校教員特別加俸支給事項

(明治三五・二・十各地方廳へ普通學務局通牒)

一、僻陋地ニ在ル尋常高等小學校ニ於テ尋常科ニ勤務スル本科正教員ニハ加俸令第七條後段ノ特別加俸ヲ給スルコトヲ得

二、尋常高等小學校ニ於テ尋常科ノ兒童ヲ一學級ニ編制シタルモノハ其尋常科ニ勤務スル本科正教員ニハ加俸令第七條前段ノ特別加俸ヲ給スルモノトス

三、小學校令施行規則第三十四條ニ依リ兒童ヲ二部ニ分チ教授スル學校ニ於テ各部トモ一學級ニ編制シ其各部ノ教授ヲ一人ノ本科正教員ニテ擔任スルモノニハ加俸令第七條前段ノ特別加俸ヲ給スルモノトス

四、僻陬地ニアリテハ前項ニ該當セサル半日小學校ニ勤務スル本科正教員ニハ加俸令第七條後段ノ特別加俸ヲ給スル事ヲ得

○公立實業補習學校教員兼小學校本科教員ニシテ本科教員ニ轉任者兼勤中ノ年數ハ小學校教員加俸支給上勤續年數ニ通算方

(明治三五・二・一五岩手縣問合) (明治三五・三・一二普通學務局問合)  
(學務發第五號) (寅普甲六四四號)

【問】 市町村立小學校教員加俸令第八條勤續年數ニ關シ聊カ疑義相生シ候即本縣ニ於テ公立實業補習學校教員兼本科教員ニシテ本科教員ニ轉シタルモノ有之其ノ本科教員兼勤中ノ年數ハ勤續年數ニ通算シ然ルヘキヤ市町村立小學校專科教員兼本科教員ニシテ本科教員ニ轉シタルモノハ其ノ本科教員兼勤中ノ年數ハ之ヲ勤續年數ニ通算シ然ルヘキ儀ハ明治三十三年九月二十二日東京府照會ニ對シ同年十月五日貴省ヨリ御回答相成リタル趣ニ候ヘハ右實業補習學校教員兼本科教員兼勤中ノ年數モ當然勤續年數ニ通算シ得ル儀トハ存候ヘ共爲念御意見承知致度此段及御問合候也

【答】 御意見ノ通、追テ御問合ニ依レハ加俸令第八條勤續年數云々ト有之候得共右ハ加俸令第三條ノ誤記ト認メ及御回答候

○小學校教員年功俸受給者教員免許狀有效滿期ノ爲メ退職翌日同校准教員ニ採用者二年功加俸支給方

【問】 小學校數科ノ地方免許狀ヲ有シ小學校正教員ノ職ニアリテ年功加俸ヲ受ケツ、アリシモノ本年三月三十一日限り該免許狀有效滿期ノ爲メ自然退職トナリ其翌日則チ四月一日同校准教員ニ採用シタルモノ有之候處右ハ引續キ小學校教員タルモノト見做シ本職相當ノ年功加俸ヲ支給シ差支無之カ (明治三五・四・二八・廣島縣照會) (普通學務局問合)

【答】 右ハ御照會ノ如ク職務間斷ナキモノニシテ尙成績佳良ト認メラレタル場合ニ於テハ御見込ノ通御取扱相成可然

○縣立學校教員ニシテ市町村立小學校教員兼務者二年功加俸不給與方

【問】 縣立學校教員ニシテ市町村立小學校教員ヲ兼ヌル者ニ對シテハ一定ノ手當ヲ給スルト否トニ拘ラス年功加俸ハ支給セサル方ト存居候ヘ共別ニ明文モ無之ニ付御省議ノ程承知致度 (明治三五・五・五・福井縣照會)

【答】 右ハ御意見ノ通 (明治三五・五・一四・普通學務局問合)

○僻陬地多級學校教員ハ其地住否ヲ問ハス小學教員加俸支給方

【問】 明治三十三年勅令第三百三十三號市町村立小學校教員加俸令第七條後段ノ僻陬地ト認メタル多級學校勤續者ニ給スル加俸ハ其學校所在ニ居住スル者ト遠隔ノ地ヨリ赴任就職スルモノトヲ問ハス總テ在職者ニ對シテハ支給ヲ要スヘキヤ又ハ此等ノ給否ハ地方長官ニ於テ酌シ必要ト認メタル者ニ限り支給スルモ差支ナキヤ (明治三五・五・九・島根縣照會)

【答】 加俸令第七條後段ハ僻陬ノ地ニ在ル多級學校ニ勤務スル者ニハ其居住者タルト否トヲ問ハス地方長官ニ於テ必要ト認メタルトキハ凡テ支給スヘキモノト存候 (明治三五・五・二六・普通學務局問合)

○僻陬地尋常高等小學校尋常科正教員ニシテ兼テ高等科ヲ教授スル者ニ特別加俸支給方

【問】 僻陬地ニ在ル尋常高等小學校ニ於テ尋常科ニ勤務スル本科正教員ニハ加俸令第七條後段ノ特別加俸ヲ給スルコトヲ得ヘキ旨本年二月普通甲第三九三七號ヲ以テ御通牒相成候處之ニ該當スル小學校ニ勤務スル本科正教員中小學校本科正教員ノ資格ヲ有スルモノハ本縣ニテハ之ヲ任命スルニ當リ尋常高等ニ勤務ヲ區別セサルヲ以テ小學校令施行規則第三十五條第二項ニヨリ尋常科ノ學級ヲ擔任シ兼テ高等科ノ一學級ヲ教授スル者有之候ニ付テハ是等ニモ該特別加俸給與致シ差支無之候哉 (明治三五・七・二・岐阜縣照會)

【答】 小學校令施行規則第三十五條第二項ニ依ル者ナラハ差支ナシ (電信) (明治三五・七・二八・普通學務局問合)

○僻陬地多級學校教員中必要ト認メサル者ニ特別加俸不給與方 (明治三五・八・三〇・宮城縣照會)

【問】 加俸令七條ノ僻陬ノ地ニ在ル多級學校ニ勤務スル者數名ノ内必要ト認メサル者ニハ特別加俸ヲ給セサルモ差支ナキ哉



【答】 僻陬地ニ在ル多級學校教員ノ特別加俸支給方ノ件意見ノ通(電信) (明治三五・九・二・普通學務局回答)

○市町村立小學校教員特別加俸八本人ノ同意ヲ要セス減俸方

(明治三七・三・三和歌山縣照會)  
(內三四七二號)

【問】 本縣ニ於テハ市町村立小學校教員加俸令第七條ニヨリ給與スヘキ特別加俸ヲ從來內規ニヨリ各平等ニ最高額ヲ支給スルコトトシ辭令ヲ以テ給與金額ヲ定メ支給致來候處今般全部ニ對シ減俸ノ必要ヲ認メ候間本縣小學校令施行細則ニ於テ教員ノ俸給ハ其意ニ反シテ之ヲ減スルコトナシトノ保障條規アルモ同法ノ效力ハ加俸ニ及ホササル精神ニ付本人ノ同意ヲ要セス一般ニ對シ辭令ヲ以テ平等又ハ不平等ニ特別加俸ノ減俸ヲナスハ差支ナキモノト心得可然哉

【答】 右ハ御見解ノ通ニ有之候 (明治三七・三・二五・普通學務局回答)

○小學校教員加俸令第六條懲戒處分ニハ學校長ノ職務ニ對シタル懲戒處分包含方 (明治三九・三・二六・愛媛縣照會)

【問】 市町村立小學校教員加俸令第六條前段ニハ學校長ノ職務ニ對シ懲戒處分シタルトキモ含ムヤ電信ニテ回答アレ(電信)

【答】 市町村立小學校教員加俸令第六條ノ件意見ノ通(電信) (明治三九・四・二・普通學務局回答)

○小學校教員加俸資金ヲ尋常小學校ノ設備費ニ充ツル爲市町村ニ貸付方

(明治三九・一・二二 富山縣照會)  
(二發第八號)

【問】 特別會計ヲ以テ保管スル市町村立小學校教員加俸資金ハ債券ヲ擔保トシ銀行ヘ利附預ケト爲シ保管來リシ處來ル三十九年度ニ於テ收支豫算ノ殘金參萬七千餘圓トナリ而シテ此金員ハ向フ七八ヶ年ニ於テ漸次支出スヘキ豫定ニテ一時ノ拂出ヲ要スルモノニ無之候ニ付其間尋常小學校ノ校地校舍ノ設備費ニ充ツル爲メ市町村ヘ貸與シ利殖致度御座候御差支モ無之候ハハ縣會ヘ附議致度存候間御內議如何候賦御回報相成度此段及御照會候也

【答】 右ハ加俸ノ支出上差支ナキ限リハ御見込ノ通ニテ差支無之 (明治三九・二・二三・普通學務局回答)

○懲戒處分ヲ受ケタル爲年功加俸停止ノ小學校教員ハ相當期間經過後悔改ノ實顯ハレ成績佳良ト認メタルトキハ更ニ加俸給與差支ナシ

(明治四一・一・一五 高知縣照會) (明治四一・一・二六 普通學務局回答)  
(發第二一〇七號)

【問】 懲戒處分ヲ受ケタル爲年功加俸ノ支給ヲ止メタル市町村立小學校教員ニ對シ加俸ヲ給與セントスル場合ハ其ノ期間ニ關シ規定ナキニ付相當ノ時日ヲ經過シタル後ニ於テ悔改ノ實顯ハレ且成績佳良ナリト認メタルトキハ更ニ給與スルモ差支ナシト被存候ヘトモ一應貴見承知致度此段及照會候也

【答】 本月十五日發第二一〇七號照會年功加俸ニ關スル件ハ御見込ノ通ト存候此段及御回答候也

○尋常小學校本科正教員特別加俸給與及同加給ハ事由發生ト同時ニ必ス支給セサルヘカラス

本年二月勅令第十二號ヲ以テ改正セラレタル市町村立小學校教員加俸令第七條第一項及第四項規定ノ特別加俸支給方ニ關シ往々疑義ヲ挾ム向モ有之哉ニ聞及候處該兩項ノ特別加俸ハ他ノ特別加俸及年功加俸ト異リ其ノ事由ノ發生ト同時ニ必ス之ヲ支給セサル可カラサル筋ニ有之候條御了知相成度爲念及通牒候也 (明治四二・五・二七・各地方廳へ普通學務局通牒)

○僻陬地小學校分教場勤務本科正教員ニ特別加俸支給

(明治四二・四・二八 各地方廳へ普通學務局通牒)  
(西千普五六號)

【問】 從來本縣ニ於テ僻陬地ト指定シ其ノ在勤教員ニ特別加俸ヲ給與シタル小學校中義務教育年限延長實施ニ伴ヒ町村ノ事情ニ從ヒ學校ヲ廢合シタル結果分教場ニ變更セルモノニシテ其ノ新ニ本校トナリシ小學校ノ僻陬地ナラサルカ爲ニ自然特別加俸ノ給與ヲ失フモノ尠カラス教員待遇上遺憾ニ有之本校ノ全ク僻陬地ト認メ難キニ對シテ分教場ノ關係上強イテ僻陬地ト指定スルハ甚タ穩當ナラサル儀ニ有之就テハ爾後本校ノ土地ノ情況如何ニ關セス分教場ノ僻陬地ト指定シ其ノ在勤教員ニ特別加俸ヲ給與致度右指定上差掛リ必要有之候條至急御省議御回報相成度(千葉縣照會)

【答】 二月十八日勅令第十二號ヲ以テ改正セラレタル市町村立小學校教員加俸令第七條第三項ノ規定上本校カ僻陬ノ地ニ在ラサルモ分教場ニシテ僻陬ノ地ニ在ル以上ハ該分教場ニ勤務スル本科正教員ニ對シ特別加俸ヲ支給相成可然(回答)

○分教場一學年乃至六學年編制學級擔任教員ニハ特別加俸支給ノ途ナシ

(明治四二・五・三一 各地方廳へ通牒)  
(西口普七八號)

【問】 改正加俸令第七條第二項ニ一學年乃至四學年又ハ五學年ヲ以テ編制シタル學級ヲ擔任スル者ニハ特別加俸ヲ給スルコ

トヲ得トアリ分教場ハ一學級ニ編制スルモ單級學校ト認ムルヲ得サルコトハ明治三十三年五月普通丙第四七號通牒ノ次第モ有之然ルニ分教場ニ於テ一學年乃至六學年ヲ以テ編制シタル學級ヲ擔任スル者アリタルトキハ特別加俸ヲ給スルヲ得ルノ明文ナシ右ハ如何ニ取扱フヘキモノナルヤ (山口縣照會)

【答】 分教場ニ於テ一學年乃至六學年ヲ以テ編制シタル學級ヲ擔任スル者ニハ特別加俸支給ノ途無之該分教場ノ如キハ獨立ノ學校トセラレルカ若クハ六學年又ハ五六學年ノ兒童ハ之ヲ本校ニ通學セシメラルル方教育上可然ト存候 (回答)

○市町村立小學校若ハ分教場ニ於テ二學級ニ編制ニ部教授スル一人ノ本科正教員擔任者ニハ特別加俸支給然ルヘシ (明治四二・二・九熊本縣照會) (西熊普一・二・二八普通學務局回答)

【問】 市町村立小學校若ハ其ノ分教場ニ於テ第一學年乃至第四學年又ハ第五學年ヲ以テ二學級ニ編制シテ之ヲ二部教授トシ前後兩部ノ學級ヲ一人ノ本科正教員ニテ擔任スルトキハ其ノ教員ニ對シ特別加俸ヲ給スルコトヲ得ルヤ

【答】 右ハ支給セラレ可然存シ候條御了知相成度依命此段及回答候也

○市町村立小學校教員舊法ニ依ル特別加俸ハ改正法ニ依リ加給 (明治四二・九・一五神奈川縣照會) (往乙第三九五二號)

【問】 市町村立小學校訓導ニシテ明治三十三年勅令第三百三十三號市町村立小學校教員加俸令第七條ニ依リ特別加俸給與ノモノニシテ其後五年以上同一學校ニ勤務スル者有之候處右ハ本年勅令第十二號ヲ以テ改正相成候市町村立小學校教員加俸令第七條第一項第三項ニ依リ給與シタルモノト同一ニ見做シ同條第四項ニ依リ加俸ヲ加給シ可然哉

【答】 右ハ御意見ノ通り御取扱相成可然候此段及回答候也 (明治四二・九・二七普通學務局回答)

○市町村立小學校教員加俸資金ヲ小學校設備費ニ貸付差支ナシ (明治四二・三・一岡山縣申請) (回答)

【問】 義務教育年限延長ノ結果小學校舍ノ新築増築ヲ要シ候爲メ教育資金ノ貸付ヲ希望スル町村多々有之候處明治四十二年度本縣教育資金歳入ハ僅ニ經常臨時總計金貳萬九千九百九拾五圓餘ニ過キス甚遺憾ニ存シ居候然ルニ幸本縣ニ於テハ市町

村立小學校教員加俸金歳入出豫算ハ別紙ノ通り歳入ニ於テ貳萬八百七拾壹圓ノ過剩有之常ニ確實ノ銀行ニ預ケ入レ居候次第ニ付明年度ヨリ該加俸金ノ内約貳萬圓内外ヲ度トシ實際加俸金ノ支出ニ差支ヘサル範圍ニ於テ教育資金ノ例ニ準シ貸付候様致度尤モ利子ノ儀ハ銀行預金利子(目下日歩壹錢貳厘)以上ノ利率ヲ以テ貸付ノ見込ニ有之本縣收入上ニハ些ノ不利益無之候ノミナラス町村ニ於テハ教育上並財政上利便ヲ得ルコト尠カラス一舉兩得ノ處置ト被存候條特ニ御認可相成度 (別紙略)

【答】 右ハ本年二月勅令第十二號ヲ以テ市町村立小學校教員加俸令ヲ改正セラレタル結果今後追々加俸支給額ノ増加ヲ來スヘク被存候ニ付特ニ其ノ貸付期間ヲ三年以内ノ短期ニ限り加俸ノ支出上差支ヲ生セサル様御措置相成候ハハ差支無之

○小學校教員加俸支給上本科正教員專科正教員ノ勤続年數ハ相互通算スルヲ得 (明治四三・四・一八熊本縣照會) (學第一五〇四號)

【問】 市町村立小學校教員加俸支給ニ關シ專科教員ニシテ本科教員ニ轉シタル者ノ勤続年數ハ前後通算スルヲ得サル旨東京府照會ニ對シ去ル明治三十三年十月五日付ヲ以テ御回答ノ趣有之候處其當時專科教員ニ付テハ加俸支給ノ制定ナキ場合ノ事ニ屬シ既ニ省令改正相成候今日ニ於テハ稍事情ヲ異ニスル様被存候得共尙右ハ通算シ得サル義ニ有之候哉

【答】 本科正教員專科正教員ノ勤続年數ハ相互通算シ得ヘキモノト被存候 (普通學務局回答)

○僻阪地尋常高等小學校尋常及高等科兒童ヲ以テ編制ノ學級擔任本科正教員ニハ特別加俸ヲ支給スルヲ得

【問】 尋常高等小學校ニ勤務スル小學校本科正教員ニシテ尋常科ノ兒童及高等科ノ兒童ヲ合セテ編制シタル學級ヲ擔任シ其小學校僻阪地ニ在ルトキハ市町村立小學校教員加俸令第七條第三項ノ加俸ヲ支給シ得ル儀ニ候哉

【答】 右ハ御意見ノ通 (神奈川縣照會) (明治四三・六・二〇各地方廳へ通牒)

○小學校教員死亡ノトキ其ノ遺族ニ給スヘキ金額中ニ加算スル加俸額支出ハ市町村ノ負擔トス

【問】 小學校令施行規則百五十七條ノ死亡賜金ニ加算スル加俸ノ分ハ市町村ヨリ支出スヘキカ加俸資金ヨリ支出スヘキカ

【答】 右ハ市町村ニ於テ負擔スヘキモノト思考ス (明治四四・六・十・宮城縣照會) (明治四四・六・一五・普通學務局回答)

○教員年功加俸令ニ於テ編制シタル學級中偶々或ル學年ニ就學者ナキ場合ニ於テモ特別加俸給與然ルヘシ

【問】 多級ノ尋常小學校ニ於テ一學年ヨリ四學年ニ至ル兒童ヲ以テ編制シタル學級ニシテ或學年ノ兒童一名モ就學セサルニ至リタル場合ハ市町村立小學校教員加俸令第七條第二項ニヨリ特別加俸ヲ給與スル限リニアラサルモノト解シ可然哉

【答】 右ハ給與セラレ可然 (明治四四・六・二九・福島縣照會) (明治四四・八・七・普通學務局回答)

○年功加俸受給ノ小學校教員休職ヲ命セラレ復職者ニハ何等手續ヲ要セス加俸給與

【問】 年功加俸ヲ給與セラルル小學校教員ニシテ休職ヲ命セラレタル後復職シタルトキハ復職ト同時ニ何等ノ手續ヲ要セスシテ加俸モ當然給與シ可然歟 (大正二・六・二七・三重縣照會)

【答】 右ハ御意見ノ通 (大正二・七・三・普通學務局回答)

○加俸令第七條第一項ノ特別加俸受給者學級編制變更ノ爲同第三項ノ特別加俸ヲ受クルニ至リシ者ハ同第四項ノ加給額ハ引續支給差支ナシ

(大正二・七・二三 茨城縣照會) (大正二・九・一六 普通學務局回答)

【問】 僻地ノ村立尋常小學校ノ本科正教員ニシテ市町村立小學校教員加俸令第七條第一項ニ依ル特別加俸及同第四項ニ依ル加給額ヲ支給致候モノ有之候處同校去ル五月二十日ヨリ二學級ニ編制ニ付右特別加俸ハ同日ヨリ消滅致候ニ付本日

同條第三項ニ依ル特別加俸ヲ支給致候就テハ特別加俸ハ一時中絶致候モ同一學校ニ勤続スルモノニ付此際同條第四項ニ依ル加給額ヲ支給致シ差支無之候哉聊カ疑義有之候條至急何分ノ御回示相煩度

【答】 右ハ支給セラレ差支無之候條御了知相成度此段及回答候也

○市町村立小學校教員加俸令上師範學校教諭ニシテ訓導ヲ兼務セル場合兼務年數ヲ勤続年數ニ通算方

(大正三・一・二九 各地方廳へ普通學務局通牒) (發售三・三三 號)

【問】 明治三十三年勅令第三百三十三號市町村立小學校教員加俸令第五條ニ師範學校訓導ニ在職シタル年數ハ勤続年數ニ通算

スト有之候處師範學校教諭ニシテ訓導ヲ兼務セル場合ニ其兼務年數ヲモ本條ニ依リ通算スヘキ儀ニ有之候哉

【答】 右ハ御意見ノ通ト存候條御了知相成度此段及回答候也 (某縣照會ニ回答)

○市町村立小學校教員年功加俸ハ最初支給額ヨリ其成績ニ依リ勤続年數ヲ限定セス三十六圓乃至六十圓ニ増額支給差支ナシ

(大正四・一・一三 和歌山縣照會) (大正四・一・一八 普通學務局回答)

【問】 從來本縣小學校教員年功加俸支給ニ關シテハ明治三十三年三月勅令第三百三十三號市町村立小學校教員加俸令第三條本文ニ依リ五ヶ年以上勤続者ニ對シテハ最初二十四圓乃至三十六圓ヲ支給シ以後其ノ成績ニ依リ勤続年數ヲ限定セス三十六圓乃至六十圓ニ増額支給シ來リ候處或ハ最初ノ支給額以後ハ同條但シ書ニ依リ勤続五ヶ年ヲ加フル毎ニ増加加俸ヲ支給スルモノ以外ニ増額スヘカラサル様ニモ解セラレ聊カ疑義相生シ候條右ハ從前ノ通り支給シ差支可無之候哉

【答】 本月三日照會年功加俸ハ從前通支給セラレ差支ナシ (電文)

○公立學校職員年功加俸令上官立諸學校在職ノ年數ハ勤続年數ニ通算セス

(大正九・一・二二 各地方廳へ通牒) (高普一・三三 號)

【問】 公立學校職員年功加俸令第一條ニヨル勤続年數ト上官立諸學校ノ教授、助教、助教諭、訓導等ノ勤続年數トハ加俸支給上相互通算セサル儀トハ被存候ヘトモ市町村立小學校教員加俸令第三條ノ勤続年數ニハ師範學校訓導及視學ノ勤続年數ヲ通算スル次第モ有之聊カ疑義有之候條御回示相成度 (高知縣照會)

【答】 右ハ御意見ノ通官立諸學校ノ職ニ在リタル年數ハ勤続年數ニ通算セサル儀ニ候 (普通學務局回答)

○公立學校職員年功加俸令ニ關スル疑義

(大正九・一・二二 各地方廳へ普通、實業兩學務局通牒) (發售一・三一 號)

【問】 一、公立學校職員年功加俸令附則第二項ニヨリ大正九年九月三十日現在ニ於テ勤続十年以上又ハ十五年以上ノ事實ヲ

ルモノト雖モ總テ勤続五年ニ達シタルモノトシテ取扱フヘク從テ五年以後ニ至ラサレハ令第四條別表ニ依ル勤続十年以上ノ支給ヲ受タル者ヲ生セサルモノナルヤ

一、令第七條ノ規定ハ小學校訓導又ハ准訓導ニシテ公立學校職員ニ轉シタル場合ノ勤続年數ノ通算ハ同一府縣ニ五年以上勤続シタル場合ニ於テノミ有效ニシテ五年未滿ノ端數ハ除算スヘキモノナルヤ

三、前項前段ノ通りトセハ其ノ通算ノ場合ハ小學校教員ヨリ同一府縣ノ公立學校職員ニ轉シタル場合ノミ有效ニシテ小學校職員ヨリ他府縣ノ公立學校職員ニ轉シタル場合及前段公立學校職員ニシテ他府縣公立學校職員ニ轉シタル場合ノ如キハ小學校教員ノ勤続年數ハ總テ除算スヘキモノナリヤ (奈良縣照會)

【答】 一、第一項御意見ノ通り 二、第二項市町村立小學校訓導又ハ准訓導ニシテ公立學校職員年功加俸令第一條第一項ニ掲タル職ニ轉シタル場合ノ勤続年數ハ市町村立小學校教員加俸令ニ依ル勤続年數ヲ總テ通算ス 三、第三項前項ノ場合他府縣ノ公立學校職員ニ轉シタル場合ニモ市町村立小學校教員加俸令ニ依ル勤続年數ハ總テ通算ス市町村立小學校教員ヨリ公立學校職員ニ轉シ更ニ他ノ府縣ノ公立學校職員ニ轉シタル場合亦同シ

○公立學校職員年功加俸支給ニ關スル疑義

(大正九・一二・二八各地方廳へ普通、實業兩學務局通牒) (鳥普一〇八號)

【問】 地方長官カ年功加俸令第四條別表各階級ノ範圍内ニ於テ支給額ヲ一定ノ額ニ定メ給セントスル場合ニ其ノ一定額ヨリ高額ノ加俸ヲ他府縣ニ於テ受クル者其ノ縣ニ轉任ノ場合其ノ縣ノ一定額ニ減額發令スルコトハ別ニ差支無之哉 本項ノ趣旨ハ例ヘハ本縣ニ於テ中等學校教諭俸給月額八十圓以上ノ勤続五年以上十年未滿ノ者ノ年功加俸支給額ヲ百八圓ト一定シタル場合ニ他府縣ヨリ同一資格ノ者ニテ年功加俸百二十圓受給ノ者轉任シタルトキハ本縣ノ額即チ百八圓ニ減額發令セントスルモノナリ (鳥根縣照會)

【答】 右ハ御見込ノ通り (普通學務局回答)

○學校編制ノ變更ニ依リ休職者滿期退職後六十日以内更ニ同一府縣内小學校ニ再就職ノ場合ハ加俸令上前後在職年數ヲ勤続年數ニ通算方

(大正九・四・三〇各地方廳へ普通學務局通牒) (東普五二九號)

【問】 小學校令施行規則第二百二十二條第二號前段學校編制ノ變更ニ依リ休職ヲ命セラレ一年ノ後休職滿期退職トナリタルモノ六十日以内ニ同一府縣内小學校訓導ニ任用セラレタルトキハ學校編制ノ變更ニ依リ退職ヲ命セラレタルモノト見做シ市町村立小學校教員加俸令第四條後段ニ依リ前後ノ在職年數ヲ勤続年數ニ通算スヘキニ候哉 (東京府照會)

○公立學校職員年功加俸令上勤続年數通算方

(大正十・二・一五各地方廳へ普通、實業兩學務局通牒) (香普九號)

【問】 公立學校職員年功加俸支給ニ關シ左記履歷ヲ有スル者ハ加俸令第一條ニ該當セサル者ト認ムルモ縣郡視學ハ小學校教員加俸令ニハ勤続年數ニ通算ノ次第モ有之聊カ疑義相生シ候ニ付及照會候

小學校訓導(自大正元年十月一日至大正七年三月三十一日)郡視學(自大正七年四月一日至大正九年四月三十日) 公立實業學校長(自大正九年五月一日) (香川縣照會)

○公立學校職員年功加俸令上兼職者ニ加俸支給等ニ關スル疑義

(大正十・二・一九各地方廳へ通牒) (石普一三九號)

【問】 一、市町村立小學校教員ニシテ在職ノ儘實業補習學校教員ヲ併職シ市町村立小學校教員加俸令ニ依リ年功加俸ヲ受クル者ニ對シテハ更ニ公立學校職員年功加俸令ニ依リ年功加俸ヲ併セ給シ得ヘキヤ 二、公立學校職員年功加俸令ノ別表俸給月額ニハ公立學校職員俸給令第七條ノ加俸ヲ合算シ得サルヤ 三、甲校教諭ニシテ乙校教諭ヲ兼ネ其ノ俸給ハ甲校ニ於テ八十圓未滿、乙校ニ於テモ八十圓未滿ヲ受クルモ之ヲ合算スレハ八十圓以上ナル者アル時ハ之ヲ八十圓以上ノ甲校教諭兼乙校教諭ナル者トシテ年功加俸ヲ支給スヘキヤ

- 四、教諭ニシテ訓導ヲ兼ヌル者、教諭トシテ八十圓未満ノ俸給ヲ受ケ訓導トシテモ亦八十圓未満ノ俸給ヲ受クルモ之ヲ合算セハ八十圓以上ニ達スルトキハ八十圓以上ノ教諭ト看做シテ年功加俸ヲ支給スヘキヤ
- 五、訓導ニシテ教諭ヲ兼ヌル者ニシテ前號ノ如キ場合ニハ八十圓以上ノ訓導ト看做シテ年功加俸ヲ支給スヘキヤ
- 六、農業教員養成所教諭ニシテ俸給八十圓以上ヲ受クル者農業學校教諭ヲ兼ヌルニ農業補習學校訓導ヲ兼ヌル者ハ其ノ本務カ公立學校職員年功加俸令第一條第一項ニ該當セサルカ故ニ年功加俸ヲ支給シ得サル者ト認ムレトモ其ノ兼職カ之ニ該當スルカ故ニ八十圓以上ノ農業學校教諭トシテ年功加俸ヲ支給スヘキヤ將八十圓以上ノ農業補習學校訓導トシテ年功加俸ヲ支給スヘキヤ但右ノ受クル俸給ハ農業學校教諭トシテ八十圓未満、農業補習學校訓導トシテ八十圓未満ニシテ其ノ農業學校教諭タル俸給ト農業補習學校訓導タル俸給ヲ合算スルモ尙八十圓未満ナリ (石川縣照會)

【答】

- 一、第一項市町村立小學校教員ニシテ在職ノ儘公立農業補習學校教員ヲ併職スルカ如キ待遇者間ノ併職ハ認メ難キヲ以テ右ハ小學校教員ニシテ農業補習學校教員ヲ兼ヌルモノト認ム然ル場合ハ農業補習學校教員トシテハ手當ヲ受クル事トナリ兼任手當ハ俸給ニ非サルヲ以テ此場合ハ公立學校職員年功加俸令ニ依ル年功加俸ハ支給スヘキ限リニアラス
- 二、公立學校職員年功加俸令ノ別表俸給月額ニハ公立學校職員俸給令第七條ノ加俸ヲ加算スヘキ限リニアラス
- 三、第三項ヨリ第五項ニ至ル三項ハ御意見ノ通り但シ公立學校職員俸給令第九條ニ依リ二校以上ヨリ俸給ヲ分割シテ支給スル場合ニ限ル
- 四、第六項農業教員養成所教諭ニシテ農業學校教諭及農業補習學校訓導ヲ兼ヌル者各兼職ニ對シ八十圓未満ノ俸給ヲ受クル旨記載シアルモ右ノ如キハ兼職ニ依ル手當ト看做スヘキモノナルヲ以テ本職タル農業教員養成所教諭トシテハ勿論兼職タル農業學校教諭及農業補習學校訓導トシテモ目下ノ處公立學校職員年功加俸令ニ依ル年功加俸ヲ支給スヘキ限ニアラス、但シ農業教員養成所職員ニ對シテハ追テ年功加俸ヲ支給シ得ル様考慮中ナリ (普通學務局回答)

○公立學校職員年功加俸支給上成績等差等疑義

(大正十・三・九各地方廳へ普通、農業兩學務局通牒) (青森縣同)

【問】

一、公立學校職員年功加俸ハ其ノ成績ニ依リ差等ヲ設ケ支給スルモ差支ナキヤ (青森縣同)

【答】

一、公立學校職員年功加俸同別表勤績ノ區分ノ範圍内ニ於テ更ニ區分ヲ設ケ支給スルモ差支ナキヤ (青森縣同)

○教授ヲ行フ月ノ俸給受給者並小學校訓導ヨリノ兼職者八年功加俸ヲ支給セス

(大正十・五・二六各地方廳へ通牒) (鳥書一八號)

【問】

一、農業補習學校訓導ニシテ教授ヲ行フ月ニ限リ俸給ヲ支給スル者アリ之ニ對スル加俸モ俸給ヲ支給スル月ニ限リ支給シ可然哉 二、小學校訓導ヨリ公立學校教諭ヲ兼ヌル俸給(小學校教員ノ級俸ニ依ル)ヲ兩校ヨリ分割シテ支給スル者アリ之ニ對シテハ小學校教員トシテ年功加俸ヲ給シタル者ニアラサルトキハ公立學校職員年功加俸令ニ依リ支給シ可然哉 (鳥根縣照會・普通學務局回答)

【答】

一、農業補習學校訓導ニ教授ヲ行フ月ニ限リ俸給ヲ支給云々トアルモ專任者ニ對シテハ毎月月俸ヲ支給スヘキ義ニ付右ハ適法ノ取扱ナラスト認ム從テ加俸モ教授ヲ行フ月ニ限リ支給スルハ然ルヘカラス 二、小學校訓導ヨリ公立學校教諭ヲ兼ヌル者ニ俸給ノ分割支給云々トアルモ俸給ノ分割支給ヲ認メラルハ小學校專科正教員ニシテ他ノ小學校ノ專科正教員ヲ兼ヌル場合及公立學校職員俸給令ニ依リ俸給ヲ受クル各職間ナルヲ以テ右ハ適法ノ取扱ナラスト認ム從テ御申出ノ者ニ對シ公立學校職員年功加俸令ニ依リ加俸ヲ支給スルハ然ルヘカラス

○中間通算シ得サル職ニ在リタル者ノ勤績年數ハ通算セス

(大正十・五・二六各地方廳へ普通、農業兩學務局通牒) (兵書一一九號)

【問】

一、公立學校職員年功加俸令第一條ノ勤績年數算定上左ノ場合ニ於テ前職ノ勤績年數ハ現職ノ勤績年數ニ通算スルヲ得サルハ勿論ナルモ此場合ニ於テハ前々職ノ勤績年數モ現職ノ勤績年數ニ通算スルヲ得ス

第一ノ場合

中學校教諭(自大正四年三月三十一日至大正九年三月三十日) 高等師範學校助教授(自大正九年三月三十一日至大正十年三月三十日) 中學校教諭(自大正十年三月三十一日)

第二ノ場合

中學校教諭(自大正四年三月三十一日至大正九年三月三十日) 郡視學(自大正九年三月三十一日至大正十年三月三十日) 中學校教諭(自大正十年三月三十一日) (兵庫縣照會)

【答】 一、第一第二ノ場合共貴見ノ通り (普通、實業兩學務局照會)

○殖民地ノ官公立學校在職年數ハ公立學校職員年功加俸令ニ依ル勤績年數ニ通算セス

(大正十・六・二八通牒 島普三九號)

【問】 樺太廳中學校教諭在職年數ハ公立學校職員年功加俸ノ勤績年數中ニ算入スヘキモノニ非ラスト存居候處他縣ニ於テ之ヲ公立中學校ト認メ勤績年數ヲ通算シ年功加俸ヲ給セル者本縣ニ轉任致候ニ付爲念御意見承知致度 (島根縣何)

【答】 樺太廳始メ殖民地ニ於ケル官公立學校ニ在職シタル年數ハ公立學校職員年功加俸令ニ依ル勤績年數ニ通算セス

○公立學校書記ノ教諭兼職者ニ八年功加俸支給セス

(大正十・七・二〇 和普五四號 各地方廳へ通牒)

【問】 公立學校書記ニシテ同一校ニ於テ教諭ヲ兼メル者ニ對シ教諭トシテ年功加俸ヲ支給シ可然哉支給シ得トセハ教諭給ルニヨリ八拾圓以上又ハ未滿ノ區分ヲナシ可然哉 (和歌山縣照會)

【答】 公立學校書記ニシテ同一校ニ於テ教諭ヲ兼メル者ニハ教諭トシテ年功加俸ヲ給スルヲ得ス (普通學務局回答)

○公立學校職員年功加俸ハ大正九年九月三十日以後地方長官制定ノ同加俸支給ニ關スル規程公布迄ノ轉退職者ニモ受給權アリ

(大正十・十・八 福普一四號 各地方廳へ普通、實業兩學務局通牒)

【問】 公立學校職員年功加俸令第九條ニ依リ地方長官カ制定スヘキ年功加俸支給ニ關スル規程中ニ左ノ如キ條文ヲ設ケ加俸受給權ヲ制限スルコトヲ得ヘキヤ疑義相生シ候條至急御回答相煩度此段及照會候也

大正九年九月三十日現在ニ於テ勤績五年以上ニ達セル者カ地方長官ノ年功加俸支給ニ關スル規程公布以前ニ退職シタル場合ハ加俸ヲ受クル權利ヲ失フ、規程公布以前ニ他府縣ニ轉任シタル場合亦同シ

【答】 現在某府縣ニ於テハ大正九年九月三十日現在ニ於テ既ニ滿五年以上ニ達シタル或中學校教諭ニ對シ府縣知事カ支給規程公布前他ニ轉任シタル理由ヲ以テ加俸給與ヲ爲ササルモノアルカ如シ (福井縣照會)

【問】 大正九年九月三十日現在ニ於テ勤績滿五年ニ達シタル公立學校職員ハ當然年功加俸ノ支給ヲ受クヘキ義ニ付地方長官ノ年功加俸支給ニ關スル規程ノ公布以前ニ退職又ハ轉任シタル故ヲ以テ年功加俸ヲ受クルノ權利ヲ喪ハシムルコトヲ得ス (普通學務局回答)

○公立學校職員年功加俸ニ關スル疑義

(大正一・九・二一 形普五四號 各地方廳へ普通學務局通牒)

【問】 一、左記ノ如キ履歷ノ者ニ對シ公立學校職員年功加俸令第一條及第七條並市町村立小學校教員加俸令第五條ニ依リ公立學校職員年功加俸ヲ給シ候處本人退職後退職料請求ニ付(中略)右年功加俸ヲ給シタルハ違法處分ナルヤ否

履歷ノ概要

一、市町村立小學校訓導(二十四年勤績) 二、郡視學ニ轉任(三年六ヶ月勤績) 三、市町村立小學校訓導ニ轉任(三年勤績) (此ノ際市町村立小學校年功加俸ヲ給與ス) 四、公立實科高等女學校ノ教諭ニ轉任一年六ヶ月間勤績シテ退職(此ノ間ニ於テ公立學校職員年功加俸令ニ依リ年功加俸ヲ給與ス) (山形縣照會)

【答】 年功加俸ヲ給シタルハ適法ノ處分ニ付御了知相成度 追テ本件ニ關シテハ内閣恩給局ヨリ照會ノ次第モ有之同様回答致シ置キタルニ付申添ユ (普通學務局回答)

○市町村立小學校教員年功加俸給與取扱方

(大正一・九・二九 各地方廳へ普通學務局通牒 兼普一一四號)

【問】 一、明治三十三年勅令第三百三十三號市町村立小學校教員加俸令第五號ニ郡視學ニ在職シタル年數ハ勤績年數ニ通算ス

ト有之候處教育事務擔當ノ郡書記ニシテ郡視學ヲ兼務セル場合ニ其兼務年數ハ本案ニ依リ通算シ可然哉

一、訓導ニシテ年功加俸ヲ受ケタル後尙五ヶ年勤績シ増加加俸ヲ受クル者郡視學ニ轉シ更ニ小學校訓導ニ轉シタル者

ニ對シテハ受給資格ヲ既有スルモノト認メ増加加俸ヲモ支給シ可然哉 (熊本縣照會)

【答】 右ハ第一第二共御意見ノ通 (普通學務局回答)

○公立學校職員年功加俸給與上疑義

(大正一一・一〇・一六 各地方廳へ普通、實業兩學務局通牒)

【問】 左記履歴ヲ有スル標記職員ノ年功加俸ハ大正五年十月二十八日ニ於テ市町村立小學校教員加俸令第五條ニ依リ勤績年數ニ通算シ得ル職名以外ヨリ小學校教員ニ轉シタル者ナルニ依リ右轉任前在職年數ヲ除算シ支給スヘキ哉

大正二年八月十一日(小學校訓導) 同三年五月九日(高等女學校教諭) 同五年十月二十八日(小學校訓導)

同六年十月十八日(高等女學校教諭) (福岡縣照會)

【答】 右ハ大正五年十月二十八日小學校訓導ニ就職ノ時ヨリ起算スヘキモノニシテ其ノ以前ニ於ケル公立學校及小學校在職年數ハ除算スヘキモノト御承知相成度 (普通學務局回答)

○公立學校職員年功加俸支出方疑義

(大正一二・二・九 各地方廳へ普通學務局通牒)

【問】 年功加俸ヲ受クル公立學校職員死亡シタル場合ニ於ケル死亡賜金ニ加算スル加俸ハ死亡者ノ學校所屬府縣郡市町村ヨリ支出スヘキ哉或ハ公立學校職員加俸資金中ヨリ支出スヘキモノニ有之候哉 (愛知縣照會)

【答】 死亡賜金ニ加算スル加俸ニ相當スル金額ハ死亡者ノ學校所屬府縣郡市町村ヨリ支出スヘキ義ニ付御了知相成度

○公立學校職員年功加俸支給方疑義

(大正一二・二・二二 各地方廳へ普通學務局通牒)

【問】 中學校教諭ニシテ四級俸ヲ受クルモノニ年功加俸年額百八圓ヲ支給シアリタル處他ノ職ヲ兼務シタルニ因リ四級俸當分月俸貳拾圓支給ノ辭令ヲ發スルト同時ニ既給年功加俸ヲ減給スヘキ辭令ヲ發スルモノニ有之候哉 (石川縣照會)

【答】 右ハ既給年功加俸減額ノ辭令ヲ發スヘキ義ト御了知相成度

○市町村立小學校教員加俸給與取扱ニ關スル疑義

(大正一四・一・六 各地方廳へ普通學務局通牒)

【問】 准訓導ニシテ新ニ年功加俸(年額貳拾四圓)ヲ受マタル後尙五ヶ年以上勤績シ増加加俸(年額拾貳圓)ヲ受クル者本科訓導又ハ專科訓導ニ轉任シタルトキハ市町村立小學校教員加俸令第三條第二項ノ新加俸及同條第二項但書ノ増加加俸ヲ併給シ可然哉 (某縣何)

【答】 右ハ御意見ノ通り

○公立學校職員年功加俸支給上勤績年數計算方疑義 (大正一四・三・一一 富山縣照會) (大正一四・六・一七 普通學務局回答)

【問】 別紙履歴事項ノ通他ノ職務ニ在ルモノニシテ農業補習學校訓導ニ任セラレ教授ノ季節中ノ手當ノミ給セラレ居タルモノ引續キ農業學校教諭トナリタル場合實業補習學校ノ訓導在職年數ハ無給ノ職員ナルヲ以テ公立學校職員年功加俸支給ニ關シ勤績年數計算上除算スヘキヤ (履歴書略)

【答】 公立ノ實業補習學校訓導ヨリ公立ノ農業學校教諭ニ轉任シタル場合其ノ實業補習學校訓導在職年數ハ之ヲ公立學校職員年功加俸支給上勤績年數ニ通算スヘキモノトス 追テ訓導在職中無給トナシタルハ適法ノ取扱ナラス

○中等學校教員ノ死亡賜金ノ基礎タル俸給ニハ年功加俸ヲモ加算スヘシ

(大正一五・三・八 各地方廳へ通牒)

(本文略)

○市町村立小學校教員加俸令ニ依ル勤績年數算定方

(昭和二・三・三一 各地方廳へ普通學務局通牒)

【問】 市町村立小學校教員加俸令ニ依ル勤績年數算定方ニ關シ加俸令第三條ニ於テハ小學校教員ニシテ五年以上一府縣内ノ市町村立小學校ニ勤績シ云々トアリ市町村立小學校ニ付テハ其勤績年數ノ算定ヲ同一府縣内ニ限定シアルモ同令第五條ニ於テハ道府縣視學、島廳、郡視學及師範學校訓導ニ在職シタル年數ハ之ヲ勤績年數ニ通算ストアリ別ニ同一府

縣内ト限定シアラサルニ付他府縣(視學及師範學校訓導)ヨリ本縣市町村立小學校ニ轉任シタルモノハ同様勤続年數ニ通算シ可然哉(某縣例)

【答】 右ハ不可然儀ト御了知相成度

○市町村立小學校教員特別加俸給與ニ關スル疑義

(昭和二・四・一八各地方廳へ普通學務局通牒) 新普五 號

【問】 師範學校卒業後一年現役兵トシテ服役スル者ニハ小學校令施行規則第一百五十三條ノ二ニ依リ其ノ俸給ノ三分ノ二ヲ減スト有之候處右ノ場合加俸令第七條ニ依ル特別加俸ヲ支給ノ學校ニ任用シタルトキハ前條ニ倣ヒ特別加俸モ三分ノ二ヲ減シ支給可相成モノニ候哉(某縣例)

【答】 右ハ師範學校卒業後直ニ一年現役兵トシテ入營シ特別加俸支給ノ學校ニ成テ未タ勤務セサルカ如キ場合ハ特別加俸ヲ給與セサルコトニ御取扱相成度

○公立實業補習學校教員兼小學校本科正教員ニシテ本科正教員ニ轉任シタル者ノ勤続年數通算方

【問】 首記ノ件ニ關シテハ明治三十五年三月十二日寅普甲六四四號ヲ以テ小學校教員加俸令第三條ノ勤続年數ニ通算スル旨御通牒相成候處若小學校本科正教員ニシテ十餘年勤続シ小學校教員加俸令ニ依リ年功加俸ヲ受ケタル者公立實業補習學校教員兼小學校本科正教員ニ轉任シ公立學校職員年功加俸令ニ依リ年功加俸ヲ受ケ兼任ノ儘在職四年ニシテ小學校本科正教員ニ轉任シタルアリ右ノ者ニ對シ小學校教員年功加俸ヲ給與セムトスル場合ハ公立實業補習學校教員ノ在職年數ハ小學校教員加俸令上ノ勤続年數ニ通算スルコトヲ得サレトモ本件ハ小學校本科正教員ヲ兼務セル者ニ付總テノ在職年數ヲ通算シ市町村立小學校教員加俸令ニ依リ年功加俸ヲ給與シ差支無之哉(大正一四・二・二七・長崎縣照會)

【答】 公立小學校教員カ公立實業補習學校教員兼小學校本科正教員ニ轉任シ更ニ小學校本科正教員專任ニ轉シタル場合ハ其ノ實業補習學校教員在職中公立學校職員年功加俸令ニ依リ年功加俸ヲ受ケタルト否トヲ問ハス小學校教員加俸令ニ依

リ勤続年數ヲ計算スル場合ハ其ノ總テノ在職年數ヲ通算シ可然キモノト御了知相成度 追テ實業補習學校教諭助教諭ヨリ同一校ニ併設ノ小學校ノ專科正教員ヲ兼務セシムルハ差支ナキモ本件ノ如ク小學校令施行規則第三十五條第一項該當ノ本科正教員ヲ兼務セシムルハ妥當ナラサルニ付今後ハ御注意相成度(大正一四・五・一四・普通學務局回答)

○市町村立小學校教員加俸資金ノ支途ニ關スル取扱方

(昭和三・五・二九各地方廳へ普通學務局通牒) 佐普一 四 號

市町村立小學校教員加俸資金ノ支途ニ關シテハ市町村立小學校教育費國庫補助法並市町村立小學校教育費補助ノ爲北海道地方費及府縣費支出ノ件ニ付規定セラレタルニ不拘右特別會計ヨリ小學校正教員ノ加俸金ニ對スル恩給基金納金ヲ支出セル向有之加俸資金設置ノ趣旨ニ鑑ミ甚タ遺憾不勤ニ付取扱上遺漏ナキ様爲念此段通牒ス

○市町村立小學校教員僻陋地特別加俸支給ニ關スル疑義

(昭和三・九・二四各地方廳へ通牒) 茨普二 七 號

【問】 一、尋常高等小學校ノ尋常科ニ勤務スル本科正教員ニ給スヘキ特別加俸ニ關シテハ明治三十五年二月十日丑普甲三九三七號御通牒及同年七月二十八日寅普甲二五二〇號岐阜縣御回答等有之候得共本縣ノ如ク本科正教員及准教員ノ任用辭令ニ「尋常本科勤務」「高等本科勤務」又ハ「補助勤務」等ヲ命スル旨併テ發令スル場合ハ之等ニ特別加俸ヲ給與シ得ルハ尋常本科勤務ヲ命シタル者ニ限ルヤ或ハ事實尋常科ノ教授ヲ擔當スル者例ハ高等本科勤務ノ學校長ヲ兼ヌル本科正教員カ高等科ノ一學級ヲ擔任スル外尋常科五、六學年ノ修身科ヲ教授シ又ハ小學校令施行規則第三十五條第二項ニ依リ學級數以外ニ置キタル本科正教員、同條第四項ニ依リ任命セラレタル准教員カ高等科ト尋常科トニ互リ教授ヲ擔當スル場合等ニ加俸令第七條第三項ニ依ル特別加俸ヲ支給スルハ差支ナキヤ  
二、尋常高等小學校ニ勤務スル專科正教員ニ加俸令第七條第三項及第四項ノ特別加俸ヲ給與シ得ルハ小學校令施行規則第三十七條ニ依リ置キタル者ニ限ルヤ或ハ同條ト第三十五條第二項トノ事實ヲ兼テ一名ノ專科正教員ヲ置キ之ニ尋常科及高等科ノ專科教授ヲ擔當セシメ前記ノ特別加俸ヲ支給スルハ差支ナキヤ



三、前二號各後段ノ支給差支ナシトスレハ之ニ依リ一旦特別加俸ヲ受ケタル者其ノ後尋常科ノ教授擔當ヲ廢スルトキハ特別加俸モ亦自然消滅シ隨テ加俸令第七條第四項ニ依ル勤績年數ハ其ノ尋常科教授擔當ノ繼續期間ニ就テノミ計算スヘキモノト解スヘキヤ(某縣照會)

【答】 一、支給シ可然 二、支給シ可然 三、御意見ノ通

○公立學校職員年功加俸支給ニ關スル疑義

(昭和三・九・二七 英普三三三號 各地方廳へ普通學務局通牒)

【問】 一、公立學校職員(奏任待遇)勤績滿五年ニ達シ年功加俸ヲ受ケタル後三年半勤務シ休職トナリ、休職中ニ勤績滿拾年ニ達シタルヲ以テ休職ノ儘更ニ上級ノ年功加俸ヲ發令セムトスルモノナルモ差支無之哉

二、公立學校職員(師範學校訓導)勤績二年ニシテ高等師範學校入學ノ爲休職トナリタル者ハ高等師範學校在學中ニ勤績滿五年ニ達スルヲ以テ右ノ者ニ年功加俸發令差支無之哉(某縣照會)

【答】 一、二、共御見込ノ通

○市町村立小學校教員特別加俸給與ニ關スル疑義

(昭和四・九・一七 神奈川縣照會) (昭和四・十・七 普通學務局回答)

【問】 師範學校卒業後滿一ケ年加俸令第七條ニ依リ特別加俸支給ノ學校ニ勤務シ現ニ特別加俸ヲ受ケタル者兵役法第十條ノ規定ニ依ル短期現役ニ服スル場合ニ於テ小學校令施行規則第五百十三條ノ二ニ依リ服役中俸給ノ三分ノ二ヲ減スト有之候處右ノ場合特別加俸モ三分ノ二ヲ減シ支給可相成モノニ候哉

【答】 右ハ短期現役兵トシテ服役中ハ特別加俸三分ノ二ヲ減シ支給セラレ可然義ト御了知相成度

○公立學校職員年功加俸支給方疑義

(昭和四・十・一二 各地方廳へ普通學務局通牒) (神普一三三號)

【問】 左記履歷ヲ有スル者ニ關シ公立學校職員年功加俸ヲ支給シ得ヘキモノナリヤ聊カ疑義相生シ候條御指示相成度此段照會候也

大正十一年三月三十一日(沖繩縣甲小學校訓導) 昭和二年八月九日(同縣乙小學校訓導兼甲師範學校訓導)

同日(同縣甲中學校教諭兼任) 同四年四月二十五日(乙小學校訓導兼甲師範學校訓導退職) (沖繩縣照會)

【答】 右ハ公立學校職員年功加俸令第七條ニ依リ甲乙小學校訓導在職年ヲ通算スヘク從テ大正十一年三月三十一日ヨリ起算シ勤績五年以上トナルヲ以テ公立學校職員年功加俸令ニ依リ加俸ヲ支給スヘキ義ト御了知相成度 追テ本件ノ如ク小學校訓導ヲシテ師範學校訓導(代用附屬小學校訓導)ヨリ師範學校訓導兼務ハ差支ナシ又ハ中學校教諭ヲ兼任セシムルカ如キハ妥當ナラスト認メラルルニ付爾今御留意相成度

【問】 一、沖繩縣照會ノ教員ニ對シ公立學校職員トシテノ年功加俸ヲ支給スヘシトアルハ同人カ昭和四年四月二十五日乙小學校訓導兼甲師範學校訓導退職ト同時ニ從來兼職タリシ甲中學校教諭カ本務トナルトノ解釋ヲ前提トシ其ノ後ノ加俸支給ノ義ニ付指示セラレタルモノト思惟ス(昭和四・一・一五・三 重縣照會)

【答】 甲中學校教諭兼務カ本務トナリタル日附ヲ以テ公立學校職員年功加俸第一回ヲ發令スヘク尙引續キ同人カ公立學校職員年功加俸令第一條ノ職ニ勤績スルモノトセハ大正十一年三月三十一日ヨリ起算シ昭和七年三月三十一日ヲ以テ同加俸勤績十年以上ノ相當額ヲ發令スヘキモノトス(昭和四・一・二五 普通學務局回答)

○市町村立小學校教員加俸令第三條ノ勤績年數ニハ兼任中ノ年數ヲ通算ス

(昭和八・七・二七 內閣府給局照會) (教甲第三九四號)

【問】 年功加俸支給ニ關シ貴局ヨリ奈良縣知事宛昭和八年六月二十六日附奈普一一號回答書ニ依レハ同書記載ノ參照履歷ノ如キ場合ニ於テハ兼任中ノ在職年數ハ之ヲ勤績年數ニ通算スヘキ趣ニ有之候處兼任在職年數通算ハ小學校教員年功加俸給與ノ場合ニ限リ通算スヘキ義ナルヤ法令上ノ根據一應承知致度尙從來公立學校職員年功加俸令ニ於テハ兼任ノ在職年數ハ俸給ナキ在職年トシテ不通算ノ例ニ有之從ツテ小學校教員加俸令ニ於テモ同様ニ兼任在職年ハ不通算トナスヲ相當ト被存モ聊カ疑義有之候條貴局ノ御意見承知致度 追テ左記(イ)(ロ)ノ履歷ノ如ク退職ノ當日滿十五年ニ達スル場合ニ於テハ括弧内ノ年功加俸ヲ退職ト同日發令スヘキモノト被存候へ共一應貴局ノ御見解承知致度ニ付併セテ御

回答相成度

(イ)大正七年三月三十一日(小學校訓導ニ任ス) 大正十一年三月三十一日(高等女學校教諭ニ任ス) 昭和七年三年三十一日(休職ヲ命ス) 昭和八年三月三十日(休職満期自然退職) (十五年以上ノ年功加俸)

(ロ)大正七年三月三十一日(小學校訓導ニ任ス) 大正十四年三月三十一日(女子師範學校訓導ニ任ス) 昭和八年三月三十一日(五級俸給與) 同(願ニ依リ本職ヲ免ス) (八十圓以上ノ欄ニテ十五年以上ノ年功加俸)

右ハ教員優遇ノ趣旨ニ於テ市町村立小學校教員加俸令第三條ノ勤続年數ニハ兼任中ノ年數ヲ通算スルノ取扱ニ付御了知相成度 追テ退職當日加俸受給年限ニ達シタル場合ニ於ケル加俸支給ノ發令方ニ付テハ何レモ御見解ノ通ニ付併テ御了知相成度 (昭和八・十・四・普通學務局回答)

○僻地所在ノ分教場ニ出校スル學校長ニ特別加俸給與方疑義 (昭和八・八・三〇・茨城縣照會) (普通學務局回答)

【問】 同一町村内ノ分教場所在地タル一部落ノミヲ僻地ニ指定シタル場合合同小學校ニ勤務スル學校長ハ常ニ分教場ニ出校スルヲ以テ加俸令第七條第三項ニ依リ僻地ノ市町村立小學校ニ勤務スルモノト見做シ特別加俸ヲ支給シ可然哉

【答】 右ノ如キ場合ニ於ケル小學校長ニハ加俸令第七條第三項ノ規定ニ依リ特別加俸ハ之ヲ支給スヘキ限ニアラサルニ付御了知相成度

○公立學校職員年功加俸給與ニ關スル疑義

(昭和八・一・二一・一四埼玉縣照會) (昭和九・八・二二普通學務局回答)

【問】 加俸令上ノ勤続年數ノ算定ヲ誤リタル結果受給資格ナキ者ニ對シ公立學校職員加俸令ニ依リ年功加俸給與ノ發令ヲ爲シ後日ニ至リ其ノ發令ノ誤リナリシコト判明シタル場合ハ何年後ニ於テモ前發令ヲ取消シ過誤拂金ノ追徴ヲ爲シ得ルヤ否ヤ

【答】 當該發令ハ取消シ得ルモ其ノ取消ノ效果ハ遡及セス從テ既ニ支給セル加俸ハ追徴スルヲ得サルヘシ

○公立高等學校長ハ公立學校職員年功加俸令第一條ニ該當セス

(昭和一一・八・一三富山縣照會)

【問】 公立學校職員年功加俸令第一條ニ依リ公立ノ高等學校尋常科、中學校等ノ學校長教諭等五年以上勤続ノ場合年功加俸ヲ給スヘキモノノ處七年制公立高等學校ノ校長トシテ五年以上勤続在職シタル者ハ右第一條該當者ト認メ年功加俸給與差支ナキヤ聊ガ疑義ニ付キ至念何分ノ儀御指示相成度此段及照會候也

【答】 公立高等學校長ハ公立學校職員年功加俸令第一條ニ該當セサルモノト被認 (昭和一一・九・四・專門學務局回答)

### 第三十三 教育基金

○實業補習學校教員ハ教育資金ヲ以テ賞スル限ニアラス

(明治四三・五・二四廣島縣照會) (明治四三・七・一五各地方廳)

【問】 本年四月文部省令第十號小學校程度ノ實業教育ニ關シ小學校教育成績規程準用ノ件並ニ同月發普一〇六號通牒教育成績狀受領者ニ賞金授與ノ件ニ依リ實業補習學校教員等ニシテ成績狀ヲ受ケタル者ニ對シ教育資金ノ内ヲ以テ金百五拾圓以内給與スル事ニ相成候處此精神ヨリスレハ教育基金令第八條第一項ニ依リ實業補習學校教員中其成績特ニ優良ナル者ニ對シテモ適宜給與金授與之儀差支無之ト存候ヘ共差支無之候哉此段及照會候也

【答】 四月十三日發普一〇六號通牒小學校教育成績狀規程ニ依リ選奨セラレタル者ニ對スル給與金ハ同規程第一條ニ規定シタル者ノミニ限ル義ニ有之從テ教育基金令第八條第一項ノ費用ヲ以テ實業補習學校教員ヲ賞スルノ限ニ無之

○教育基金令ニ依リ教育資金ハ中學校高等女學校等ニ關スル費用ニ使用スルハ然ルヘカラス

【問】 教育基金令ニ依リ府縣ニ下付相成候配當金ハ同令第八條ニ依リ十分ノ三以内ヲ限リ普通教育ニ關スル費用ニ充ツルコトヲ得ル義ニ候處中學校高等女學校即チ高等普通教育ニ從事スル教員ノ爲ニ開設スル講習會等ノ費用假令ハ講師ノ報

【答】 副會員ノ手當等ニ費消スルハ敢テ差支ナキ事トハ被存候得共爲念及御問合候條何分ノ御指示相成度右及照會候也  
中學校高等女學校等ニ關スル費用ニ使用スルハ然ルヘカラサル省議ニ有之候 (明治四四・六・二六・通牒)

○教育互助會獎勵ノ爲教育資金使用差支ナシ

(大正四・九・二六 茨城縣照會)  
教發二八三號

【問】 教育資金ヨリ茨城縣教員互助會ニ對シ獎勵金ヲ支出スルモ差支無之候哉同會ノ定款相添ヘ此段及御照會候也 追而本會ハ大正四年五月ノ設立ニ係リ現ニ內務部長之レカ會長トナリ教育課長副會長タリ目下會員二千七百十二人ヲ有シ資產ノ總額金二千六百拾一圓三拾四錢ニ達シ社團法人ニ組織變更ノ手續中ニ有之候

【答】 右ハ差支無之 (大正四・九・二二 普通學務局回答)

○小學校教員ニシテ癩病患者ヘモ肺結核同様ニ疾病療治料給與然ルヘシ

(大正五・八・一一 地方廳へ普通學務局通牒)  
普普四八號

大正四年文部省令第八號公立小學校教員疾病療治料給與ニ關スル準則中兒童ノ衛生上特ニ考慮ヲ要スヘキ疾病ニ關シテハ客年四月八日發普六〇號ヲ以テ主トシテ肺結核ヲ指シタル旨及通牒置候處今般某縣ヨリ癩病ノ如キモ肺結核同様ノ取扱ヲナシ可然哉ニ付照會有之右ハ可然コトニ回答致候ニ付爲御參考此段及通牒候也

○公立小學校教員ニシテ腸結核ノ傳染病者ニハ疾病療治料給與方

(大正六・四・一七 普通學務局通牒)  
兵普四一號

今般某縣ヨリ腸結核ニ罹リ傳染ノ虞アルト認メタルモノハ大正四年文部省令第八號公立小學校教員疾病療治料給與ニ關スル準則中所謂兒童ノ衛生上特ニ考慮ヲ要スル疾病ト認メ右該當者アル場合ニ於テハ療治料ヲ支給シ差支ナキヤ否ヤニ就キ照會有之右ニ對シ差支無之コトニ回答致候ニ付爲御參考此段及通牒候也

○公立小學校教員ニシテ喉頭結核者ヘモ疾病療治料給與方

(大正六・四・二二 各地方廳へ普通學務局通牒)  
香普二二二號

今般某縣ヨリ大正四年四月文部省令第八號公立小學校教員疾病療治料給與ニ關スル準則中兒童ノ衛生上特ニ考慮ヲ要スヘキ

疾病ニ關シ喉頭結核モ肺結核同様ノ取扱ヲナシ可然ヤニ付照會有之右ハ可然コトニ回答致候間爲御參考此段及通牒候也

○通俗教育並普通教育ノ普及ヲ圖ル爲郷土資料陳列館ヲ特別會計タル教育資金ニテ建設然ル可カラス

【問】 通俗教育並普通教育ノ普及ヲ圖ル爲郷土資料ヲ陳列スヘキ建物ヲ教育資金ヨリ支出シ建設シ得ヘキヤ差掛リタルコトアリ直ク返(電文) (大正六・十・七 熊本縣照會)

【答】 郷土資料陳列館ヲ特別會計タル教育資金ニテ建設スルハ然ル可カラス (電文) (大正六・十・一一 普通學務局回答)

○小學校教員ニシテ尋常性狼瘡患者ヘモ疾病療治料給與差支ナシ

(大正七・四・二二 普通學務局通牒)  
長普五六號

【問】 小學校教員疾病療治料給與ノ範圍ニ關シテハ過般來數度御通牒ノ次第モ有之候處「尋常性狼瘡」ニモ給與可然哉  
【答】 右ハ兒童ノ衛生上危險ヲ及ホス狀況ニ有之候ハハ支給差支無之ト存候此段及回答候也

○小學校教員ニシテ結核性痔瘻患者ヘモ疾病療治料給與差支ナシ

(大正七・七・九 普通學務局通牒)  
秋普五九號

【問】 小學校教員疾病療治料給與ニ就キテハ御通牒ノ次第モ有之候處「結核性痔瘻」ニ給與致シ可然候哉  
【答】 右ハ兒童ノ衛生上危險ヲ及ホス狀況ニ有之候ハハ支給差支無之ト存候此段及同答候也

○小學校教員ニシテ泌尿生殖器ノ結核ニモ疾病療治料給與差支ナシ

(大正七・八・二八 普通學務局通牒)  
普東三〇五號

【問】 小學校教員疾病療治料給與ノ範圍ニ關シテハ曩ニ御通牒有之候處「泌尿生殖器ノ結核」ニモ給與致シ可然哉  
【答】 右ハ支給相成差支無之

○教育資金中ヨリ小學校教育成績者ニ給與スヘキ賞與金額變更

(大正九・二・五 各地方廳へ普通學務局通牒)  
發普八五號

小學校教育成績狀規程ニ依リ本省大臣ヨリ選奨セラレタル者ニ對シ教育資金中ヨリ給與可相成賞與ノ金額ニ關シテハ明治四十二年四月發普一〇六號ヲ以テ及通牒置候次第モ有之候處右ハ爾今一人ニ付金參百圓以内ノ割合ヲ以テ御給與相成度

○公立小學校教員ニシテ結核性脊椎骨炎症ニシテ流注膿瘍ノ自開セシモノヘモ疾病療治料給與方

〔問〕 小學校教員疾病療治料給與ノ範圍ニ關シテハ先般來數度御通牒ノ次第モ有之候處「結核性脊椎骨炎症ニシテ流注膿瘍ノ自開セシモノ」ニモ給與可然哉目下懸留中ノ儀モ有之候條何分ノ御回示相成度候也

〔答〕 右ハ御意見ノ通り給與相成り然ルヘシ(大正十・一二・一九各地方廳へ普通學務局通牒)

○肺炎双球菌(フレンケル氏)ニ因ル慢性肺患ハ公立小學校教員疾病療治料給與ニ關スル準則中ノ疾病ト認メ

難シ

(大正一・一・二〇各地方廳へ普通學務局通牒)

(長普一・一二六號)

今般某縣ヨリ單ニ肺炎双球菌(フレンケル氏)ニ因ル慢性肺患ヲ大正四年文部省令第八號公立小學校教員疾病療治料給與ニ關スル準則中ニ所謂兒童ノ衛生上特ニ考慮ヲ要スヘキ疾病ト認ムヘキヤノ照會アリシニ對シ右ハ認メ難キ旨回答セシニ付此段爲御參考通牒ス

○小學校教員ノ肺炎加答兒ニシテ結核菌ヲ認メル者ニ對シテモ疾病療治料給與然ル可シ

今般某縣ヨリ大正四年文部省令第八號公立小學校教員疾病療治料給與ニ關スル準則中兒童ノ衛生上特ニ考慮ヲ要スヘキ疾病中ニ肺炎加答兒ニシテ結核菌ヲ認ムルモノヲ含ムヤトノ照會アリタルニ對シ右ハ御意見ノ通り給與相成可然旨回答シタルニ付爲參考通牒ス(大正一・二・三・一六各地方廳へ普通學務局通牒)

○結核性脊椎カリエスニシテ膿汁ヲ形成シ膿汁ヲ排泄スル者ヘモ疾病療治料支給然ルヘシ

(大正一・三・二一各地方廳へ普通學務局通牒)

(長普一・一・七號)

今般某縣ヨリ大正四年文部省令第八號標記ノ件ニ關シ脊椎カリエス(結核性)病ニ罹リタル者ノ取扱ニ付照會アリタルニ對シ結核性脊椎カリエスニシテ膿汁ヲ形成シ膿汁ヲ排泄スルモノハ兒童ノ衛生上特ニ考慮ヲ要スル疾病トシ右規程ニ依リ疾病

治料ヲ支給シ然ルヘキモノト回答シタルニ付御了知相成度

○大正十四年度教育資金不配付ニ對スル處置方

(大正一・四・二四各地方長官へ文部次官通牒)

(發普八・五號)

從來道府縣ニ對シ交付シタル教育基金令第二條ニ依ル國庫配付金ハ財政上ノ都合ニ依リ大正十四年度ニ於テハ配付セサルコトニ相成タルニ付テハ同配付金ヲ以テ支辨シタル普通教育獎勵ニ關スル事業費ハ自然教育資金ヨリ生スル收入及道府縣費ノ補充金等ヲ以テ之ヲ支辨スルノ外無之ニ付左記事項篤ト御留意ノ上管内ノ實情ニ鑑ミ其ノ事業ノ緩急宜シキヲ得以テ普通教育ノ獎勵上遺算無之様御措置相成度

- 一、公立小學校教員ノ疾病療治料ノ給與ハ特ニ必要ナル施設ニ付從來通其ノ支給上遺憾ナキヲ期スルコト
- 二、公立小學校設備費ノ貸付等ニ付テハ教育資金ノ運用上適當ニ措置スルコト
- 三、公立小學校教員ノ獎勵其他普通教育ノ普及改善ニ關スル施設ニ付テハ其ノ緩急ヲ計リ之カ整理ヲ爲ス等適當ノ措置ヲ講スルコト

四、大正九年五月六日發普一六〇號ニ依リ社會教育主事ノ俸給又ハ手當トシテ教育資金ヨリ貳千圓限り支出スルコトヲ認メタルモ此際之ヲ適當ニ措置シ並職員ノ位置ニ不安ヲ來ササル様考慮セラレ度キコト

○小學校教員ニシテ腎結核ニモ病療治料給與差支ナシ

(昭和二・二・二二宮城縣照會)

(昭和三・一・二五普通學務局回答)

〔問〕 小學校教員腎結核ニ罹リ休職シ疾病療治料請求ノ者有之候處右疾病ニシテ大正四年文部省令第八號公立小學校教員疾病療治料給與ニ關スル準則ニヨリ兒童ノ衛生上特ニ考慮ヲ要スルモノトシテ肺結核其他ノ疾病ト同様右療治料ヲ支給シ差支無之候哉

〔答〕 右ハ大正七年八月二十八日東普三〇五號普通學務局通牒ニ依ル泌尿生殖器ノ結核ノ場合ト同様ニ御取扱相成度

○公立小學校教員疾病療治料給與ニ關スル疑義

(昭和三・一・二五各地方廳へ普通學務局通牒)

(并普一・一八號)

【問】 左ノ該當者ニシテ兒童ノ衛生上特ニ考慮ヲ要スヘキ疾病ニ罹リ退職解職又ハ休職ヲ命セラレタル場合ハ疾病療治料ヲ給シ差支無キヤ

- 一、勤続一ケ年未滿ノ場合
- 二、本務カ實業補習學校ノ教諭若ハ助教諭又ハ中學校ノ教諭ニシテ兼務カ小學校本科正教員ナル場合
- 三、兒童衛生上特ニ考慮ヲ要スヘキ疾病ニ罹リ退職シ死亡シタル後疾病療治料ヲ請求シタル場合
- 四、師範學校卒業ト同時ニ一年現役兵トシテ服役シタル者肺結核ノ爲現役免除トナリ除隊シ實際一日モ小學校ニ出勤セシテ休職退職ヲ命セラレタル場合

【答】 一、第一項ハ勤続一年未滿ノ場合ハ年數ヲ基礎トシテ療治料ヲ給シ難キモ其ノ他ノ事情ヲ斟酌シテ適當ニ縣ノ支給規定ヲ設ケ之ニ基キ療治料ヲ支給スルハ差支ナシ

- 二、第二項ハ御意見ノ通但シ中學校ノ教諭ヨリ小學校本科正教員ヲ兼務スルハ認メラレヌ
- 三、第三項ハ御意見ノ通
- 四、第四項ハ第一項ト同様ニ取扱フコト

○兒童就學獎勵資金支途ニ關スル疑義

(昭和三・一・二六新潟縣照會) (昭和三・三・二四普通學務局回答) (學第五四三號) (新普六號)

【問】 貧困ノ爲幼兒ヲ同伴シテ通學スル兒童救濟ノ目的ヲ以テ小學校ニ通年或ハ季節的托兒ノ設備ヲナシ就學兒童ヲシテ幼兒保護ノ顧慮ナク學業ニ專念セシムル様市町村ニ對シ之カ施設獎勵ノ計畫中ニ有之候處右施設ハ貧困兒童就學獎勵ノ趣旨ニ添フモノト認メラレ候條大正十三年 皇太子殿下御慶事ノ際御下賜ノ兒童就學獎勵資金ノ利子ヨリ補助金ヲ交付差支無之ヤ

【答】 右市町村ニ對シテハ兒童就學獎勵資金ノ利子ヨリ補助金ヲ交付シ差支無之義ト御了知相成度 追テ右補助金ヲ交付スル場合ハ豫メ貴縣兒童就學獎勵規程中改正ヲ要スヘキモノ有之ト認ムルニ付爲念申添フ

○公立小學校教員疾病療治料給與ニ關スル準則中第三條但書ノ解釋上疑義

【問】 兒童ノ衛生上特ニ考慮ヲ要セサル疾病ニヨリ休職中ノモノ休職期間中ニ兒童ノ衛生上特ニ考慮ヲ要スル疾病ヲ併發シタルニ付退職ヲ命セラレタル場合ニハ疾病療治料ヲ支給セサルモ差支ナキヤ (昭和四・一・二二・北海道照會)

【答】 右ハ疾病療治料ヲ支給スヘカラサル義ト御了知相成度 (昭和四・一・二七・普通學務局回答)

○學齡兒童就學獎勵規程ニ依ル交付金ハ學區ニ配付スヘカラス

(昭和七・五・一一各地方廳へ普通學務局通牒) (三普四號)

【問】 小學校令第五章並小學校令施行規則第三章ノ規定ニ徴スルニ學齡兒童ノ就學督勵事務ハ市町村長ノ職責ニ屬シ市町村長カ市町村立尋常小學校ノ管理者トシテ之ヲ管掌スル筋ニアラサルニ鑑ミ且學齡兒童就學獎勵規程第四條ニ照シ同規程第三條ノ交付金ハ市町村ニ於テ之ヲ學區ニ配付スヘカラサル義ト認メラレ候處右聊カ疑義ニ涉リ候條何分ノ御回示相煩度此段相伺候也

【答】 學齡兒童就學獎勵規程ニ依ル交付金ハ之ヲ學區ニ配付セシメサル様御取計相成度此段回答ス

○教育基金令改正ニ對スル取扱方

(昭和十・一・三十各地方廳へ普通學務局通牒) (發普一一三號)

今般勅令第二號ヲ以テ教育基金令第六條第三項ヲ改正セラレ特別ノ事情アル場合ニ於テハ文部大臣ノ認可ヲ受ケ貸付利率ヲ一年百分ノ四迄減スルコトヲ得ルコトト相成タルニ付テハ今後同基金ノ貸付ヲナス場合非常災害其ノ他特別ノ事情ニ依リ貸付利率ノ低減ヲナサムトスル向ニ付テハ別紙様式ニ依ル調書ヲ添付シ個々ノ貸付ニ付認可申請相成度 追テ本件ノ改正ニ伴ヒ教育資金使用ニ關スル規程ヲモ改正スルノ要アリト認ムルニ付至急其ノ手續ヲ了セラレ度爲念申添フ (様式略)

### 第三十四 實業教育費國庫補助

#### ○國庫補助ヲ受クル實業學校休校ノ場合ハ前以テ事由ヲ具シ伺出方

(明治三九・一二・二五 東京府へ實業學務局通牒)  
午東實一三一號

十二月十一日付午二甲第一二九五號ニテ南足立郡農會立南足立農業補習學校ノ義ニ付御回答相成候處國庫補助ヲ受クル學校ニ於テ補助期間中無斷休校スルハ國庫補助法ノ精神ニ反シ不可然義ニ有之候條爾今右様ノ場合ニハ前以テ事由ヲ具シテ伺出シメラレ度依命此段及通牒候也

#### ○實業教育費國庫補助法ニ依ル補助申請時期

(大正一一・七〇・二 各地方廳へ實業學務局通牒)  
發實一一七〇號

標記ノ件ニ關シテハ從來何等規定スル處無カリシヲ以テ年度末ニ差迫リ尙申請スルモノ多々有之補助ノ詮議及補助金ノ交付上等遺餘ノ點不鈔ニ付大正十一年度以後補助ノ申請ハ毎年九月三十日迄ニ當省ニ到達ノ分ニ限り詮議セラルルコトニ省議決定相成タルニ付至急其ノ旨須知方御取計相成度  
追テ本年度ニ限り本文ノ申請書ハ十月三十一日迄當省ニ到達スル様御進達相成度

#### ○實業補習教育費補助要項改正

(大正一四・二・一八 各地方廳へ實業學務局通牒)  
發實一四〇號

大正九年八月二十四日發實一八九號ヲ以テ標記ノ件通牒ノ處今般左記ノ通り改正相成シニ付御了知相成度此段依命通牒ス

##### 實業補習教育費補助要項

一、實業教育費國庫補助法第六條ノ二ニ依リ實業補習教育獎勵ノ爲國庫ヨリ交付スル補助金ハ其ノ三分ノ一ヲ其ノ年度ニ於ケル實業補習學校專任ノ學校長及教員俸給豫算額ニ、其ノ三分ノ一ヲ前年度ニ於ケル實業補習學校專任ノ學校長及教員俸給支出額ニ、其ノ三分ノ一ヲ前年度ニ於ケル第二項ノ補充金支出額ニ比例シテ之ヲ道府縣ニ交付スルコト

一、北海道及府縣ハ第一項ノ國庫交付金ニ對シ相當ノ補充ヲ爲スコト

三、第一項ノ交付金及第二項ノ補充金ハ地方長官ニ於テ左記ニ依リ使用スルコト

甲、實業補習學校ニシテ當該年度ニ新ニ置キ若ハ増員シタル專任ノ學校長、教諭又ハ助教諭ノ其ノ年度俸給額ニ對シ其ノ三分ノ二以テ補助スルコト

乙、前號ニ依リ剩餘ヲ生シタルトキハ前號以外ノ專任ノ學校長、教諭又ハ助教諭ノ其ノ年度俸給額ニ對シ其ノ三分ノ二以テ補助ヲ爲スルコト

丙、前號ニ依リ剩餘ヲ生シタルトキハ前號以外ノ實業補習學校校長及教員ノ其ノ年度俸給手當額ニ對シ相當ノ補助ヲ爲スルコト

四、地方長官ハ實業補習學校當該年度經費豫算調、實業補習學校前年度教員俸給支出額調、實業補習學校前年度教員俸給補助金收支調、實業補習教育ニ關スル當該年度經費豫算調、實業補習學校數調、實業補習學校教員數調ヲ別紙第一號乃至第六號様式ニ依リ毎年七月末日限り文部大臣ニ報告スルコト  
特別ノ事情アルトキハ本年度ニ限り從前ノ要項ニ依ルヲ得ルコト 本年度ハ第四項ノ報告ヲ要セサルコト (別紙第)

### 第三十五 宗 教

#### ○教務所說教所名稱ハ寺院ニ擬似セサル相當名稱選定方

(大正二・七・一二 各地方廳へ宗教局通牒)  
兵宗第一號

明治十七年乙第三十八號達ニ依リ御取扱可相成教務所說教所ニシテ間々其名稱ヲ何寺出張所ト稱スルモノモ有之哉ノ趣ニ有之候處此等教務所說教所ニ對シテハ其實質即チ教務所說教所タルコトヲ表示スヘキ相當名稱ヲ定メシメラレ何寺出張所ト稱スルカ如キ寺院ニ擬似セル名稱ハ之ヲ避ケシメラレ候方整理上可然儀ト存候間右御了知相成度

○社寺檀信徒總代改選届中ノ現任總代ノ解釋

(大正一四・七・二 眞宗大谷派本願寺何) 官第二五號

【問】 社寺檀信徒總代改選届ニハ明治二十四年十二月十日内務書記官通管甲第三一號ノ御通報ニ依リ現任總代連書スヘキ旨 承知致居候得共該現任總代ノ意味ニ付昨年山形縣ニ於テ別紙寫ノ如キ通牒相成候處尙判明難致點有之候ニ付左項御指 令相煩度此段同上候也

第一項、現任總代トハ改選ニヨリ當選シタルモノヲ指スト心得テ可然候哉

第二項、現任總代トハ改選ニヨリ當選シタル者ヲ指スニ非スシテ改選當時在任スル者ヲ指スト心得テ可然候哉

追テ第一項ニヨレハ改選届ニハ改選ノ結果當選シタル者ノミ連署シテ改選當時在任スル總代ハ連署ノ必要無之候

第二項ニヨレハ改選届ニハ改選當時在任スル總代ノ連署ヲ要シ改選ニヨル當選者ノ連署ハ必要無之候 (別紙略)

【答】 第二項御意見ノ通ト御了知相成度 (大正一四・七・二九 宗教局回答)

○神佛道教會所ニ於テ結婚式舉行差支ナシ

(大正一五・五・二八 京都府照會) 高秘 第八二四號

【問】 晚近神社又ハ寺院等ニ於ケル所謂神佛前結婚舉式ノ流行トナリ該神社寺院ニ在リテハ之カ爲相當ノ收入ヲ得ル關係上 之ヲ歡迎スルノ實況ニ在リ然ルニ一面神佛道教會所ニ於テモ最近之カ試ヲ爲サムトスル者發生シ各教會所ニ於テモ若 シ之カ公許アルニ於テハ續々執行セントスルノ傾向アリ然レトモ之レカ流行ノ結果ハ裏面諸種ノ弊害ヲ醸スノ虞アリ 本件ニ關シテハ明治十四年十月内務省達乙第四八號成第三號達示ノ次第モ有之之ヲ默認シ差支ヘナキヤ

【答】 神佛道教會所ニ於テ結婚式ヲ舉行スルコトハ別段差支無之 (大正一五・七・十 宗教局、内務省警保局回答)

○教會所ニ幼稚園併置差支ナシ

(昭和五・七・四 愛知縣何) (昭和五・七・一二 宗教局、普通學務局回答) 社兵第一三五二號

【問】 管内神佛道教會所並神佛道以外ノ宗教ニ屬スル教會所等ニ於テ其ノ布教、傳導ニ支障ナキ時ニ於テ該建物ヲ學ケテ幼 稚園ニ利用セントスルモノ有之候處右ハ之ヲ認容相成可然哉

【答】 教會所ニ幼稚園併置ノ件ハ別ニ差支無之

第三十六 寺 院

○社寺佛堂合併出願ニ關スル疑義

(大正六・二・一二 岩手縣照會) (大正六・八・一 宗教局回答) 岩庶收第五一〇號

【問】 寺院佛堂ノ合併ニ際シ同一人ニシテ兩者ノ代表者タルヲ得サル旨明治三十六年四月二日付宗甲第一〇號ヲ以テ御通牒 ノ次第モ有之候處今般内務省神祇局長ヨリ神社ノ合併等ノ場合ハ民法第百八條ノ適用ナキコトニ省議決定相成タル趣 通牒有之候ニ就テハ寺院佛堂ニ付テモ右ニ準シ處理致可然哉何分ノ御指示相煩シ度此段及照會候也

【答】 寺院佛堂ニ對シテハ明治三十六年四月宗甲第一〇號ノ通リト御承知相成度

○特別保護建造物ヲ有セサル寺院佛堂境内地使用ハ稟請ヲ要セス

(大正十・六・二二 各地方廳へ宗教局通牒) 發宗六八號

寺院佛堂境内地使用取締規則第二條ニ依リ第一條第三號ノ使用許可ヲ與ヘントスル場合ニ於テハ明治三十九年六月内務省訓 第四六七號訓令ノ趣有之候處爾今特別保護建造物ヲ有スル寺院佛堂境内地ニ係ルモノノ外ハ稟請ヲ要セサルコトニ決定セラ レタルニ付右御承知相成度

○寺院檀徒總代人臨時改選方ニ關スル疑義

(大正十・五・九 福井縣照會) (大正十・五・二三 宗教局回答) 教丙第一二七號

【問】 一、檀徒總代ニシテ其寺院ニ屬スル宗費ノ割當ヲ負擔セス義納志納ヲ務メサルヲ以テ檀徒總代トシテノ責任ヲ果サル 理由トシ住職ニ於テ右ハ明治十四年七月内務省達乙第三三號ニ「犯罪其他不良ノ所爲云々」トアル不良ノ所爲ニ該 當スルモノトシテ檀徒總代ノ臨時改選ヲ行ヒタルトキ事實此等ノ所爲アリタリトセハ斯種ノ所爲ハ果シテ前記内務省 達乙第三三號ノ所謂「不良ノ所爲」アルモノト解シ可然哉

二、檀徒總代選舉ニ關シテハ明治十四年七月内務省達乙第三三號ニ「檀家中相應ノ財産ヲ有シ衆望ノ歸スルモノ三名以上相選ミ云々」トアルノミニシテ其ノ選舉ノ方法ニ就テハ規定セラレタル所ナシ今若シ從來ノ慣習ニ依リ往職ニ於テ檀徒中ヨリ適當ト認ムルモノヲ指名推薦シ町村長ニ改選届出ヲ爲シタル場合右選舉方法ハ適法ト看做シ可然哉

一、第一項檀徒總代人ニシテ其ノ寺院ニ屬スル宗費ノ割當ヲ負擔セス義納志納ヲ務メサレハトテ直チニ之ヲ以テ不良ノ所爲アルモノトハ難認議ト被存

一、第二項選舉ノ方法トシテ從來ヨリ住職ニ於テ指名推薦ノ慣習アルモノハ右ニ依リ差支無之

○社寺ノ守札及神佛號ヲ記載セル畫像出版方ニ關スル疑義

(大正十・四・八香川縣照會) (大正十・七・一回答)

【問】 明治十五年十月乙第五十五號並明治三十七年六月社甲第二〇號ヲ以テ神社寺院ノ守札及神佛號記載セル畫像出版ニ關スル件神佛號ト稱スルハ其畫像名ヲ指シタル義ト存候然ラハ弘法大師ノ畫像ヲ畫キ其ノ佛號タル弘法大師ト記載ナキモノハ一見弘法大師又ハ不動明王ナルコト明瞭ナルモノト雖個人ニ於テ發賣頒布支障ナキ義ニ候哉何分ノ御回報相成度候 追而目下店頭ニ於テ個人販賣ニ係ル畫像添付致置候

【答】 社寺ノ守札及神佛號ヲ記載セル畫像ニ關スル件ハ別ニ神佛號ノ記載ナシトスルモ其畫像ニシテ一見神佛號ノ自然明瞭ナルモノハ均シク御取締相成可然ト存候 (神社局、宗教局、警保局回答)

○寺院所有地賃貸借契約ニ際シ監督官廳ノ許可要否

(大正一三・一・三〇和歌山縣照會)

【問】 寺院ノ財産處分ニ對シ監督官廳ノ許可ヲ必要條件トセルハ寺院ノ財産ヲ保護スル爲メニ外ナラストシ其ノ所有地ニ地上權又ハ抵當權等ヲ設定スルトキノ如キモ其ノ地所ヲ使用スルコト能ハス恰カセ所有權ノ一部ヲ讓渡シ之ヲ喪失セシメタルト同一ナルヲ以テ此ノ行爲モ亦明治六年布告第二百四十九號同九年教部省達第三號ノ所謂處分ニ包含スルモノトストノ大審院民事判例モ有之地上權又ハ抵當權ノ設定ニ就テハ何等疑問無之候へ共土地ノ賃貸借ヲ契約スルニ就テ

ハ同シク監督官廳ノ許可ヲ要スルヤ即チ土地ノ賃貸借ハ民法第六百二條ニ依リ處分行爲ト看做シ居ルヲ以テ存續期間二十年ノ賃貸借ノ如キハ前記地上權又ハ抵當權設定ト同様土地ノ處分トシテ許可ヲ必要トスヘキ哉

【答】 右ハ明治六年太政官布告第二百四十九號及同九年教部省達第三號ノ制限アルヲ以テ民法第六百二條ノ期間ヲ超ユル賃貸借ニアリテハ許可ヲ要ス (大正一三・四・二九・宗教局回答)

○寺院若クハ住職ノ學校經營差支ナシ

(大正一二・二・二二三大阪府照會) (大正一四・一・九宗教局回答)

【問】 寺院自體又ハ住職名義ニテ明治三十二年八月二日勅令第三百五十九號私立學校令ニ依ル學校若ハ幼稚園ヲ經營セムトスルモノ有之候處寺院若ハ其住職ハ如斯能力ヲ有セサルモノト存候モ聊カ疑義有之候ニ付至急何分ノ義御指示相煩度

【答】 右ハ學校ニ關スル諸規程ヲ遵守スルニ於テハ寺院若ハ其ノ住職ニ於テ之ヲ經營スルモ支障無之

○寺院什物類處分方

(大正一四・二・二四香川縣照會) (大正一四・五・二二宗教局回答)

【問】 明治六年七月太政官布告第二百四十九號什物處分心得方ノ件祠堂金ノ類ハ僧侶ハ勿論氏子檀家ノモノタリトモ自儘ニ處分可致筋無之云々ト有之候處右祠堂ニ關シ左ノ事項御指示相成度候

一、祠堂金トアル祠金ハ神社會計規則制定ト共ニ自然消滅ト解スヘキヲ以テ右布告ハ堂金ノ意味ニ解釋シ可然哉

二、寺院會計ニ於テハ賽錢、納經料、基本金、寄附金等種々アリテ之カ處分ニ關スル具體的法規ナク從テ前記堂金ハ基本金ノ意味ニ解シ其他ノ收入ハ住職ニ於テ檀徒總代ノ了解ヲ得ハ自由ニ處分シ差支ナキモノト解釋シ可然哉

【答】 一、第一項明治六年太政官布告第二百四十九號ニ祠堂金トアルハ寺院ニ係ルモノニシテ祠堂ノ祠ハ神社ヲ意味スルニアラス從テ祠堂金ハ祠金、堂金ナト區別スヘキモノニ無之ト存セラル

二、第二項ハ御意見ノ通ニテ差支無之ト存セラル 但シ後段ノ收入處分ニ關シ宗派ニ於テ特別ノ規定アル場合ハ其ノ規定ニ據ルヘキコト



○寺院佛遺寄附募集許可ハ關係府縣へ通報方

(大正一四・四・十、六内務省警保局照會) (官宗七・三三號 宗教局回答)

【問】 寺院佛堂其他ノ寄附募集ニシテ募集地域二以上ノ廳府縣ニ涉ル場合ニ於テ明治三十一年當省令第六號第三條第二項ニ依リ貴省大臣ニ於テ許可セラルル際從來之カ募集地廳府縣ニ對シテハ別段ノ御通報無之御取扱ニ相成居趣ノ處近時關係府縣ヨリ照會シ來ル向モ有之右ハ取締上通報ノ必要有之様思料セラレ候ニ付テハ將來關係廳府縣ニ對シ御通報ノ義御取扱相成度及照會候也

【答】 右ハ御來意ノ通將來許可ノ都度關係府縣ニ對シ其ノ要項ヲ通報スルコトニ可取計ニ付右御承知相成度

○寺院佛堂等境内及境外所有地枯損木竹危險木伐採取扱方

(大正一五・一一・二四・茨城縣照會)

【問】 一、寺院佛堂等境内障礙木伐採ノ場合ニ於テハ法類ノ連署、管長ノ添書ヲ要セサル旨明治二十二年一月十九日内務書記官通牒千甲第二號ノ次第モ有之候處枯損木竹、危險木竹伐採ニ付テハ何等準據スヘキモノ無之キモ是等ニ付キテハ前記通牒ト同一取扱致シ差支無之哉

【答】 一、第一項危險木ニ付テハ障礙木ト同様取扱可然モ枯損木ニ付テハ本寺法類ノ連署、管長ノ添書ヲ要スヘシ

二、境外所有地ニ付キテモ亦第一項ト同一取扱致シ差支無之哉  
二、境外所有地ニ付テハ同一ニ取扱相成然ルヘシ (昭和二・二・一九・宗教局回答)

○寺院境外地賃借ニ關スル疑義

(昭和二・八・一九 各地方廳、佛道各宗派へ宗教局通牒)

【問】 寺院境外所有地賃借契約(地上權設定ニアラス)ヲナサントスル時ハ明治六年太政官布告第二百四十九號並ニ明治九年教部省達第三號ノ制限ニアルヲ以テ民法第六百廿九條ノ期間ヲ超エル賃借借ニアリテハ地方長官ノ許可ヲ受クヘキモノナリヤ

一、從來一般寺院ハ境外所有地ノ賃借借ハ寺院住職ニ於テ適宜ニ隨意契約ヲナシ居レリ  
一、愛知縣下本派寺院ニ於テ境外所有宅地ヲ從來劇場敷地ニ貸與シアリシカ今回建築ニ際シ改築屆ヲナスニ當リ地主

トシテ住職カ連署シ提出シタルニ寺院ノ土地ハ別ニ地方長官ノ賃借借認可ノ手續ヲ要スル旨注意セラレタル事實ナリ (新義眞言宗智山派伺)

【答】 寺院財產處分ニ就キテハ明治六年太政官布告第二百四十九號並同九年教部省達第三號ノ制限ニアルヲ以テ民法第六百廿九條ノ期間ヲ超エル賃借借ニアリテハ地方長官ノ許可ヲ要スヘキモノト從來解釋致居リ況ヤ借地法適用(同法第九條該當ノモノヲ除ク)ノ場合ノ如キハ勿論地方長官ノ許可ヲ受クルヲ要スル義ト御了知相成度

○寺院ノ庫裡其ノ他寺院ノ用ニ供スル建物ニハ家屋稅賦課スルヲ得ス

(昭和二・八・一 佛道各宗派へ宗教局通牒)

【問】 大正十五年法律第二十四號第九條ニヨリ賦課セララルル家屋稅ハ所有者ニ賦課セララルヘキモノト相心得ラレ候然ルニ寺院ハ本堂庫裡共ニ法人タル寺院ノ所有ニシテ住職個人ノ所有ニアラサルコトハ明治十七年五月九日内務省達乙第五十七號社寺取扱概則明治十四年六月十二日内務省訓示第六十八號明治二十三年八月十五日社寺局通牒ニヨツテ明瞭ノ義ニ候而テ寺院ハ市制第二百一十一條町村制第一百一條府縣制第一百十條ニヨリ地方稅ノ賦課ヲ免セラレタル義ニ有之候ハ家屋稅モ本堂庫裡ニ對シテハ當然免除セララルヘキ義ト相心得居リ候處地方府縣ニ於テ寺院庫裡ニ對シテ課稅スル向有之哉ニ及聞候條右如何可相心得候哉此段御伺申上候 (眞宗本願寺派本願寺執行長伺)

【答】 右ニ對シテハ家屋稅ヲ賦課スルコトヲ得サル義ト存ス内務省地方局長ト協議ノ上及回答候

○寺院所有什寶物賣却處分取扱方

(昭和二・二・二〇 京都府照會) (昭和三・四・五 宗教局回答)

【問】 現今寺院ニ於ケル古來所傳ノ什寶物類ハ皆之レ多ク一般衆庶ノ寄附又ハ特志家ノ奉納セシモノニシテ蓋シ信仰ノ念凝リテ此舉ニ出テシモノニ外ナラス然カモ此等什寶物類ノ中ニハ古畫古文書古器物等歴史ノ證徴美術ノ師範トナルヘキ貴重ノモノ少ナカラス容易ニ處分スヘキ筋ニ無之ハ勿論嚴重取締居リ候處近來堂宇ノ改修又ハ基本財産ノ造成等ヲ企劃シ之カ資源ニ充當センカ爲メ往々什寶物ノ賣却ヲ出願スル向有之候由來堂宇ノ改修築ニ當リテハ一山一門檀信徒總

代等ト協力シ汎ク信徒ヲ糾合シ地方有志ノ間ニモ極力淨財ヲ募リ以テ之カ資源ト爲スハ古來普通トスル所ニシテ寔ニ望マシキコトト存候得共常管下多數寺院中ニハ只寺格高クシテ本來檀信徒無カリシ門跡寺院御由緒寺院ノ如キ有之此等ハ寺名聞エタレトモ其内部經濟狀態ニ至リテハ他寺院ニ比シ極メテ貧弱ナルモノ有之信徒ニ依リテ維持ノ計ヲ樹テシトスルモ從來檀信徒ノ無キヲ一種ノ誇トモセル之等寺院ニ對シテハ容易ニ其ノ方途ヲ立テ難ク喜捨寄附ノ如キニ至リテハ他寺院ノ夫レニ比スヘクモアラス隨テ平素營繕等行届カス自然可惜優秀ノ建築物モ腐朽スルカ儘ニ置クノ外詮ナキ狀態ニ陥リ遂ニ不用什寶物ヲ賣却セントスルニ至ルモノニシテ亦事情洞察スヘキモノ有之候尤モ前陳ノ如ク什寶物ハ容易ニ處分スヘカラサルモノニハ候得共之等什寶物類中ニハ其ノ寺院ノ所有トシテ意義有之又國家ノ至寶美術ノ證據トシテ其ノ價值大ニシテ確存スヘキモノ永久寺院ヨリ離スヘカラサルモノト之ニ反シ寺院トノ由緒關係モ薄ク國ノ至寶トモ爲スニ至ラサルモノ等寺院ニ保存シテ其ノ意義少キモノ有之前者ハ絕對寺院ニ保存スヘキモノナルモ後者ニ至リテハ必スシモ然ラスト存候然ルニ從來此種ノ出願ニ對シテハ眞ニ特種ノ事情ノ存スル外容易ニ詮議セサル方針ニ有之候得共如上ノ次第ニ付將來ハ強テ保存ノ必要無之ト認ムルモノニ限り夫々專家ノ調査鑑定ニ俟テ嚴重考覈別ノ上寺門維持上不得止限度ニ於テ之ヲ許可致度所存ニ有之候處右ニ關シ取扱上豫メ御意見承知致度右照會候也

【答】 右ハ御申出ノ通ニ貴官ノ御見込ニ從ヒ處理相成可然尤モ寶物古文書等目錄帳ニ登載スヘキモノト認メラルモノニ付テハ豫メ之ヲ登載セシメ其ノ處分ニ關シテハ明治六年七月太政官布告第二百四十九號ノ手續ヲ履マシメラレ度

### 第三十七 雜

#### ○鐵道事故防止方

鐵道事故ニ就テハ當省ニ於テ極力之カ減減ヲ期圖シ銳意努力罷在候へ共近時列車ニ投石シ軌道上ニ障礙物ヲ放置スル等ノ事

(大正一三・七・一官普一三六號 各地方長官、直轄學校長へ文部次官通牒)

故頻發スルノ傾向アルノミナラス他面ニ於テハ列車内及停車場構内ニ於テ公衆道德ヲ無視スルカ如キ行動ニ出ツルモノモ尠カラス候處之カ防止ニ就テハ夫々常務者ヲ鞭撻シ或ハ線路ノ巡視ヲ嚴重ニシ或ハ違反者ヲ告發スル等ノ手段ニ出ツルト共ニ他面ニ於テハ宣傳其ノ他ノ方法ニ依リ鐵道公德ノ涵養ニ力ヲ致シ居ル次第ニ有之候元來敍上ノ如キ行爲ハ大體ニ於テ一時的ノ惡戯又ハ自制心ノ弛緩ニ因ルモノニシテ深キ根柢ニ基クモノトハ認メ難ク候へ共而モ今日ニ於テ之カ善導ノ策ヲ講スルニ非サレハ延テ常習的惡風ヲ馴致シ社會道德頹廢ノ備ヲ爲スノ虞モ有之旁々當省ニ於テモ勿論之等防止ノ方法ニ一段ノ力ヲ致スヘク候へ共尙貴省ノ御助力ヲ俟ツニ非サレハ萬全ヲ期シ難ク候ニ付此ノ際學校當局者及教科書等ヲ通シ一般兒童ニ對シ鐵道知識ノ普及公德心ノ涵養ヲ圖リ延テ一般家庭ニ之ヲ及ホス様致度候間特ニ右ニ關シ何分ノ御配慮相煩度

追テ地方官公衙學校等ニ於テ各種講習會講演會父兄會等開催セララルル場合ニ可成鐵道側ヨリモ相當職員ヲ出席セシメ鐵道ニ關スル講演ヲ爲サシメ度候ニ付右様ノ場合ハ最寄鐵道局長又ハ運輸事務所長ニ御申出相成様致度 (鐵道次官依頼書)

#### ○國旗掲揚方

(大正一三・九・二〇直轄各部長へ文部次官移牒)

官廳ニ於ケル國旗ノ掲揚ハ從來區々ニ相成居候處爾今大正元年勅令第十九號ニ依リ休日ト定メラレタル祭日及祝日其ノ他國家又ハ皇室ニ重要ナル祝祭ノ典アル場合ニハ成ルヘク國旗ヲ掲揚スルコトニ致度

#### ○放送用私設無線電話取締方

(大正一三・四・六文部次官通牒)

客年十二月二十日付逋信省令第九十八號ヲ以テ放送用私設無線電話規則公布相成之カ私設ハ凡テ許可ヲ受クルヲ要シ不法施設ニ關シテハ無線電信法第十六條ノ制裁モ有之嚴重取締ヲ必要トスル處ナルカ學生生徒其他ニシテ制度ヲ熟知セサル爲不識ノ間ニ犯則ノ所爲アルニ於テハ其遺憾ノ次第ニ付相當注意セラレツツアルコトト信スルモ逋信省ヨリ申越ノ次第モ有之特ニ御配慮相成ル様致度右通牒ス

#### ○學校教員、學生、生徒ニ對スル旅客運賃割引證使用制限

(大正一四・十・二一各地方廳、直轄學校へ文書課通牒)

現在當省ニ於テハ學校教員學生、生徒乗車ノ場合ハ乗車哩程ノ遠近ニ拘ハラズ運賃ニ割低減致居候處一瞬間ノ乗車又ハ數哩ヲ出テサル短距離乗車ニ之ヲ使用スルモノ甚タ多ク之等ニ對シ一々割引乗車券ノ發行ヲ要スル結果出札口ニ於ケル乗車券發賣能率ヲ著シク減散サレ一般旅客取扱上ニ影響ヲ及ホス實例モ尠カラス候ニ付今回割引金額僅少ニシテ割引ノ實益輕微ナル三十哩未滿ノ乗車ニ對シテハ割引ヲ爲ササルコトニ改正シ來ル十一月一日ヨリ實施可致候間御了知相成度 追テ右改正ニ伴ヒ割引證裏面注意第三號中別紙ノ通改正致候得共當分ノ間ハ現割引證ヲ其儘有效トシテ取扱フコトニ致置候 (別紙略)

○旅客運賃割引證私立幼稚園ニ交付差支ナシ

(大正一五・八・一二 各地方廳へ文書課通牒)  
發 文 三 三號

【問】 鐵道省告示第九十九號國有鐵道旅客及荷物運送規則第五十二條ニ依リ官立、公立學校及監督官廳ノ認可ヲ得テ設立シタル私立學校教員學生生徒ニ對シ首標割引證交付致居候處今回監督官廳ノ認可ヲ經テ設立シタル私立幼稚園ニ於テ標割引證交付方申請有之候モ右ハ該規則第五十二條ニ依リ交付スヘキモノニアラサルトハ存候得共一應御意見承り度

【答】 右ハ該規則第五十二條ニ據リ交付差支無之候

○職工徒弟等ノ學歷證明方

(大正一五・一・一五 各地方廳へ普通學務局通牒)  
官 普 二 八 二 號

標記ノ件ニ關シ社會局長官ヨリ別記寫ノ通依頼者リタルニ付然ルヘク便宜ヲ與ヘラルル様御配慮相成度

本年七月一日ヨリ工業勞働者最低年齡法施行相成尋常小學校ノ教科ヲ終了セサル兒童ハ之ヲ工業ニ使用スルコトヲ得サルコトト相成候處右施行ニ關シ工業主ヨリ市町村長又ハ尋常小學校ニ職工徒弟ノ學歷ヲ照會スル必要有之候處市町村長又ハ尋常小學校ニ於テハ回答ノ義務ナキ爲之ニ應セサル尙尠カラス爲ニ工業勞働者最低年齡法施行上甚タシク支障ヲ來シ遺憾ニ被存候ニ就テハ成ルヘク便宜ヲ與フル様貴省ヨリ夫々御指示相成様致度此段及御依頼候

追テ學歷ノ證明ニ關シテハ左記ノ通取扱ハレ候様致度

一、證明ノ申出ハ口頭又ハ書面(往復ハガキヲ含ム)ニテ差支ナキコト

○休學中ノ生徒ニハ鐵道割引證ハ交付セス

(昭和二・三・三〇 各地方廳、直轄學校へ文書課通牒)  
野 文 一 一 號

【問】 休學中ノ生徒ヨリ鐵道割引證ヲ請求シ來リタルトキ該割引證ヲ交付スルモ差支ナキヤ (長野縣照會)

【答】 本年二月二十五日學甲發第三六號ヲ以テ御照會相成タル件ハ交付セサルコトニ經伺決定相成タルニ付此段回答ス

○國旗掲揚方

(昭和五・一・二六 本省各部、直轄各部へ文書課通牒)  
官 文 九 二 號

國旗掲揚ノ方法

一、國旗一旒掲揚ノ場合ハ門内ヨリ見テ右門外ヨリ見テ左)ニ掲揚スルヲ望マシク已ムヲ得サレハ左(門外ヨリ見テ右)ニ掲揚スルモ可ナルヘシ

二、國旗二旒掲揚ノ場合ハ併立、交叉隨意ナルヘキモ、之ヲ一定セントスル趣旨ヨリセハ併立スルヲ望マシク時宜ニ依リ交叉スルモ可ナルヘシ、交叉スル場合ハ門内ヨリ見テ左(旗竿ノ本ハ右)ノ國旗ヲ内側トスルヲ可トスヘシ

三、特ニ外國ニ敬意ヲ表スル爲外國國旗ヲ國旗ト共ニ掲揚スル場合ニハ併立交叉隨意ナルヘキモ、一定セントスル趣旨ヨリセハ交叉スルヲ望マシク時宜ニヨリ併立スルモ可ナルヘシ而シテ併立スル場合ハ國旗ヲ門内ヨリ見テ左(門外ヨリ見テ右)ニ掲ケ交叉スル場合ハ國旗ヲ門内ヨリ見テ左(旗竿ノ本ハ右)ニ掲ケ旗竿ハ内側トスルヲ可トスヘシ

○學校教員學生生徒ニ對スル旅客運賃割引證發行ニ關シ注意方

(昭和六・七・二一 文書課通牒)  
官 文 八 三 號

學校教員、生徒ニ對スル旅客運賃割引證ハ發行者ニ於テ番號、使用者ノ身分、姓名、年齢、發行日付ヲ記入交付スヘキコトト相成居候ニ不拘之レカ記入方粗漏ニシテ甚シキハ發行年月日及使用著ノ氏名ヲ記入セサルモノヲ發行交付スル尙モ有之候趣ヲ以テ之カ取締方ニ關シ別紙ノ通門司鐵道局運輸課長ヨリ申出有之候處割引證ハ運賃割引上唯一ノ證票ナルヘキニ付右ノ如ク之レカ發行方粗漏ナルニ於テハ事務取扱上並收入事務調査上支障尠カラス候ニ付テハ之レカ取締方ニ關シ一層御留意相

成様貴管下關係箇所ニ御通牒相成度此段御依頼申上候

○古墳ノ發掘及發見ニ關スル處置方

昭和十一年二月四日直轄學校、公立大學、高等學校、專門學校長へ文部次官通牒

古墳ノ發掘及發見ニ關シテハ明治七年五月二日太政官達第五十九號、明治十三年十一月十五日官内省達乙第三號、史蹟名勝天然記念物保存法施行令第三條及同施行規則第四條ヲ以テ、又古墳關係品其ノ他學術技藝若ハ考古ノ資料トナルヘキモノ、發見ニ付テハ遺失物法及明治三十二年十月二十六日附内務省訓第九八五號ヲ以テ夫々規定及通達有之右ハ未定ノ陵墓考證上極メテ緊要ノ次第ニ付今後共右諸法令ノ趣旨ヲ嚴守勵行相成苟モ當省ノ承認ヲ經スシテ輕々ニ古墳ヲ發掘セシムル等ノコトナキ様特ニ御取締相成度候

追テ偶然古墳ニ掘當リタル場合等ニ在リテハ速ニ貴官ヨリ當省ニ申報何分ノ指令ヲ待テタル上發掘調査其ノ他適當ノ處置相成候様致度

昭和十三年文部省例規

○官吏ノ海外出發又ハ歸朝ノ節拜謁ノ儀廢止ノ件

(昭和十三年十一月十四日 官秘一三三八號 次官、參事官、各局部長、各局長、各地方長官、(秘書課長通牒)

官吏海外出發又ハ歸朝ノ節拜謁ノ儀ニ關シ別紙寫ノ通り式部長官ヨリ通牒有之タルニ付御了知相成度

(別紙)

(昭和十三年十一月八日 式部送第一三三三號)

官吏海外出發又ハ歸朝ノ節被仰付候拜謁ノ儀ハ自今廢止セラレ候條御諒知相成度候

追テ賢所參拜ノ儀ハ仍從前ノ通ニ有之候

○學校體操場ノ使用ニ關スル件

(昭和十三年五月九日 發普六三三號 各地方長官へ文部次官通牒)

我國民體位ノ現狀ニ鑑ミ國民ノ體育運動ヲ獎勵スル爲官公立學校ノ體操場ヲ一般國民ニ使用セシメ以テ國民體位ノ向上ヲ圖ルコトハ現下喫緊ノ要務ト存セラルルニ付學校教育及管理上支障ナキ限り左記要項ニ依リ之ヲ使用セシムルコトト致度右實施方ニ關シ可然御配慮相成度依命此段通牒ス

追テ貴官ニ於テ本件實施ニ關スル規程等ヲ定メラレタルトキハ遲滞ナク本省ニ御報告相成度尙官立學校及私立ノ大學、專門學校及高等學校ニ付テハ各學校長ニ對シ右趣旨ヲ別途通牒致シ置キタルニ付御含置相成度













○學科課程及每週教授時數變更ニ關スル件

(昭和十三年十月十一日 各地方長官へ文部次官通牒)

貴管下工礦業關係ノ學科ヲ置ク實業學校ニ於テ昭和十三年七月十八日發賣四八號通牒ノ趣旨ニ基ク通學期間短縮ノ爲學科課程及每週教授時數ヲ變更セントスル場合ハ規定ノ學科目及其ノ程度ノ範圍内ニ於テ當分ノ内貴官限リ適宜御措置相成リ支障無之ニ付萬遺漏ナキ様御配意相成度尙右施行ノ上ハ遲滞ナク御開申相成度依命通牒ス

○中等學校ノ英語科教授ニ於ケルローマ字綴方ノ取扱ニ關スル件

(昭和十三年十一月十五日 各地方廳へ圖書局通牒)

廣島西高等女學校長伺

(昭和十三年十月二十六日 外廣島縣通牒)

國語ノローマ字綴方ニ關シ一般的ニハ昭和十二年九月廿一日内閣訓令第三號ニヨリ方針ヲ示サレ又文部省トシテハ英語教科書檢定ニ於テ新式綴方教授ノ趣旨ヲ明カニサレタルモ尙舊來ノ式ヲ併記スル教科書多ク過渡期ニ於ケル實際教授ニ當ツテ如何ニ處置スヘキカニ迷ヒ居リ候就テハ如何取扱可申敷規準御示シ被下度此段御伺申上候也

標記ノ件ニ關シ本年十月二十六日號外ヲ以テ貴管下廣島西高等女學校長伺進達相成タル處右ハ左記ノ通ト御了知相成度

記

各學校ノ外國語科教授ノ際ニ於ケル國語ノローマ字綴方ノ取扱ニ關シテハ昭和十二年九月二十一日内閣訓令第三號統一ノ國語ノローマ字綴方ニ依ルヘキモノトス  
但シ當分ノ内ハ教科書及辭書等ノ關係ニテ從來ノ綴方ヲ併セ課スルコトハ適當ト認ムルモ書寫ノ場合ハ内閣訓令ノ綴方ニ依ラシムルコト

○小學校學籍簿ニ關スル件

(昭和十三年二月二十二日 各地方廳へ普通學務局通牒)

一月二十九日文部省令第二號ヲ以テ小學校學籍簿ノ様式改正相成リタル處右實施ニ關シ左記事項御了知相成度

記

- 一、學籍簿用紙ノ紙質及大キサハ適宜トス
- 二、種痘事項ニ關シ記入スルノ要アル場合ハ適宜欄外ニ記入スルコト
- 三、高等小學校ノ學籍簿ハ本様式ニ準シ之ヲ複製スルコト

○小學校在學兒童ノ就學猶豫ニ關スル件

(昭和十三年四月六日 長崎縣照會)

九歳以上ノ兒童ニシテ頭部濕疹若クハ流行性感胃ニ因スル中耳炎ニテ一箇月ノ治療ヲ要スヘキ診斷書ニ基キ三月十五日ヨリ三月三十一日マデ一ヶ月以内ノ短期間就學猶豫ヲ認可セル町村長有之候處小學校令施行規則第八十五條ノ趣旨ハ既ニ就學ノ始期ニ達シタル兒童ニ在リテハ最長期間ヲ一年トシ其ノ當日ヨリ學年ノ終リ迄ニ於ケル殘餘期間ト解セラレ候ヘドモカ、ル疾病名及ビ短期間例ニ於テモ小學校令第三十三條並ニ小學校令施行規則第八十五條ニ該當スヘキモノナルヤ一應貴省ノ御意見承知致度此段及照會候也

右普通學務局回答

(昭和十三年四月十九日 長崎縣照會)

本月六日十三體第六六號ヲ以テ標記ノ件ニ關スル御照會ノ趣了承石ハ病氣缺席トシテ處理スルヲ適當ト認メラルルニ付御了知相成度

○工礦業學科關係生徒ノ修業並ニ就職ニ關スル件

(昭和十三年七月十八日 各地方廳へ實業學務局通牒)

時局ノ進展ト共ニ生産力擴充ニ伴フ技能者ノ需要ハ一層緊急ヲ要スル次第ナルヲ以テ之カ關係學校ニ於テハ特ニ時局ノ認識ヲ深メ國民精神總動員下ノ工業報國精神ヲ一層確立スルト共ニ最終學年生徒中陸海軍其他軍需品生産工場等ニ就職内定ノ者ニ就キ當該工場ノ要求アルトキハ左記例ニ依リ卒業期直前ノ通學期間ヲ短縮シ當該工場ニ於ケル作業ニ就カシメ之ヲ以テ校内實習ニ代フル等適宜ノ方法ヲ講シ以テ急需ニ應シ得ル様御配意相煩度尙卒業生ノ就職配當等ニ關シテハ出來得ル限り陸海軍關係其他軍需工業方面ノ需要ニ應スル様格段ノ御配慮相煩度併而此段及通牒

記

- 一、本年度ニアリテハ概ネ三ヶ月
- 二、次年度以降ニアリテハ
  - (イ) 修業年限五年ノモノニ於テ概ネ五ヶ月
  - (ロ) 修業年限三年ノモノニ於テ概ネ三ヶ月
  - 三、臨時工業技術員養成施設ノモノニアリテハ概ネ本例ニ依ラサルモノトス

○支那事變應召者召集解除後ノ入學ニ關スル件

(昭和十三年七月十八日 官公私立大學、高等學校、專門(文部次官通牒)發專一三七號 學校(女子專門學校ヲ除ク)長

今次事變ニ於ケル應召者ニシテ召集解除後貴學(校)ニ入學志願ノ者有之場合ハ學修ニ著シキ支障ヲ認メサル限り戰傷ニヨル身體ノ異常ヲ原因トシテ不合格ト爲ササル様十分御配意相成度依命此段通牒ス

○實業專門學校入學者選抜試験ニ關スル件

(昭和十三年十二月一日 官公私立實業專門學校(實業學務局通牒)發實六五號

標記ノ件ニ關シテハ昭和二年十一月發專一四一號文部次官通牒ニ依リ實施相成リ居ル處國運ノ進展ト産業ノ趨向ニ鑑ミルトキ將來ノ産業人トシテハ之ニ必要ナル學術技藝ノミナラス特ニ國體ヲ明徴ニシ日本精神ヲ體得スル必要ヲ感スルコト愈々切

ナルモノアリ 而シテ現ニ中等學校ニ於テハ國史及公民科ヲ必須科目トシテ課シ居ル實情ナルヲ以テ將來實業專門學校入學者選抜ニ當リテハ右趣旨ヲ徹底セシムル爲メ試験科目中ニ國史又ハ公民科等ヲ加ヘ其ノ人物考査ニ資スルコトハ極メテ適切ナリト認メ入學者選抜試験科目ニ關シ左記ノ通決定相成タルニ付右御了知ノ上實施方可然御配意相成度依命此段通牒ス

記

- 一、選抜試験科目四科目中ニ少クトモ國史又ハ公民科ノ一ヲ加フルコト
- 二、學校ニ依リ公民科ヲ選抜試験科目中ニ加フルコト困難ナル事情アルトキハ口頭試問ノ際之ヲ課スルコト
- 三、本件ニ關シテハ明年四月入學セシムヘキ生徒ノ選抜試験ニ當リテモ可成本趣旨ヲ實現スル様配意相成リタキコト

○小學校卒業生ノ職業指導並ニ職業紹介ニ關スル件

(昭和十三年十月二十六日 各地方廳(厚生省職業部通牒)職發第三四三號 文部省普通學務局

本日厚生大臣及文部大臣ヨリ標記ノ件ニ關シ訓令相成候處之方實施ニ付テハ別紙要領ニ依リ其ノ實績ヲ學クルニ努メラレ度依命此段及通牒候也

追テ本年度ニ限り要領中第一號及第四號様式ノ報告期限ハ十一月二十日第二號及第五號様式ノ報告期限ハ十一月末日ト致サレ度

小學校卒業生ノ職業指導並ニ職業紹介ニ關スル要領

第一 一般的事項

一、道府縣廳ハ小學校卒業期ニ於ケル兒童ノ職業指導ニ關シ小學校及職業紹介所ヲシテ有機的ナル聯絡ヲ保クシメ且産業諸團體ヲシテ之ニ協力セシムル様指導スルコト

二、小學校及職業紹介所ハ兒童ノ職業指導ニ關シ本要領ニ依リ各事項ニ付キ其ノ實行方法並ニ時期等ヲ定メ相協力シテナ

カ實施ニ當ルコト

第二 求職兒童ノ調査及指導ニ關スル事項

- 一、小學校ハ毎年卒業兒童中卒業後直ニ求職セントスル者ニ付其ノ狀況ヲ第一號様式ニ依リ調査シ兒童ノ卒業前年十月末日迄ニ職業紹介所ヲ經由シ所轄道府縣廳ニ報告スルコト
  - 二、道府縣廳前項ノ報告ヲ受ケタルトキハ之ヲ第二號様式ニ依リ取纏メ十一月十日迄ニ厚生省ニ報告スルコト
  - 三、厚生省前項ノ報告ヲ受ケタルトキハ之ヲ文部省及關係道府縣廳ニ通知スルコト
  - 四、小學校ハ職業紹介所ト協力シ兒童竝ニ保護者ノ爲講演會、映畫會、展覽會等ヲ開催シ職業事情等ヲ周知徹底セシムル外休暇等ヲ利用シ兒童ニ職業實習、職業見學等ヲ爲サシムルコト
  - 五、職業紹介所ハ小學校ト協力シ兒童ノ卒業ノ學年二月末日迄ニ求職兒童ノ選職相談ヲ行フコト
- 前號ノ選職相談ヲ行フ爲小學校ハ職業紹介所ヨリ豫メ送付スル第三號様式ニ依ル兒童求職願ニ所定事項ヲ記入シ置クコト

第三 求人ニ關スル事項

- 一、職業紹介所ハ毎年十月末日迄ニ兒童ニ對スル管内ノ主要求人者ニ付其ノ求人事情ヲ調査シ之ヲ第四號様式ニ依リ取纏メ道府縣廳ニ報告スルコト
- 二、道府縣廳前項ノ報告ヲ受ケタルトキハ第五號様式ニ依リ之ヲ取纏メ十一月十日迄ニ厚生省ニ報告スルコト
- 三、厚生省前項ノ報告ヲ受ケタルトキハ之ヲ關係道府縣廳ニ通知スルコト
- 四、道府縣廳及職業紹介所ハ求人ノ申込ニシテ特ニ多數ナルモノ又ハ現地ニ出張銜ヲ爲スノ要アルモノニ付テハ成ルハ

ク兒童ノ卒業前年十二月末日迄ニ之ヲ申込マシムル様式求人者ヲ指導スルコト

第五 道府縣廳及職業紹介所求人申込ヲ受ケタルニ當リテハ求人者ニ付左ノ事項ヲ充分調査シ取扱上遺漏ナキヲ期スルコト

- イ、業務ノ性質及事業經營ノ狀態
- ロ、採用條件
- ハ、育成訓練ノ方法(特ニ青年學校ニ就學セシムル時間)
- ニ、其ノ他兒童ノ紹介上特ニ必要ト認ムル事項

第四 紹介斡旋ニ關スル事項

- 一、求職兒童ノ職業紹介ハ職業紹介所之ヲ行ヒ其ノ紹介ニ付テハ職業相談ノ結果ニ基キ適當ト認メラルル職業ヲ選擇スルコト
- 二、求人數ト紹介員數トノ按配ニ付テハ多數ノ不採用者ヲ出スカ如キ事ナキ様留意スルコト
- 三、求職兒童ノ紹介ハ兒童卒業學年ノ一月ヨリ之ヲ行ヒ且求人者ヲシテ其ノ銜銜ヲ爲サシムル場合ハ兒童ノ修學上著シク支障ヲ來サザル様留意スルコト但シ兒童卒業ニ至ルマデハ就職セシメザルコト
- 四、職業紹介所ハ其ノ紹介ニ係ル兒童ノ採否ヲ小學校ニ通知スルコト
- 五、他地方ニ就職セシムル者ニ付テハ需給兩地職業紹介機關ハ聯絡ヲ密ニシ豫メ其ノ出發竝ニ到着ノ日時、場所、引率者ノ有無、引取方法等ノ事項ニ付打合ヲ遂ゲ就職上ノ保護ニ缺クル事ナキ様措置スルコト

第五 就職後ノ輔導ニ關スル事項

- 一、道府縣廳及職業紹介所ハ就職決定ノ兒童ニ對シ就職後心得ベキ事項等ヲ印刷配布シ且就職ニ際シ適切ナル事項等ノ注

意ヲナスコト

二、道府縣廳及職業紹介所ハ雇傭主ニ對シ就職青少年ノ育成ニ充分留意セシメ特ニ左記事項ニ付之ヲ實施スル様指導スルコト

イ、職業的指導訓練ヲ與フルコト

ロ、心身ノ發達育成ニ留意シ適當ナル方途ヲ講ズルコト

ハ、成ルベク學校又ハ特殊養成機關ニ依リ職業知識及技術ノ教育ヲ受ケシムルノ途ヲ講ズルコト

三、職業紹介所ハ少クとも青少年ノ就職後三月及一年ヲ經過シタル時期ニ於テ通信、會同又ハ訪問等ノ方法ニ依リ左ノ各號ノ事項ニ付調査ヲ行フト共ニ隨時適切ナル輔導ヲ爲スコト

イ、現在ニ於ケル業務ノ適否

ロ、雇傭條件履行ノ狀況

ハ、就職後ニ於ケル業務繰進ノ程度

ニ、就職後精神上及身體上ニ及ボセル影響

ホ、職業ニ對スル感想

四、職業紹介所ハ遠隔地ヨリ就職シタル青少年ニ對シ前項ノ輔導ヲ爲シタル場合ハ必要ナル事項ヲ關係職業紹介所ニ通報スルコト

五、前二項調査ノ結果ニ付テハ適宜其ノ概況ヲ兒童出身小學校ニ通知スルコト

六、職業紹介所ハ小學校ト聯絡シ成ルベク其ノ管轄區域内ニ於テ雇傭主其ノ他關係團體等ヲ以テ輔導會ノ如キ團體ヲ組織

シ、就職青少年ノ勤勞精神ノ鼓吹、技術ノ向上、慰安、勤績表彰等就職青少年ノ輔導ニ關スル事項ヲ行ハシムルノ方

途ヲ講ズルコト

七、職業紹介所ハ就職後十八歳ニ達スル間ニ於テ離職又ハ轉職セントスル者ニ對シ事前ニ相談ノ爲職業紹介所ニ出頭スル

様指導スルコト

第六 取扱狀況ノ報告及通報

一、職業紹介所ハ毎年五月末日迄ニ取扱ヒタル兒童ニ付職業指導狀況並ニ職業紹介成績ヲ第六號様式ニ依リ取纏メ六月末日迄ニ所轄道府縣廳ニ報告スルコト

二、道府縣廳ハ前項ノ狀況及成績ヲ取纏メ七月末日迄ニ之ヲ厚生省及文部省ニ報告スルコト

三、職業紹介所ハ取扱成績其ノ他必要ナル事項ヲ關係小學校ニ適宜通報スルコト

第一號様式

職業紹介所		小學校卒業者就職希望調査表		昭和 年 月 日調査	
所在地	所在地	取扱者氏名	電話番號	取扱者氏名	電話番號
男	女	男	女	男	女
計	計	計	計	計	計





職 業 種 別	求 人 数	求 人 の 性 別		求 人 の 年 齢	求 人 の 住 居	備 考
		男	女			
1	2	1	2	1	2	
計						

備考 1 本表ノ表頭ハ職業紹介所ニ於テ該面ノ小學校ニ於テ記入ノコト  
 2 資格及技能ハ成ル可ク最近ノ調査ヲ記入スルコト  
 3 職業成績性格共ノ他ノ欄ハ學務簿記入ノ例ニ依リ記載ノコト  
 4 住居欄ハ市ニ關シテレバ市ノアル場合之ヲ記入ノコト

第四號様式

求人申込決定数調

職業紹介所名

區 分	求 人 者 氏 名	事 業 種 又 別	現 在 使 用 人 員	需 要 人 員				種 別	住 居 別	備 考
				高 卒	中 卒	何 々	計			
計				男	女	計				

合 計	他 道 府 縣 用 探 求 ノ モ ル ス	
	縣	縣
計		
計		

備考 本表ノ大サハ隨時適當ノモノトスルコト

第四號様式附表

求人事情調査 ( 年 月 日 )

職業紹介所名

項 目	記 述
(1) 求人ニ關スル概況	
(2) 本年度ニ於ケル求人ノ特異ナル傾向	
(3) 主ナル求人者ノ採用方法概要	
(4) 他職業紹介所又ハ他道府縣ニ對スル希望並ニ注意事項	
(5) 其ノ他参考トナル事項	

備考 1 (4)ハ他職業紹介所名又ハ道府縣名ヲ具體的ニ示シ記述スルコト  
 2 本表ノ大サハ隨時適當ノモノトスルコト







普通學務局回答

師範學校卒業ノ滿洲國人ニ卒業證書及小學校教員免許狀授與差支ナシ

四五〇  
(昭和十三年二月二十五日)  
新書九號

○體育運動實施ニ關スル件

(昭和十三年八月二日 各地方廳へ體育課通牒)  
發體七〇號

現下時局ノ重大ナルニ鑑ミ在學青少年ノ士氣ヲ鼓舞シ身心ノ練磨ヲ圖ル爲益々體育運動ヲ獎勵スルコト極メテ緊切ナルハ言ヲ俟タズ而シテ學國一致益々物資ノ節約ヲ勵行シ以テ國民的責務ヲ遂行スベキ趣旨ニ就キテハ本年七月四日附發普一〇四號ヲ以テ本省ヨリ既ニ通牒ノ次第モ有之學校體育運動ノ施行ニ關シテモ十分ソノ趣旨ノ勵行ヲ期シ益々身心鍛鍊ノ實效ヲ收ムルコト極メテ緊切ナルニ依リ貴管下諸學校及體育團體等ヲシテ特ニ左記事項ニ留意シソノ實施ヲ適切ナラシムル様御配意相成度依命此段通牒ニ及ブ

記

- 一、體育運動ノ用具用品等ハ極力之ヲ節約善用スベキハ勿論現有ノ用具ハソノ修理手入ニ意ヲ用ヒ飽クマデソノ活用ヲ圖ルト共ニ之ニヨリテ用具ヲ尊重愛護スルノ風ヲ強化スルコト
- 二、供給僅少ナル種類ノ運動用具ニ關シテハ學校團體等ノ性質ヲ考慮シ特ニ之ヲ必要トスル者ヲシテ優先的ニソノ供給ヲ受ケシムルコト  
(例へバ特ニ女子ニ適シタル球技用具ノ如キハ努メテ男子ノ使用ヲ避ケ女子ヲシテ多クソノ供給ヲ受ケシムル等)
- 三、體育運動ノ施行ニ際シテハ特定ノ用具ヲ用フルニアラザレバ之ヲ實施シ得ザルモノナルカノ如キ謬見ニ陥ルコトナク與ヘラレタル用具ノ活用ニ關シ適宜ノ創意ト工夫ヲ用ヒ、以テ心身修練ノ實效ヲ收ムルニ努ムルコト

四、運動競技ノ種目方法ニ關シテハ徒ニ固定セル觀念ニ促ハレテ從來ノ習慣規矩ノミヲ固執スルコトナク克ク體育運動ノ本義ト刻下ノ實狀トニ鑑ミ必要ニ從ヒ適切ナル種目並ニ方法ノ活用ニ努ムルコト但シ必要ヲ認メザルニ故ラ新奇ヲ追フガ如キハ勿論嚴ニ之ヲ警ムベキコト

五、競技會試合等ハ體育ノ本義ニ則リ眞ニ意義アリト信ズルモノノミヲ擇ビテ之ヲ施行シ、且ツソノ施行方法ヲ一層有效適切ナラシムルコト

○青年學校校長及教員タル者ノ青年學校視學委員委嘱ニ關スル件

(昭和十三年六月二十二日 各地方廳へ社會教育局通牒)  
發社一〇號

公立青年學校ノ專任ノ學校長及教員ニ就キ特ニ視學委員委嘱ノ必要ヲ認メラレタル場合ニ於テハ爾今其ノ事由及本人ノ經歷等ヲ考慮シ且本務ニ支障ナシト認メタル場合ニ限り青年學校視學委員要項三第四號ニ依リ詮議方可取計ニ付詳細ナル事情ヲ具シ御内申相成度

追テ本件ハ一般規定ニ依リ委員ノ選定困難ナル事情有之等特ニ已ムヲ得ザル場合ノ外詮議相成ラザルニ付御内申有之場合ハ慎重ニ御取扱相成度尙從來御内申有之タルモノニシテ詮議相成ラザリシモノモ本通牒ノ趣旨ニ依リ委嘱スルヲ適當ト認メラルモノ有之ハ御内申相成モ差支無之ニ付御含ミ相成度

○青年學校教員養成所臨時養成科並ニ其ノ修了者ノ青年學校教員資格ニ關スル件

(昭和十三年七月八日 各地方廳へ社會教育局通牒)  
發社二三五號

本年五月三日文部省令第十四號首題ノ件中第七條第二項後段ノ教諭任用條件タル助教諭在職年數ニハ臨時養成科修了以前ニ於テ公立青年學校ノ助教諭トシテ在職シタル期間ヲモ斟酌シテ差支ナキニ付御了知相成度

○統計年鑑編纂資料等報告中止方

(昭和十三年二月九日 各局 直轄各部(除教學局) 文書課通牒)

内閣報告ノ資料トシテ從來御報告相成タル左記事項ハ當分他ノ資料ヲ以テ代用スルコトトシタルニ依リ追テ何分ノ通牒ヲ爲ス迄御報告ニ及ハサルニ付御了知相成度

記

一、内閣統計年鑑編纂資料曆年末職員調査報告方ノ件(本件ハ各局課通牒ニハ之ヲ除ク)

一、大正十二年二月十二日官文八號通牒刊行圖書報告方ノ件

○學事年報ニ掲上スヘキ教員ニ關スル件

(昭和十三年三月二十二日 各地方廳、公私立高等學校、大學、專門學校、實業專門學校、文書課通牒)

貴道府縣學事年報 貴校學年報中、教員ハ實際教授ヲ擔任スル者ヲ掲クベキ趣旨ニ付、今回ノ支那事變ニ因リ應召中ノ者ハ、在外研究員、休職者又ハ短期現役兵中ノ者ノ如ク之ヲ掲上セザル義ニ付御注意相成度爲念通牒ス

追テ事變ノ教育及學藝上ニ及ボシタル影響並ニ之レガ對策トシテ施行シタル諸般ノ事項等ハ、別ニ報告ヲ求ムル場合モ可有之ニ付、關係資料ニ就テハ其ノ散逸ヲ防ギ、他日調査ニ支障ヲ來サザル様御留意相成度

尙乙號表十三様式説明第一項但書ハ甲號表二様式説明第四項但書ノ如ク不日改正ノ見込ニ付其ノ振合ニテ調査報告相成度(尙以下ノ追書ハ他方廳宛ノモノニ限ル)

○學事年報ニ掲上スベキ職員等ニ關スル件

(昭和十三年三月二十二日 直轄各部(文書課通牒)

毎年報告相成ルヘキ貴院(會)(學)(所)(校)年報中、職員表、囑託員表、雇員及傭人表ハ、今回ノ支那事變ニ因リ應召中ノ者

ハ、當該欄ニ區別記載相成様致度

追テ事變ノ教育及學藝上ニ及ボシタル影響並ニ之レガ對策トシテ施行シタル諸般ノ事項等ハ、別ニ報告ヲ求ムル場合モ可有之ニ付、關係資料ニ就テハ其ノ散逸ヲ防ギ他日調査ニ支障ヲ來サザル様御留意相成度

○學生生徒ニ係ル九月末調査事項ニ關スル件

(昭和十三年九月二十二日 帝國大學、官立大學、直轄學校、高等師範學校、文書課通牒)

毎年九月三十日ノ調査ニ依リ翌月十五日限報告相成ルベキ學生生徒ニ關スル調査事項ハ別紙添付ノ用紙ニ御記載ノ上期限迄ニ遲滞ナク御報告相成度

追テ本件御調査ニ際シテハ左記事項御留意相成度尙本調査ハ將來ノ例ニ致度ニ付御含置相成度

記

一、學生生徒ハ本年九月三十日現在數ヲ掲クルコト

二、入學者ハ本年四月ヨリ九月ニ至ル間ノ實數ヲ掲クルコト

三、入學志願者ハ前項入學ニ對スル志願者數ヲ掲クルコト

四、高等學校ノ部正規ノ入學資格ヲ具ヘタル者及特別入學規程ニ依ル者ハ朝鮮人、臺灣人、外國人ヲ特掲スルモノトス正規ノ入學資格ヲ具ヘタル者トハ一般邦人ト同様ノ入學試験ヲ經タル者、後者ハ外國人特別入學規程ニ依ル者トス

五、卒業者ハ本年三月ヨリ九月ニ至ル間ノ實數ヲ掲クルコト

六、從來報告ニ係ル學生生徒年齢別、入學志願者及入學者入學前ノ學歷別、寄宿舍舍生並ニ宿料調ハ此ノ際報告ヲ見合スコト

○學生生徒主事身分異動報告方

(昭和十三年四月十九日 私立大學、高等學校、專門學校、專門學務局通牒)

本局事務上必要有之ニ付貴學學生主事(學生監)〔貴校生徒主事(生徒監)〕ニ係ル左記事項御調査ノ上五月二十日迄ニ御回報相煩度

尙爾今異動(更迭及身分異動)有之タル場合ハ其都度御報告相成様致度

記

一、職 氏 名

一、生 年 月 日

一、略 歴(最終學歷、其ノ他主ナル事項)

一、擔任事務(可成詳細ニ)

○高等學校高等科卒業者ノ大學入學ニ關スル調

(昭和十三年五月十三日官公私立高等學校(專門學務局通牒)

標記ニ關スル報告方ニ就テハ昭和十一年五月十二日照專二九號ヲ以テ通牒致シ置キタル處今回別紙ノ通改正シタルニ付自今本様式ニ依リ毎年五月一日現在ヲ以テ御調査ノ上同月末日迄ニ本省ニ到達スル様御報告相成度(別表略)

○敍勲取扱ニ關スル注意事項中改正

(昭和十三年八月五日 敎學局、直轄各部、各地方廳、公立大學、高等學校、專門學校、專門學務局)

昭和七年五月十七日付秘一九〇號通牒「敍勲取扱ニ關スル注意事項」中今般左記ノ通改正相成タルニ付御了知相成度

記

第二 履歷書ノ調製ニ就テ(○印ハ改正箇所ヲ示ス)

10 第一項ヲ「免官(依願、不具、廢疾、傷痍、懲戒等)、廢官、廢職、休職、官職名改正、又ハ懲戒等ノ事項ハ朱書スルコト」ニ改ム

11 「進級者ノ履歷書ニアリテハ勳記番號ヲ記載シ前敍勲事項ノ下ニハ(定例)(戰功……朱書スルコト)等ノ別ヲ附記スルコト」ニ改ム

13 「族籍ハ記入ヲ要セス」ノ一項ヲ追加ス

追テ判任官(帝國大學、官立大學)並ニ同待遇者ニ係ル履歷書ハ貳通添付ヲ要スルモ其ノ他ノ者ニ係ル履歷書ハ壹通ノミ添付相成様致度

(備考)

昭和七年秘一九〇號通牒「敍勲取扱ニ關スル注意事項」參照

○敍勲事務取扱ニ關スル件

(昭和七年五月十七日 直轄各部、各地方廳、公立大學、高等學校、專門學校、實業專門學校、秘書課通牒)

敍勲内申取扱ニ就テハ從來ヨリ慎重ナル調査ヲ遂ケ遺漏ナキヲ期セラレツツアルコトトハ被存モ往々ニシテ其ノ時期ノ遅延セルモノ或ハ書類ノ完備セサルモノアリ此等ハ一々當方ニ於テ煩雜ナル手數ヲ加へ上奏手續ヲ執リ來タリタルモ近時其ノ數漸ク増加ノ傾向有之ニヨリ今般「敍勲取扱ニ關スル注意事項」ヲ輯錄シ別紙送付セルヲ以テ敍勲事務取扱上ノ參考ニ資セラ

ルル様致度

(別紙)

敍勲取扱ニ關スル注意事項

第一 上申ニ就テ

第一 上申ニ就テ

昭和十三年 文部省例規

四五五

- 1 本省ニ於テ八月ノ末日迄ニ到達シタル上申書ニ付其ノ翌月手續ヲ爲ス
- 2 上申ニ際シテハ慎重ニ履歷事項ノ調査ヲ遂ケラルルハ勿論特ニ其ノ者カ帶動者ニアラサルヤ否ヤ等ヲ確メラレ重複上申ヲ爲ササル様十分注意スルコト
- 3 上申中ニ係ル者ノ身分ニ異動(官等陞叙、待遇陞等、叙位、轉官、轉職、轉補、退官、退職等)ヲ生シタルトキハ速カニ報告スルコト
- 4 前ニ身分ノ異動ニ付上申中ノ者ニ付テハ其ノ旨上申書ニ附記スルコト
- 5 同時ニ他ノ身分異動ニ付上申スルトキハ夫々ノ上申書ニ他ノ上申事項ヲ附記スルコト
- 6 上申中ニ係ル者死亡シタルトキハ第六ニ準シ取扱フコト

第二 履歷書ノ調製ニ就テ

- 1 文字ハ楷書ニテ丁寧ニ認ムルコト、但シ復寫紙又ハタイプライターヲ用フルハ差支ナキモ其ノ際ハ鮮明ナルコトヲ要ス
- 2 氏名ハ戸籍面ト同一文字ヲ以テ記載スルコト
- 3 進級ノ場合前叙勲後改氏名シタル者アルトキハ必ス舊氏名ヲモ記載スルコト
- 4 勲章ノ授ハ男女之ヲ異ニスルヲ以テ女子ニアリテハ其ノ氏名ノ下ニ(女)ノ文字ヲ附記スルコト、尙「操」、「節」、「三美」、「二三」等ノ如ク男女ノ別ヲ判シ難キ名ニ對シテハ特ニ(男)又ハ(女)ノ文字ヲ附記スルコト
- 5 肩書ハ本官、本職ハ勿論兼官、兼職ト雖モ洩ナク之ヲ記載シ任免賞罰欄ニ記載ノ事項ト正確ニ符合セシムルコト
- 6 官職ハ總テ官職記及辭令書ニ記載ノ通り認メ略記セサルコト

- 7 補職アル者ニアリテハ其ノ最後ノ補職事項ヲ記載スルコト
- 8 高等官及同待遇者ニアリテハ其ノ官等、待遇官等ノ異動ヲ、判任官及同待遇者ニアリテハ俸給ノ異動ヲ洩ナク記載スルコト
- 9 位階、功級、爵位等ノ異動事項ハ總テ記載スルコト
- 10 記章、褒章授與ノ事項ハ總テ記載スルコト
- 11 廢官、廢職、休職、官職名改正、又ハ懲戒等ノ事項ハ朱書スルコト
- 12 判任官同待遇者ニアリテハ右ノ外俸給ニ關スル規定改正等ノ事項ヲモ朱書スルコト
- 13 進級者ノ履歷書ニアリテハ勲記番號ヲ記載シ前叙勲事項ノ下ニハ(定期)(戰功)等ノ別ヲ附記スルコト
- 14 判任官(帝國大學、官立大學)同待遇者ニアリテハ大正二年二月七日職甲第一二三號通牒ノ趣旨ニ依リ履歷書ハ二通添付ノコト

第三 在職年計算ニ就テ

- 1 在職年月數ハ日數ニ依ラス月ノ十五日ノ前後ニ依リ半ヶ月ヲ單位トス  
(敍勲内則第二十五條参照) 即チ
  - イ 十五日以前ノ任命ナレハ一ヶ月
  - ロ 十六日以後ノ任命ナレハ半ヶ月
  - ハ 十五日以前ノ退官、退職ナレハ半ヶ月
  - ニ 十六日以後ノ退官、退職ナレハ一ヶ月

例

- イ 昭和六年三月卅一日任命  
同 七年五月三日 退職 一年二ヶ月
- ロ 昭和六年三月二日 任命  
同 七年四月十六日 退職 一年二ヶ月
- ハ 昭和六年三月十七日任命  
同 七年四月十八日 退職 一年一ヶ月半
- ニ 昭和六年三月五日 任命  
同 七年四月十三日 退職 一年一ヶ月半

2 在職年ノ計算ハ上申ノ日附ニ拘ラス其ノ月ノ末日迄ヲ採リテ計算スルコト

3 曩ニ敍動セラレタル月ヲ計算スル場合ニハ其ノ敍動日附ノ如何ニ拘ラス一ヶ月トシテ計算スルコト

4 敍動内則第二十六條ニ依ル加算年アル場合ニハ關係官職ヨリ加算年ニ關スル調査ヲ徴シ添付スルコト

5 折算ニ就テハ別紙在職年數折算表参照ノコト

第四 敍動内則第十五條ニ依ル進級ノ場合ニ就テ

敍動内則第十五條各項ニ依リ進級セラルヘキ在職年ノ計算ハ何レモ前敍動ノ月ヨリ起算スヘキモノニシテ再任、陞任、陞等ノ時ヨリ起算スルモノニアラス

右ノ各場合ニ就テハ別紙履歷書様式参照ノコト

第五 退職、休職者ノ敍動ニ就テ

1 敍動内則第二十條ニ依ル敍動ニ就テハ退職、休職發令ノ翌月末日迄ニ上申セラルルコト

2 履歷書ノ肩書ニハ退職者ニアリテハ「元」、休職者ニアリテハ「休職」ノ文字ヲ必ス冠スルコト

第六 死亡者ノ敍動ニ就テ

1 在職中勤務不勤其ノ成績顯著ニシテ生前既ニ敍動ノ定限ニ達シタル者ニ就テハ發喪ノ日ヨリ十日以内ニ於テ死亡ノ日

ニ遡リ敍動セラルルコトアルニ付該當者アル場合ニハ左記事項注意スルコト

イ 詮議期間ハ十日以内ニ限ラルルヲ以テ其ノ機ヲ失セサル様即時上申スルコト

ロ 遠隔ノ地ニアリテハ本省ニ履歷書ノ備付アル者(高等官、同待遇、大學ヲ除ク直轄各部ノ判任官)ハ電信ニテ上申スルモ差支ナシ

2 官等陞級、待遇陞等並位等喪ヲ秘シテ詮議セラルル者ノ敍動ニ就テハ可成同時ニ上申セラルルコト

○喪ヲ秘シテ官等陞級、待遇陞等ヲナス場合ノ注意

イ 生存セルモノトシテ取扱フコト

ロ 親族知己等ヘノ正式ノ死亡通知書並新聞廣告等ハ發喪迄差控ヘ居ルコト

ハ 本省ニ對シテハ直ニ電信ニテ

一 文部大臣宛 病氣危篤ニ付「官等陞級」「待遇陞等」「位」「敍動」セラレタキ旨ノ上申ヲナスコト

二 秘書課長宛 死亡日時、病名及喪ヲ秘シ居ル旨ノ申出ヲナスコト

ニ 本省ヨリ通知アリタル後發喪スルコト

ホ 戸籍ノ届出ハ發喪ノ日ニ死亡セルモノトシテ手續スルコト

ヘ 變死及傳染病(傳染病豫防法ニ據ルモノ)ニテ死亡シタル者ニ付テハ喪ヲ秘シテノ取扱ヲ爲サス

在職年數折算表

(履歴書記載例略ス)  
昭和十三年 文部省例規

二	一	十	十	十	十	九	九	八	八	七	七	六
年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年
一	八	七	七	七	六	六	六	五	五	五	四	四
年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年
一	六	五	五	五	五	四	四	四	四	三	三	三
年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年

昭和十三年 文部省例規

六	五	五	四	四	三	三	二	二	一	一	中	實
月	年	月	年	月	年	月	年	月	年	月	年	年
四	三	三	三	二	二	二	一	一	一	中		三分ノ一ヲ減シタル殘年月數
月	年	月	年	月	年	月	年	月	年	月	年	
三	二	二	二	二	一	一	一	一	中	中		二分ノ一ヲ減シタル殘年月數
月	年	年	月	年	月	年	月	年	月	年	年	



○文官ニシテ支那事變ノ爲應召中ノ者ノ定例叙勲取扱方ニ關スル件

(昭和十三年十一月九日 敎學局、直轄各部、公立大學、高等學校、專門學校、各地方廳、(秘書課通鑑) 官 秘 一三三七號)

文官ニシテ支那事變ノ爲應召中ノ者定例叙勲取扱方ニ關シ今般陸軍省人事局恩賞課長ヨリ別紙寫ノ通り通牒有之タルニ付御了知相成度

追テ應召中ノ者ニ就キ上申相成節ハ本人所屬聯隊區司令部ト相互連絡ノ上重複上申無之様特ニ御注意相成度

(別紙)

(昭和十三年十月二十五日 勳 第六三〇〇號)

首題ノ件ニ關シ其ノ筋トノ協議ニ依リ之カ取扱方ニ關シ別紙ノ通定メラレタルニ付及通牒候

(別紙)

文官トシテハ加算セス

一、初級ノ場合

(イ) 高等文官ニシテ准士官以下ニ應召シタル場合

加算ナクシテ高等文官トシテノ叙勲定限ニ達シタルトキ高等文官トシテ擬叙スルカ又ハ准士官以下トシテノ加算シタル年數及應召前ノ文官ノ年數ヲ通算シテ准士官、下士官トシテノ叙勲定限ニ達シタルトキ准士官、下士官トシテ擬叙スルカソノ何レカニ依ルモノトス

(註) 右後段ニ依リ准士官、下士官トシテ叙勲後高等文官トシテ(加算ナシ)叙勲内則ノ第十五條第四項ノ定限ニ達シタ

ルトキハ同條項ヲ適用スルコトヲ得

(ロ) 高等文官ニシテ尉官以上ニ應召シタル場合

加算ナクシテ高等文官トシテノ叙勲定限ニ達シタルトキ高等文官トシテ擬叙スルカ又ハ尉官以上トシテノ加算シタル年數及應召前ノ文官年數ヲ通算シテ尉官以上トシテノ叙勲定限ニ達シタルトキ尉官以上トシテ擬叙スルカ其ノ何レカニ依ルモノトス

(ハ) 判任文官ニシテ尉官以上ニ應召シタル場合

加算ナクシテ判任文官トシテノ叙勲定限ニ達シタルトキ判任文官トシテ擬叙スルカ又ハ尉官以上トシテノ加算シタル年數及應召前ノ判任文官ノ年數ヲ半減通算シテ尉官以上トシテノ叙勲定限ニ達シタルトキ尉官以上トシテ擬叙スルカ其ノ何レカニ依ルモノトス

(註) 右前段ニ依リ判任文官トシテ叙勲後尉官以上トシテ叙勲内則第十五條第四項ノ定限ニ達シタルトキハ同條項ヲ適用スルコトヲ得

(ニ) 判任文官ニシテ准士官以下ニ應召シタル場合

加算ナクシテ判任文官トシテノ叙勲定限ニ達シタルトキ判任文官トシテ擬叙スルカ又ハ准士官以下トシテノ加算シタル年數及應召前ノ文官ノ年數ヲ通算シテ准士官、下士官トシテノ叙勲定限ニ達シタルトキ准士官、下士官トシテ擬叙スルカ其ノ何レカニ依ルモノトス

二、進級ノ場合

初級ノ場合ニ準ス

○他省ヨリ陸軍部隊附ニ任命セラレアル文官ノ叙勲年加算ニ關スル件

(昭和十三年十一月九日 官秘一三七號 高等學校・專門學校、各地方廳、(秘書課通牒))

他省ヨリ陸軍部隊附ニ任命セラレアル文官ノ叙勲年加算ニ關シ今般陸軍省人事局恩賞課長ヨリ別紙寫ノ通牒有之タルニ付御了知相成度

(別紙)

(昭和十三年十月二十六日 勳第六三〇九號)

首題ノ件ニ關シ其ノ筋ヨリ左記ノ通通知アリタルニ付及通牒候

左記

- 一、大本營編成中ノ文官等内地ニ在ル文官ノ叙勲年加算ハ之ヲ認メサルコト
- 二、本年六月十六日内閣告示第四號第一一支那事變第一項ニ依ル叙勲年加算ハ文官ニ付テモ之ヲ認ムルモ其ノ任地北京、天津、上海及南京ニ在ル者ニ付テハ個人詮議ノ上決定スルコト

○體育運動主事ノ進退身分ニ關スル内申方

(昭和十三年五月十七日 秘二二二一號 各地方廳、(文部兩省秘書課通牒))

體育運動主事ノ進退身分ニ關スル内申書ハ爾今文部、厚生兩大臣宛トシ右文書ハ文部大臣官房秘書課長宛御提出相成度 追而任用内申ニ添付スヘキ履歷書ハ地方待遇職員令第二條第一號乃至第四號ニ該當スル者ニ在リテハ三通、同條第五號ニ該當スル場合ニ在リテハ四通御提出相成度

○履歷書記載方ニ關スル件

(昭和十三年七月十三日 勳三三九號 直轄各部、各地方廳、(秘書課通牒))

大正十年九月八日付官秘四二二三號ヲ以テ任命ノ際提出スヘキ履歷書記載方及通牒置キタル處今般左記ノ通改正相成タルニ付御了知相成度

記

- 一、記載例其ノ一中「府縣」ヲ「本籍地府縣」ニ改メ舊族籍ノ欄ヲ削除ス 但シ華族ニ付テハ本籍地府縣ノ欄ニ何府縣華族ト記載スルコト

○市町村義務教育費國庫負擔法施行規程第一條ノ規定ニ依ル教員數算入方ニ關スル件

(昭和十三年七月十六日 發書七〇號 各地方廳、(普通學務局通牒))

市町村立小學校ノ教員ニシテ産前産後ノ休養教員及講習受講又ハ病氣等ノ事由ニ依ル長期缺勤教員並ニ此等ノ補充教員ニ關スル標記ノ件ニ付テハ爾今左記ニ依リ御取扱相成度此段通牒ス 追テ右休養教員及長期缺勤教員ノ補充教員ニシテ左記ニ依リ算入シタル教員ニ關シテハ特ニ道府縣ニ於テ別記様式ニ依リ調査ノ上毎年七月十五日限り報告スヘキ六月一日現在ノ市町村立尋常小學校教員數及就學兒童數調ニ添付相成度

記

- 一、市町村立尋常小學校ノ教員ニシテ六月一日現在ニ於ケル休養教員及長期缺勤教員並ニ此等ノ補充教員ハ市町村義務教育費國庫負擔法施行規程第一條ノ教員數ニ算入スルコト
- 二、市町村立尋常高等小學校ノ教員ニシテ六月一日現在ニ於ケル休養教員及長期缺勤教員ニ付テハ每週教授時間割表ニ依ル每週教授時數ニ基キ又此等ノ補充教員ニ付テハ補充期間中定メラレタル每週ノ實際教授時數ニ基キ夫々市町村義務教育費國庫負擔法施行規程第一條ノ規定ニ依リ算入スルコト

(様式)

休養教員及ノ補充教員ニ關スル調

(昭和 年六月一日現在)

市郡町村名	學校名	補充教員氏名	俸給 月額	勤務及 職名	甲號表ニ於ケル 教員區分ノ番號	任用年月日 解職豫定年月日	長期缺勤者ノ缺勤事由及其 ノ補充ヲ必理トスル事由
計							

○學齡兒童就學獎勵ニ關スル經費調報告方ノ件

(昭和十三年六月二十二日 各地方廳ノ北海道(普通學務局通牒)

標記ノ件ニ關シ北海道廳長官ヨリ左記甲號ノ通牒照會有之乙號ノ通回答致シ置キタルニ付御了知相成度

記

(甲號)

實學第七五七號

- 一、本報告ニハ昭和十二年九月發音一二五號通牒ニ依リ十月以降實施シタル兒童就學臨時獎勵施設狀況ヲモ含メ調査スベキ
- 二、含ムル場合ニ、道府縣兒童就學獎勵費經理狀況調ノ取扱ヲ如何ニスベキヤ
- 三、含メサル場合六、兒童就學獎勵費支出狀況調ニ於テ學齡兒童就學獎勵交付金ヨリ兒童就學臨時獎勵費ニ充テタル金額ヲ如何ニ記入スベキヤ

(乙號)

昭和十三年六月七日寅學第七五七號照會ノ標記ノ件左記ノ通ニ付御了知相成度

記

- 一、本報告中ニハ兒童就學臨時獎勵施設狀況ハ包含セシメザルコト
- 三、兒童就學獎勵費支出狀況調ニハ學齡兒童就學獎勵交付金ヨリ兒童就學臨時獎勵費ニ充當シタル場合ハ其ノ種目末尾ニ「兒童就學臨時獎勵費充當」欄ヲ設ケ其ノ金額ノミヲ記載スルコト

○滿洲國ニ於テ帝國ノ行フ神社及教育ニ關スル事務ノ文書ニ關スル件

(昭和十三年三月三十日 對滿事務局長及外務次官通牒)

帝國カ滿洲國ニ於テ行フ神社及教育ニ關スル事務ハ昭和十二年勅令第六百八十號ニ依リ對滿事務局及外務省ニ於テ共管スルコトトナリタル處今般對滿事務局ト外務省ト打合ノ結果貴省トノ間ノ右事務ニ關スル文書ノ發受ハ對滿事務局ニ於テ之ニ當ルコトトナリタルニ付爾今右文書ハ内閣總理大臣及外務大臣連名宛又ハ對滿事務局次長及外務次官連名宛ニテ同局ニ御送付相成度

追而昭和十二年勅令第六百八十一號ニ依ル在滿大使館教務部職員ノ身分及同部會計ニ關スル事務ハ外務省、大藏省所管在滿日本人教育費國庫負擔金ノ豫算及決算ニ關スル事務ハ大藏省ノ夫々專管事項ナルニ付右ニ關スル文書ハ前記ニ依ラサルコト勿論ノ儀ナルモ爲念申添候

○學校ノ入學願書、卒業證書等ニ記載スル族稱ニ關スル件

(昭和十三年七月十三日 各地方長官、直轄學校長(滿蒙技術官養成(文部次官通牒) 發) 書一〇三號 所長ヲ含ム) 公立大學、高等、專門學校長

學校ノ學則其ノ他ノ規程ヲ以テ學生、生徒及其ノ父兄又ハ保證人等ヨリ提出セシムル入學願書、保證書其ノ他入學、在學ニ關スル書面並ニ學校ヨリ授與スル卒業證書、修了證書其ノ他在學又ハ卒業ニ關スル證明書等ニ學生生徒及其ノ父兄又ハ保證人ノ族稱若ハ族籍ヲ記載スルノ書式ノ規定セルモノ有之處自今官公立ノ學校ニ於テハ華族以外ノ族稱又ハ族籍ハ前記ノ文書ニ之ヲ記載セサル様致度ニ付關係規程等ノ改正方御配意相成度依命此段通牒ス

○履歷書其ノ他諸願書等ニ於ケル族稱ノ表示ニ關スル件

(昭和十三年七月二十九日 本省各局部課、督學官室、教學局、直轄(文書課通牒) 官) 文二三〇號 各部、公立大學、高等學校、專門學校

今般内閣書記官長ヨリ標記ノ件ニ關シ別紙寫ノ通申越有之タルニ付實施方可然御取計相成度

(別紙寫)

(昭和十三年七月十四日 内閣閣甲第一九二號)

標記ノ件本日次官會議ニ於テ別紙ノ通申合有之候條實施方可然御取計相成度候

(別紙)

- 一、自今履歷書其ノ他諸願書等ニハ法令其ノ他ニ依リ特ニ記入ヲ必要トスル場合ノ外「平民」ナル族稱ノ記入ハ之ヲ廢止スルコト
- 二、右ノ實施ハ各廳夫々ノ所管事項ニ付成ル可ク速ニ適宜改廢ヲ行フコト

備考

本件ノ實施ニ付テハ

- (一) 履歷書、諸願書等ノ用紙ニハ族稱又ハ族籍ノ欄ヲ設ケズ從ツテ「族稱」又ハ「族籍」ノ不動文字ハ印刷セザルヲ可トスルコト
- (二) 華族、士族等ノ族稱ヲ記入スルハ空欄、氏名ノ肩書其ノ他適當ノ箇所ニ記入スルヲ可トスルコト
- (三) 履歷書、諸願書等ノ用紙ニシテ既ニ族稱又ハ族籍ノ欄ヲ設ケテ印刷調製シアルモノハ適宜抹消ノ上使用スル如ク取計フコト

○國寶指定及重要美術品等認定通知書ニ關スル件

(昭和十三年八月三日 發) 宗一四三號 各地方廳(宗教局通牒)

標記通知書ハ從來國寶保存法及重要美術品等ノ保存ニ關スル法律各第二條ニ依リ其ノ官報告示ト同時ニ本省ヨリ直接所有者宛發送シ居リタル處事務取扱上本省、地方廳及所有者間ノ連絡ニ支障無カラシムル爲爾後地方廳經由ノコトト可致ニ付御了知相成度

○寫眞週報刊行ニ關スル件

(昭和十三年二月十七日 官) 文五五五號 本省各局部課、督學官室、教學局、直轄各部(文書課通牒)

今般内閣情報部長ヨリ別紙要綱ニ依リ「寫眞週報」ヲ刊行シ週報ト相俟チテ國民ヲ啓發シ併セテ國策的宣傳ヲ行フコトナリ之ガ資料提供並ニ講讀方依頼ノ次第モ有之タルニ付左記御了知ノ上可然御配意相煩度

記

- 一、寫眞ノ取材ハ國民啓發國策的宣傳ニ關スルモノナルコト



消費節約ノ徹底ヲ圖ルノ要有之ト認メラルルニ付テハ此ノ際小學校青年學校中等學校ニ於テ左記事項ヲ實施セシメ十分其ノ實效ヲ舉グル様御督勵相成度此段依命通牒ス

記

- 一、制服、制帽ノ規定ノ有無ニ拘ハラズ洋服、帽子ノ新調ヲ禁止シ實情ニ應ジ有合セノモノヲ利用セシムルコト此ノ場合ニ在リテハ兒童生徒ニ適當ナル徽章ヲ佩用セシムルコト
  - 二、皮革製ノ靴、ランドセル其ノ他學用品ノ新品ノ購入ヲ禁止シ運動具ニ付テハ極力差控ヘシムルコト
  - 三、綿製、麻製、羊毛製、生ゴム製及金屬製ノ學用品ノ購入ヲ極力差控ヘシムルコト
  - 四、皮革製ノ靴及生ゴムヲ使用スルゴム靴ノ購入ヲ禁止シ下駄、草履等ノ使用ヲモ認ムルコト
  - 五、校友會、同窓會等ニ於ケル雜誌ノ發行及頁數ヲ極力制限セシムルコト
  - 六、學習用ノ用紙又ハノート類ノ節約ヲ一層強化スルコト
  - 七、教科書及裁縫材料ニ付テハ出來得ル限り新品ノ使用ヲ避ケシメ中等教科書ニ付テハ新採定ヲ支障ナキ限り見合スコト
  - 八、金屬製賞牌、メダル、記念品等ノ調製ヲ禁止スルコト
  - 九、以上各號以外ノ事項ニ付テモ各地ノ情況ニ從ヒ適當ナル方策ヲ講ズルコト
- 追テ右ハ一ニ非常時經濟ニ則應シ國民舉ツテ之ニ協力参加スルノ趣旨ニ外ナラザルヲ以テ其ノ實行ニ際シテハ兒童生徒ヲシテ克ク其ノ趣旨ヲ諒得セシメ進ンデ之ガ實踐勵行ニ邁進シ以テ此ノ難局ヲ突破スルノ意氣ヲ旺盛ナラシムル様御配意相成度
- 地方債抑制ニ關スル件**
- （昭和十三年八月二十五日 内務次官、大藏通牒）  
 （内務省發地第七九號 各地方長官、次官、文部次官通牒）
- 標記ノ件ニ關シテハ豫テ通牒セル處ナルモ時局ノ推移ニ鑑ミ今回昭和十三年度地方豫算ノ執行並ニ昭和十四年度道府縣豫算

編成ニ關シ別途通牒ノ次第モ有之地方債ノ許可ニ付テモ更ニ左記方針ニ依リ鐵木材其ノ他重要物資ノ節減ヲ圖ルハ勿論消費節約ノ趣旨ニ則リ之ヲ抑制スルコトト相成候條此ノ旨御了知遺憾ナキヲ期セラレ度尙貴官ニ於テ許可相成ルベキ起債及許可ヲ要セザル起債ニ付テモ右ニ準ジ措置相成又許可ヲ受ケタルモノ借入済ニ係ルモノ物價騰貴ニ因ル追加起債ヲ爲サントスルモノニ付テモ出來得ル限り事業ノ打切又ハ繰延ヲ爲サシムル様適當御措置相成度

追而市町村其ノ他公共團體ニ於テ不要許可債ノ議決ヲ爲シ又ハ貴官ニ於テ起債ノ許可相成リタル場合ハ其ノ緊急已ムヲ得ザル理由ヲ具シ議決書及許可指令ノ寫（不要許可債ニ付テハ議決書寫）ヲ添へ毎月十五日迄ニ前月分ヲ取纏メ報告相成度

記

第一 土木事業

一、道路橋梁

- 1 國庫ノ補助アルモノ並ニ國防上又ハ時局ニ鑑ミ緊急差シ措キ難キ生産力擴充上必要ナルモノノ外原則トシテ之ヲ認メザルコト
- 2 橋梁（國庫ノ補助アルモノヲ除ク）ノ架替ハ腐朽甚シク且補強ノ途ナク眞ニ已ムヲ得ザルモノノ外之ヲ認メザルコト

二、河川砂防港灣

國庫ノ補助アルモノ並ニ國防上又ハ時局ニ鑑ミ緊急差シ措キ難キ生産力擴充上必要ナルモノノ外原則トシテ之ヲ認メザルコト

三、農業土木

四、其ノ他  
國庫ノ補助アルモノ及緊急差シ措キ難キモノヲ除キ原則トシテ之ヲ認メザルコト

都市計畫街路、埋立等ニ在リテハ國庫補助アルモノ國防上又ハ時局ニ鑑ミ緊急差シ措キ難キ生産力擴充上必要ナルモノノ外原則トシテ之ヲ認メザルコト

第二 建築事業

一、官公廳舎（道府縣廳舎、市役所、町村役場、議事堂、公會堂等）ノ新築、増築等ハ之ヲ認メザルコト

二、學校

1 中等學校

工業學校等ノ如ク其ノ施設國策上必要ニシテ他ニ代用建物ナク眞ニ已ムヲ得ザルモノノ外新築、増築等ハ原則トシテ之ヲ認メザルコト

2 小學校

(イ) 兒童増加ニ因ル新築又ハ増築ト雖モ可及的特別教室ノ充當、其ノ他ノ建物ノ代用若ハ二部教授ノ實施等ノ方法ニ依ラシムルコトトシ眞ニ必要已ムヲ得ザルモノノ外之ヲ認メザルコト

(ロ) 二部教授ヲ緩和セムトスル爲ノモノハ雪國地方等ノ如キ特殊ノ事情アルモノノ外之ヲ認メザルコト

(ハ) 雨天體操場ハ特殊ノ事情アルモノノ外之ヲ認メザルコト

(ニ) 特別教室ハ裁縫、唱歌、理科、手工等眞ニ已ムヲ得ザルモノノ外原則トシテ之ヲ認メザルコト

三、其ノ他ノ建築

1 國庫補助アル講檢定施設、原蠶種製造施設、保健所、結核療養所及教員保養所等國策ニ係ルモノト雖モ最少限度ニ止ムルコト

2 其ノ他ノモノニ付テハ時局ニ鑑ミ緊急差シ措キ難キモノノ外原則トシテ之ヲ認メザルコト

四、災害復舊並ニ危害豫防ニ關スル建築

他ノ建物ヲ代用シ又ハ假設建築ニ依ル等應急的措置ノ範圍ニ止メシムルコトトシ眞ニ緊急差シ措キ難キ場合ノ外之ヲ認メザルコト

第三 鐵道及軌道事業

國防上又ハ時局ニ鑑ミ輸送力増加ヲ必要トスルモノノ外原則トシテ建設改良事業ハ之ヲ認メザルコト

第四 自動車事業

乗合自動車ノ新規經營（擴張ヲ含ム）並ニ車輛ノ補充ハ原則トシテ之ヲ認メザルコト

第五 電氣及瓦斯事業

國防上又ハ時局ニ鑑ミ緊急差シ措キ難キ生産力擴充上必要アルモノノ外原則トシテ建設改良事業ハ之ヲ認メザルコト

第六 水道事業

軍需關係工業用水等時局ニ鑑ミ緊急差シ措キ難キモノノ外原則トシテ之ヲ認メザルコト

第七 社會事業又ハ失業應急事業

政府ノ政策ニ順應シ特ニ地方民ノ思想動向ヲ考慮シテ措置スルコト

第八 災害應急並ニ復舊土木事業

國庫ノ補助アルモノ並ニ治水上又ハ交通上緊急差シ措キ難シト認メラルモノニ限り之ヲ認ムルコト  
第九 前各項以外ノモノニ付テハ國防上其ノ他眞ニ緊急差シ措キ難キモノノ外之ヲ認メザルコト

○地方債抑制ニ關スル件

(昭和十三年九月二十日各地方廳、內務省地方局、大藏省理通牒)  
(內務省發地第八五號 財局、文部省普通學務局)

本年八月二十五日內務省發地第七九號ヲ以テ內務、大藏、文部三次官ヨリ通牒相成候標記ノ件建築事業中小學校(イ)ノ特別教室ノ充當並ニ二部教授ニ關シテハ左記ニ依リ御處理相成候致度

記

一、特別教室ノ充當ニ付テハ大體同通牒中小學校ノ(二)ニ掲ケタル(裁縫、唱歌、理科、手工等)以外ノ特別教室ニ付考慮スルコト

二、二部教授ノ實施ニ付テハ大體實施困難ト認メラル左ノ地方ヲ除キ原則トシテ第二學年以下ニ付考慮スルコト

- (1) 雪國地方
- (2) 山間部其ノ他地勢ノ關係ニ依リ兒童ノ通學ニ不便ナル地方
- (3) 日没時ノ關係上二部教授ヲ行ヒ難キ地方
- (4) 其ノ他二部教授ヲ行ヒ難キ事情アル地方

○公用旅券請求書ニ兵役關係記載方ノ件

(昭和十三年十二月十四日 各局部課、教學局、督學官、秘書課通牒)  
(官 秘 一 五 一 號 室、直轄各部、各地方廳)

公用旅券請求書ニ兵役關係記載方ノ件ニ關シ別紙寫ノ通り外務次官ヨリ通牒有之タルニ付御了知相成度

(寫)

官命ニ依リ外國ニ渡航スル者ノ內兵役關係者ニ付テハ公用旅券請求書ノ末尾ニ追書トシテ左記事項ヲ御記載相成候致度尙此ノ旨貴管下各廳へ移牒方可然御取計相成度此段申進ス

記

一、役種、兵種、等級(例令、現役又ハ豫備役陸軍歩兵中尉、後備役海軍二等水兵、補充兵特務兵(第一補充兵、第二補充兵ノ別)等

一、徵兵適齡者ハ其ノ旨又適齡者ニシテ受檢後ノ者ハ甲種、第一乙種、第二乙種、丙種等ニ合格ノ旨又現役、第一補充兵役第二補充兵役ニ編入ノ處分ヲ受ケタル者ハ其ノ旨詳細記載スルコト

○圖書ノ推薦及紹介ニ關スル件

(昭和十三年十二月十四日 直轄學校公私立大學、高等學校專門學校長、教學局長官通牒)  
(發 指 二 二 二 號)

今般國體ノ本義ニ基キ教學ノ刷新振興、日本文化ノ創造進展ニ寄與スルモノアリト認メラルル圖書ヲ選ビ教職員並ニ學生生徒ノ研究修養上有益ニシテ推奨スルニ足ルモノハ之ヲ推薦トシ參考トナルベキモノハ之ヲ紹介トシ隨時貴學(校)ニ通知シ尙本局編輯ノ「教學局時報」並ニ「思想研究」等ニ内容梗概及推薦紹介ノ趣旨ヲ添ヘテ發表スルコトト致シタルニ付ソノ都度左記事項ニ留意ノ上教職員並ニ學生生徒ヲシテ十分之ヲ利用セシメラルル様致度此段通牒ス

記

一、書名、内容梗概、推薦紹介ノ趣旨(教學局時報・思想研究所載)ヲ校友會雜誌等ニ掲載シ其ノ他適當ナル方法ニヨリ教職員、學生生徒ニ周知セシムルコト



一、圖書館、寄宿舎等ニ備ヘ付ケ之ガ閱讀ニ便ナラシムルコト

(昭和十三年十二月十四日 各地方長官へ教務局長官通牒)  
發指 二二二號

今般國體ノ本義ニ基キ教學ノ刷新振興、日本文化ノ創造進展ニ寄與スルモノアリト認メラルル圖書ヲ選ビ教職員並ニ學生生徒ノ研究修養上有益ニシテ推獎スルニ足ルモノハ之ヲ推薦トシ參考トナルベキモノハ之ヲ紹介トシ隨時貴官ニ通知シ尙本局編輯ノ「教學局時報」並ニ「思想研究」等ニ内容梗概及推薦紹介ノ趣旨ヲ添ヘテ發表スルコトト致シタルニ付ソノ都度貴管下學校長圖書館長ソノ他ニ通知シ左記事項ニ御留意ノ上十分之ヲ利用セシメラルル様御取計相成度此段通牒ス

記

一、中等學校(師範學校、中學校、高等女學校、實業學校)ニ於テハ書名、内容梗概、推薦紹介ノ趣旨(教學局時報・思想研究所載)ヲ校友會雜誌等ニ掲載スル等適當ナル方法ニヨリ教職員生徒ニ周知セシムルト共ニ圖書室ニ備ヘ付ケ其ノ他適當ノ方法ニヨリ之ガ閱讀ヲ獎ムルコト

一、小學校、青年學校、各種學校等ニ於テハ書名、内容梗概、推薦紹介ノ趣旨(教學局時報・思想研究所載)等ヲ適當ナル方法ニヨリ教職員ニ周知セシメ之ガ閱讀ヲ獎ムルコト

一、主ナル圖書館ニ於テハ之ヲ備ヘ付クルト共ニ閱覽者ノ注意ヲ促シ閱讀ヲ獎ムル様適當ナル處置ヲ講ゼシムルコト

一、其ノ他適當ナル出版物(例ヘバ府縣教育會雜誌等)ニ書名、内容梗概、推薦紹介ノ趣旨(教學局時報・思想研究所載)等ヲ轉載シテ教育關係者ニ周知セシムルコト

# 昭和十四年文部省例規

## ○外國人ノ經營スル小學校及幼稚園等ノ設置認可ノ取扱方ニ關スル件

(昭和十四年十月二日 各地方長官へ普通學務局通牒)  
發指 一三二號

外國人又ハ外國人ノ援助ヲ受クル財團法人等ヨリ小學校、幼稚園及小學校ニ類スル各種學校ノ設置認可申請アリタル場合ハ自今當分ノ内其ノ認可前ニ於テ左記事項ヲ具シ本省ニ内議相成度依命此段通牒ス

記

- 一、設置目的
- 二、名稱及位置
- 三、開校(園)豫定年月
- 四、學則又ハ園則
- 五、創設費及開校(園)ヨリ完成マテ毎年度收支豫算
- 六、維持ノ方法(設立者ノ資産狀態ヲ明ニシ創設費及經常費其ノ他ニ對スル寄附金アルトキハ寄附者ト設立者トノ關係ヲ詳記スルコト)
- 七、敷地及建物ノ配置圖面
- 八、設立者、校長又ハ園長ノ履歷書

### ○教室實驗室等ニ於ケル夜間照明装置ノ件

(昭和十四年三月二日 發 建 六〇〇 號 各地方長官へ文部次官通牒)

學生生徒ノ視力保持上最モ緊要ナル照明装置ニ付テハ目下調査中ノ處夜間教授ヲ施ス學校ノ設置申請ニ當リ照明装置ノ取扱區々ニ涉リ居ルニ付差向キ學校ニ於テ夜間教授ヲ施ス場合教室實驗室等ノ照明ニ關シテハ別記ノ通牒了承ノ上可然取計相成度依命通牒候也

追テ青年學校ニ於ケル前記夜間照明装置ニ就テハ本省社會教育局長ヨリ別途通牒致スペク候

#### 記

夜間教授ヲ施ス教室實驗室等ノ照明

一 平均照度ヲ左記以上トナスコト

室名 及 場所

照度 (ルクス)

一〇〇、

五〇、

二〇、

一〇、

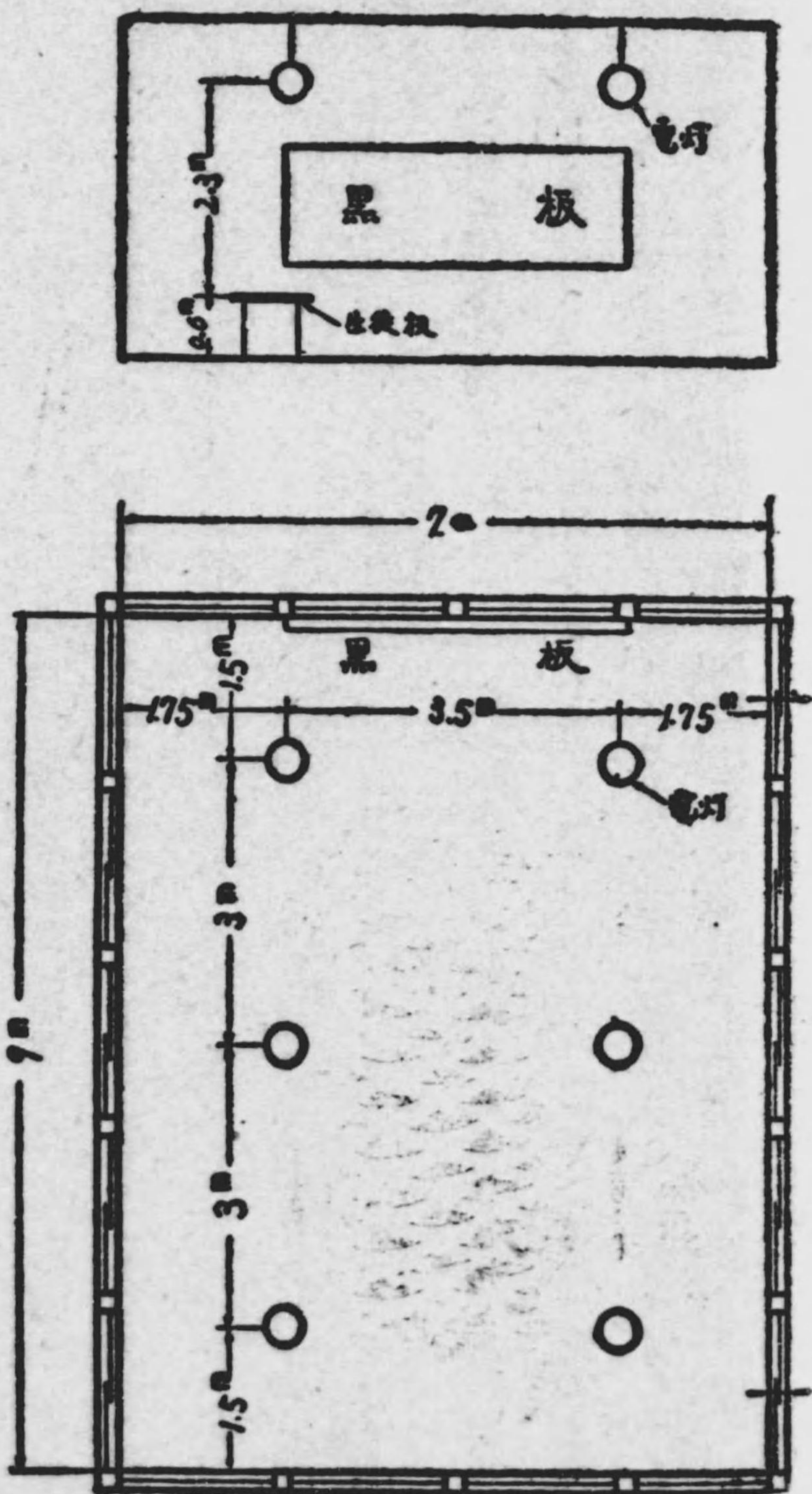
製圖室、圖畫室、裁縫室等ノ机上面及黑板面  
普通教室、物理教室、化學教室、博物教室  
音樂教室、實驗室等ノ机上面及黑板面  
屋內體操場、講堂、集會室等

廊下、階段、便所、出入口等

二 教室ニ於テハ裸電球ヲ使用セス、電球ヲ「グローブ」中ニ藏ムルコト

三 机上面及黑板面ノ均齊度 (平均照度、最低照度) ヲ三〇%以下トス

#### 教室照明施設例



天井、壁等ノ仕上色ガ明色(白色、薄「クリーム」色、「アイボリー」色、薄青色等)  
ナル場合ニ於テ、照明能率高キ「グローブ」ヲ使用スレバ「100」ワット「電球6箇」ニ  
テ平均照度80「ルクス」以上ヲ得ルコトガ出来、800「ワット」電球6箇ニテ平均照  
度100「ルクス」以上ヲ得ルコトガ出来ル

### ○青年學校ノ照明設備ニ關スル件

(昭和十四年三月六日 各地方廳へ社會教育局通牒)

學生生徒ノ視力保持上緊要ナル電燈照明ニ關シテハ昭和十四年三月二日發建六〇號ヲ以テ文部次官ヨリ依命通牒相成タルニ付テハ爾今青年學校ニシテ夜間ニ於テモ教授及訓練ヲ行フ學校ノ設置認可ニ當リテハ特別ノ事情ナキ限り成ルヘク右通牒ノ標準ニ據ラシムルヤウ致度尙既設ノ青年學校ニ在リテモ本趣旨ニ依リ漸次照明設備ノ改善ヲ圖ラシムルヤウ指導相成度此段通牒ス

○私立醫學專門學校學科課程及試驗方法ニ關スル件

(昭和十四年一月十四日私立醫學專門學校設立者へ專門學務局長通牒)

長期建設計畫並ニ國家總動員體制ニ即應シ國民體位ノ向上ヲ圖リ進ンデ日滿支ヲ打ツテ一丸トスル保健衛生施設ノ強化ヲ期スルハ現下ノ重要時務ト思料致サル所右ノ目的達成上醫育ヲ刷新シ醫師資質ノ向上ヲ圖ルノ要益々緊切ヲ加フル次第ニ有之、之カ一手段トシテ醫學專門學校ニ於ケル學科課程ヲ統一シ更ニ試驗施行ノ方法ニ檢討ヲ加ヘ各學校一齊ニ實施スルコトト致シ度、過般之ガ實施案ニ付校長各位ノ意見ヲモ徵シテ別紙ノ通其ノ要綱ヲ決定致シタルニ付可然御手配相成度  
追ツテ學科課程ニシテ別紙要綱ニ依リ改正ヲ要スル向ハ速カニ學則變更ノ手續ヲ了シ來年度入學者ヨリ實施相成度、試驗方法ニ關シテハ學科課程改正ニ順應シテ順次實施スベキモ實施可能ノモノニ在リテハ來年度ヨリ可成直ニ實施相成度

○私立小學校ノ監督ニ關スル件

(昭和十四年十月二日東京、神奈川、愛知、兵庫、廣島五府縣へ普通學務局通牒)

私立小學校ノ監督ニ關シテハ平素十分御留意ノコトト存ズルモ外國人又ハ外國人ノ援助ヲ受クル財團法人等ノ經營スル小學校ノ教育ニ付テハ特ニ注意ヲ要スルモノアリト認メラルルヲ以テ此ノ際ニ是等學校ノ視察ヲ行ヒ其ノ監督ヲ一層周密ニシ殊ニ左記各項ノ指導監督ニ付テハ一段ノ注意ヲ拂ヒ國民教育上萬遺憾ナキヲ期セラレ度  
追テ視察又ハ調査ノ結果不都合ノ廉アル場合ハ其ノ都度具體的ニ詳細報告相成度

記

- 一、教授訓練並ニ祝日等ノ學式又ハ朝禮其ノ他ノ行事ニ付テハ明治三十二年文部省訓令第十二號ノ次第モ有之ヲ以テ隨時查察シテ國民精神ノ涵養上聊モ遺憾無之様適當ナル指導ヲ加フルコト
- 二、教科目、教科用圖書並ニ唱歌用ニ供スル歌詞及樂譜ハ、必ズ小學校令及小學校令施行規則ノ規定ニ依ラシムルハ勿論尋常小學校ニ於テ外國語ヲ課スルモノハ直ニ之ヲ廢止セシムルコト
- 三、私立學校令第五條ニ依リ小學校教員免許狀ヲ有セサル者ニ對シ教員タルノ認可ヲ與フル場合ハ其ノ人物及性行ニ付一層注意シテ之ヲ詮議スルコト尙現ニ教職ニ在ル無資格者ニ付テハ右認可ノ有無ヲ調査シ無認可ノ者ニ對シテハ適當ニ之ヲ措置スルコト

○師範學校、中學校及實業學校教授要目中改正ニ關スル件

(昭和十四年二月九日各地方長官へ文部次官通牒)

二月九日文部省訓令第二號並ニ第三號ヲ以テ師範學校並ニ中學校國語漢文ノ教授要目中改正相成リ高學年ニ在リテハ成ルヘク現代支那ノ理解ニ資スヘキ適正ナル時文ヲ加フルコトト相成リタル處右ハ偏ニ漢文講讀ヲ通シ生徒ヲシテ現代支那ヲ理解セシムルニ資スルノ趣旨ニ出ツルモノナルニ付テハ學校當事者ヲ督シ特別ノ支障ナキ限り之ヲ課シ以テ克ク所期ノ目的ヲ達成セシムル様御配意相成度尙二月九日文部省訓令第四號ヲ以テ實業學校國語ノ教授要目中改正相成リ講讀ニ於テ漢文ヲ課スル場合ハ高學年ニ時文ヲ加フルコトト相成タルモ亦級上ノ趣旨ニ外ナラザルニ付從來漢文ヲ課シ居ル學校ニ於テハ支障ナキ限り之ヲ課シ其ノ他ノ學校ニ於テモ成ルベク之ヲ課スルコトトシ以テ改正ノ趣旨ニ副フ様御配意相成度依命通牒ス  
追テ師範學校並ニ中學校ノ時文教科書ハ昭和十四年度ニ限り不取敢檢定ヲ經サルモノヲ使用セシメラレ差支無之ニ付此ノ旨

御了知ノ上上記ノ學校及實業學校ノ教科書選定ニ關シテハ十分適正ヲ期スル様御留意相成度

師範學校、中學校教授要目中改正ニ關スル件 (昭和十四年二月九日公私立(七年前)高等學校長へ文部次官通牒) (發書一五號)

二月九日文部省訓令第二號並ニ第三號ヲ以テ師範學校並ニ中學校國語漢文ノ教授要目中改正相成リ高學年ニ在リテハ成ルベク現代支那ノ理解ニ資スベキ適正ナル時文ヲ加フルコト相成リタル處右ハ偏ニ漢文講讀ヲ通シ生徒ヲシテ現代支那ヲ理解セシムルニ資スルノ趣旨ニ出ツルモノナルニ付テハ特別ノ支障ナキ限り之ヲ課シ以テ克ク所期ノ目的ヲ達成セシムル様御配意相成度依命通牒ス

追テ師範學校並ニ中學校ノ時文教科書ハ昭和十四年度ニ限り不取敢檢定ヲ經サルモノヲ使用セシメラレ差支無之ニ付此ノ旨御了知ノ上教科書選定ニ關シテハ十分適正ヲ期スル様御留意相成度

師範學校、中學校及實業學校教授要目中改正ニ關スル件 (昭和十四年二月九日男女高等師範學校長へ文部次官通牒) (發書一五號)

二月九日文部省訓令第二號並ニ第三號ヲ以テ師範學校並ニ中學校國語漢文ノ教授要目及二月九日文部省訓令第四號ヲ以テ實業學校國語ノ教授要目中改正相成リ高學年ニ在リテハ成ルベク現代支那ノ理解ニ資スベキ適正ナル時文ヲ加フルコトナリタル處右ハ偏ニ漢文講讀ヲ通シ生徒ヲシテ現代支那ヲ理解セシムルニ資スルノ趣旨ニ出ツルモノナルニ付テハ爾今當該學科ノ教授ニ於テハ時文ニ關スル適正ナル教材ヲ選擇シテ之ヲ履習セシメ時文講讀ノ能ヲ養ハシムルト共ニ現代支那ノ理解ニ資セシムル様特ニ御配意相成度依命通牒ス

○青年學校教科用圖書ニ關スル件

(昭和十四年三月八日各地方廳(社會教育局通牒) (發書三五號)

今般青年學校教科用圖書ニ關シ檢定制度ヲ實施スルコトニ相成タルニ就テハ教科用圖書檢定制則ノ一部ヲ改正シ青年學校教

科用圖書檢定調査標準並ニ青年學校教科用圖書最高定價標準ヲ告示セリ、右ハ青年學校教育ノ義務制實施ニ伴ヒ其ノ教科用圖書ノ重要性ニ鑑ミ之方檢定制度ヲ實施セル趣旨ナルヲ以テ貴管内青年學校ニ於テ使用セラルベキ修身及公民科並ニ普通學科教科用圖書ニ關シテハ爾今左記ニ依リ御取扱ヒ相成度依命通牒ス

記

- 一、青年學校ニ於テ修身及公民科並ニ普通學科教科用圖書ヲ使用スル場合ハ本省檢定済圖書ノ中ヨリ之ヲ採用セシムルコト
- 一、特別ノ事情アルトキハ當分ノ内無檢定教科書ヲ使用セシムルコトヲ得ルコト但シ此ノ場合ニ於テハ地方長官ノ承認ヲ經セシムルコト
- 一、前項ノ承認ニ關シテハ昭和十年九月四日發社第二二六號通牒ニ依ルコト

○師範學校中學校高等女學校實業學校並青年學校唱歌用歌詞、樂曲採用ニ關スル件

(昭和十四年八月二十九日各地方長官へ文部次官通牒) (發書一四三號)

標記ノ件ニ關シ八月二十四日附文部省令第四十九號公布相成リタル處右ハ近來是等諸學校ニ於テ校歌、朝禮歌、開校記念日ノ歌、學校行進歌等ヲ採用スル向尠カラス是等ノ歌詞、樂曲モ亦音樂教材ノ一部ト看做サルノミナラス殊ニ校歌、朝禮歌ノ如キハ訓育上極メテ重要ナルモノナルニ鑑ミ今回新ニ其ノ採用ニ關シテ認可ノ規定ヲ設ケ内容ノ適正ヲ期スルト共ニ他學科教材トノ有機的聯絡ヲ圖リ以テ教育上遺漏ナカラシメントスルノ趣旨ナルニ付御了知ノ上可然御配意相成度此段依命通牒ス追テ歌詞、樂曲認可申請上ノ注意事項ハ小學校ノ場合ト同様ニツキ昭和四年四月十七日發圖三三三號通牒參照相成度

○中等學校入學者選拔ニ關スル件

(昭和十四年九月二十八日各地方長官へ文部次官通牒) (發書一三四號)

皇國ノ前途多事ナルノ秋皇運ヲ扶翼シ興亞聖業ノ達成ニ邁進スヘキ國民ヲ練成シ特ニ其ノ體位ノ向上ヲ圖ルハ刻下喫緊ノ要事ナリ然ルニ國民ノ基礎的練成ヲ行フベキ小學校教育ニ於テ今尙中等學校入學準備ニ毒セラレテ其ノ本旨歪曲セラレ兒童心身ノ健全ナル發達阻害セラレツツアルハ邦家ノ爲寒心ニ堪ヘサル處ニシテ之カ改善ノ必要急ナルモノ有之カ對策ニ付テハ中等學校ノ收容力ノ擴張、其ノ内容ノ充實、進學ニ關スル指導ノ徹底等ニ依リ入學難ノ緩和ニ努ムルト共ニ他面入學者ノ選抜方法ヲ改メ左記ニ依リ小學校ノ教科ニ基ク試問ヲ爲サシメサルコトトシ以テ準備教育ノ弊ヲ一掃シ小學校教育ノ本旨ノ貫徹ヲ圖ル様致度

追テ本通牒ニ依リ難キ特別ノ事情アル場合ハ詳細其ノ事情ヲ具シ本省ニ協議相成度  
右依命通牒ス

記

一、選抜方法 入學者ノ選抜ハ小學校長ノ報告、中等學校ニ於ケル人物考査及身體檢査ノ三者綜合判定ニ依ルコト

(イ) 小學校長ノ報告ニ付テハ學業成績ニ關スル學級一覽表ノ外改正學籍簿ノ趣旨ニ則リ各志願兒童ノ人物全體ヲ察知シ得ベキ詳細ナル個人調査書ヲ作成セシムルコト

中等學校ニ於ケル報告書ノ審査ニ當リテハ各志願兒童ニ付嚴密ニ之ヲ行ヒ一律ニ小學校間ノ等差ヲ附スルガ如キ取扱ハ之ヲ避ケシムルコト

(ロ) 人物考査 口問口答ヲ以テシ兒童ノ日常生活ニ於テ經驗スル普遍的事項ニ付、徳性ニ基ク判斷(其ノ過程ニ於ケル情操ノ深度、推理ノ適否ニ付考慮ス)ヲ考査スルコト

口頭試問及身體檢査中ニ現ルル兒童ノ躑及性行ヲ觀察シテ人物判定ノ參考トスルコト

試問ノ事項及其ノ方法ニ就テハ豫メ周到ナル考究ヲ爲シ之ガ爲準備教育ヲ誘發スルガ如キコトナキ様嚴ニ留意スルコト

(ハ) 身體檢査ハ疾病及異常、發育及榮養、運動能力ニ付施行シ特ニ疾病及異常ノ檢査ニ重キヲ置クコト

(ニ) 前各號ニ依リ考査選抜スルニ當リ優劣ヲ判定シ難キ者ニ付テハ抽籤ニ依リ入學者ヲ決定スルコト

二、運用ニ關スル事項 選抜方法ノ運用ニ付テハ左記各號ニ依ルノ外其ノ適正ヲ確保スルガ爲學校教職員ノ指導監督上其ノ責任ヲ明ニスルコトニ留意スルコト

(イ) 報告書ノ作成及審査ニ付テハ各小學校及中等學校内ニ學校長ヲ主班トシ教職員ヲ以テ組織スル委員會ヲ設ケシメ報告書ノ作成及審査ノ適正ヲ期セシムルコト

(ロ) 道府縣ニ入學者選抜方法ノ運用ニ關スル機關ヲ設ケ左ノ事項ヲ處理セシムルコト

- 1 實施ニ關スル具體的方法ノ審議
- 2 實施ニ關スル査察指導
- 3 事後審査及研究

中等學校入學者選抜ニ關スル件

(昭和十四年九月二十八日 東京、廣島高等師範學校長、東京、奈良女子高等師範學校長、尋常科ヲ有スル高等學校長(文部次官通牒) 發書一三四號)

今般標記ノ件ニ關シ別紙ノ通地方長官ニ通牒致シタルニ付貴校(附屬中學校、高等女學校、尋常科)ノ入學者選抜ニ付テモ右ニ準シ御取扱相成度依命此段通牒ス

追テ本通牒ニ依リ難キ特別ノ事情アル場合ハ詳細其ノ事情ヲ具シ本省ニ協議相成度  
(別紙前掲)

中等學校入學者選抜ニ關スル件 (昭和十四年九月二十八日 發 普 一 三 四 號 拓務次官、外務次官、對滿事務局次長ハ文部次官通牒)

今般標記ノ件ニ關シ別紙ノ通地方長官ニ通牒致シタルニ付參考トシテ送付ス  
(別紙前掲)

○中等學校入學者選抜ニ關スル件

(昭和十四年十一月二十八日 發 普 一 三 四 號 各地方廳ハ普通學務局通牒)

九月二十八日發普一三四號ヲ以テ標記ノ件ニ關シ文部次官ヨリ通牒相成タル處現ニ學校ニ在學セサル尋常小學校卒業者、高等小學校中途退學者又ハ卒業者ニシテ中等學校ニ入學志願セル者ノ選抜方法ハ右卒業又ハ退學ノ際在學セル小學校長ヨリ其ノ當時ノ學業成績ニ關スル學級一覽表及個人調査書ヲ提出セシメ其ノ報告書ニ付テ審査スルト共ニ本人ノ卒業又ハ退學後ニ於ケル學習情況ヲ調査スル等適當ノ方法ヲ講シ選抜セシムル様御取計相成度

○實業學校卒業者ノ師範學校本科第二部入學ニ關スル件

(昭和十四年一月六日 發 普 一 九 七 號 各地方廳ハ普通學務局通牒)

標記ノ件ニ關シ從來動モスレハ其ノ趣旨ノ徹底ヲ缺クノ憾ナシトセザリシモ近時小學校並青年學校等ニ於ケル實業教育ノ振興上實業ニ關スル素養アル小學校教員ノ養成ハ益々其ノ緊要ノ度ヲ加ヘ來レルヲ以テ昭和十四年度以降ニ於ケル師範學校本科第二部生徒ノ募集ニ際シ左記事項御留意ノ上實業學校特ニ農業學校卒業者ノ師範學校入學ニ關シ勸奨方可然御取計相煩度

記

一、實業學校卒業者ノ師範學校本科第二部入學ニ關スル趣旨ノ周知方取計ハレ度

實業學校卒業者ノ師範學校入學ニ關シテハ夫々規定セラレアルヘキモノノ趣旨ニ關シ各實業學校長ニ對シ之カ徹底ヲ計リ且卒業者ノ入學志願ヲ勸奨セシムルコト

一、實業學校卒業者ノ師範學校ニ入學ヲ志願シタル場合之カ檢定並銓衡ニ關シ特ニ配意相成度

師範學校入學志願者ノ檢定ニ關シテハ師範學校規程第五十三條ノ規定ニヨリ既ニ夫々定メラルル所有之ヘキモ時局ニ鑑ミ其ノ運用ニ關シ特別ノ配意ヲナスト共ニ之カ入學者ノ銓衡等ニ關シテモ本文趣旨ニ依リ考查學科目、考查問題等ニ關シ適當ナル配意ヲ加フルコト

一、實業學校卒業者ノ師範學校入學後ソノ教育ニ關シ特ニ配意相成度

實業學校卒業者ノ師範學校入學ヲ許可シタル者ニ對シテハ之カ教育ニ關シ特ニ考慮シ増課科目ノ選擇及時間配當、課外指導又ハ夏期休暇ノ利用等ニ工夫ヲ加ヘ以テ教育ノ徹底ヲ計ルコト

○師範學校入學者選抜ニ關スル件

(昭和十四年十一月二十七日 發 普 一 五 八 號 各地方廳ハ普通學務局通牒)

師範學校第一部ノ入學者ハ自今昭和十四年九月二十八日發普一三四號中等學校入學者選抜ニ關スル件通牒ニ據リ第二部ノ入學者ハ從來ノ方法ニ依リ選抜セシメラレ度爲念依命通牒ス

○中學校生徒定員ニ關スル件

(昭和十四年十二月九日 發 普 通 學 務 局 何 定)

從來ノ取扱ニ於テハ中學校ノ生徒定員ハ五學級併進千二百五十名迄ノ増加ヲ認メ來リタルモ近時中學校ノ入學難ハ益々激化ノ趨勢ニアルニ鑑ミ爾今當分ノ間入學難特ニ甚クシキ地方ニシテ公立中學校ニ限り左記事項ヲ條件トシテ六學級併進千五百名迄ノ増加ヲ認メ可然哉

記

- 一、相當ノ校地校舎並ニ設備ヲ有スルコト
- 二、五年以内ニ本件ニ依リ認メラレタル生徒定員ヲ五學級併進千二百五十名ニ改ムル爲中學校ヲ新設スルノ詳細ナル計畫ヲ有スルコト

尙道府縣會、市町村會、市町村學校組合會又ハ町村學校組合會ニ於テ生徒定員變更ニ關スル豫算説明ノ際五年以内ニ之ニ變ルベキ中學校ヲ新設スヘキ旨ノ言明ヲ爲サシムルコトト致度

○事變派遣應召軍人ノ子弟ニ對スル授業料等ノ減免ニ關スル件

(昭和十四年四月十四日 直轄學校長、公私立大學、高等學、專門學校長、實業專門學舎) 文部次官通牒

今次事變ニ於ケル現役又ハ應召ノ學生生徒ノ授業料等免除並ニ派遣應召軍人ノ子弟タル學生生徒ニ對スル授業料等減免ニ關シテハ曩ニ通牒ノ次第モ有之夫々適當ニ處理相成居ルコトト被存モ右ハ派遣應召軍人ノ戰傷病死又ハ戰傷病ノ爲召集解除ノ場合ニ於テモ其ノ子弟タル學生生徒ノ學費支辨ニ困難ヲ來シタル者ニ付其ノ事情ニ應シ授業料等ノ減免ヲナスノ趣旨ニ付可然御取計相成度此段及通牒

○學生生徒ノ保健ニ關スル件

(昭和十四年一月十日 直轄學校長、公私立大學、高等學校、專門學校長) 文部次官通牒

學生生徒ノ保健ニ關シテハ已ニ夫々適切ナル施設指導ヲ加ヘツツアルコトト存スルモ、最近本省ノ調査ニ依レハ學生生徒ノ健康狀態ハ尙改善ヲ要スヘキモノ多々アルモノト思料セララルヲ以テ、特ニ現下ノ時局ニ鑑ミ之カ對策ニ關シテハ深甚ナル注意ヲ拂ヘレ度就中學生生徒ニ對スル衛生思想ノ普及ニ依リテ規律攝生ノ生活ヲ實行セシメ自ラ健康ノ向上ニ力メシムルト

共ニ左記事項ニ留意シ一層學生生徒ノ保健養護ニ力ヲ致シ、以テ健康ノ保持増進ニ資セララルル様致度依命通牒ニ及フ

記

- 一、入學試験ニ於ケル身體検査ヲ一層嚴重ニスルコト、成ルヘクレントゲン検査、マントウ氏反應検査、赤血球沈降速度測定等ヲ併セ實施シ結核性疾患ノ發見ニカムルコト
- 二、定期身體検査ヲ一層精細ニ實施スルハ勿論臨時身體検査ヲ隨時施行シ、以テ學生生徒ノ健康ニ關スル適切ナル指導ヲ與フルコト
- 三、健康相談ニ關スル施設ヲ設ケ、學生生徒ヲシテ常時健康相談ヲ受ケシメ、個人的ニ健康ニ關スル指導ヲ與フルト共ニ必要ニ應シ適切ナル處置ヲ講スルコト
- 四、寄宿舎アル場合ニハ其ノ設備ノ衛生ニ留意スルハ勿論寄宿生ノ營養運動、其ノ他寮舎生活ノ全般ニ關シ一層十分ナル衛生的指導ヲ與フルコト
- 五、衛生思想ノ涵養ヲ圖ル爲適當ノ機會ヲ選ヒ適切ナル内容ニ就キ衛生講演會等ヲ開催スルコト
- 六、學生生徒保健委員會等ヲ設ケ、學生生徒ノ健康ニ關シ、調査研究ヲ進メ、學校ノ實情ニ即シ適切ナル保健養護ノ對策ニ遺憾ナキヲ期スルコト

○自校體操制定ニ關スル件

(昭和十四年二月三日 各地方長官) 文部次官通牒

今回學校體育振興ノタメ左記ニ依リ中等學校ニ對シ、夫々自校體操トシテ一聯ノ體操ヲ制定セシメ、向後式日、運動會、朝會其ノ他適當ノ機會ニ適宜之ヲ實施セシメ、體操ノ實踐並ニ校風ノ涵養振作ニ資セシメ度ニ付貴管下中等學校ニ就キ右制定

方ニ關シ何分ノ御配慮相煩度此段依命通牒ニ及フ

記

- 一、本體操ハ一學校ニ就キ一種ヲ制定シ全校生徒同時ニ實施セシムルモノタルコト但シ男女併設ノ中等學校ニ在リテハ男女別各一種ヲ制定スルコト
- 二、本體操ハ徒手トシ、運動ハ總テ學校體操教授要目ノ教材中ヨリ之ヲ選ブコト
- 三、本體操ハ運動數ヲ凡ソ十二三種トシ、全體ヲ實施スルニ要スル時間ハ五分内外タルベキコト
- 四、本體操ハ當該學校ニ於テ之ヲ立案シ、道府縣ヲ經テ本省體育研究所ノ審査ヲ申請シ、其ノ審査ヲ經タル後之ヲ決定スルモノトス但シ當該學校ノ教員ノミヲ以テ立案シ難キ事情アル場合ハ道府縣體育運動主事ノ指揮ニ從ヒテ、他ノ協力ヲ得ルモ妨ガザルコト
- 五、本體操ノ審査申請ニ際シテハ、努メテ詳細ナル説明ヲ附シ必ズ圖解ヲ添附スルコト
- 六、本體操ノ立案ニ際シテハ、徒ラニ新奇ヲ求ムル等ノコトナク克ク體操ノ本質ニ則リ、其ノ學校ノ實情ニ鑑ミ最適切妥當ナルモノヲラシムルヲ念トスルコト
- 七、本體操ハ制定後ト雖、必要ニ應ジ益々研究ヲ加ヘ、一層改善ヲ期スルヲ本旨トスルヲ以テ後日之ヲ更改スルモ妨ガザルコト但シ更改ニ際シテハ其ノ都度前掲ノ審査ヲ受クベキコト
- 八、既ニ自校體操ヲ作成シ、之ヲ實施セルモノニ在リテハ、之ヲ以テ審査ヲ申請スルモ支障ナキコト但シ右審査申請ニ際シテハ當該體操ノ説明並ニ圖解ノ他其ノ作成年度ヲ附記スルコト

○管外野球場使用方ニ關スル件

(昭和十四年四月十四日 各府縣中等學校野球場統制(體育課通牒) 雜體 三五號 附體(除京都府及滋賀縣))

先般京都府中等學校野球ノ統制團體タル京都府中等學校體育聯盟理事長ヨリ標記ノ件ニ關シ別紙(一)ノ如ク申請有之タル處審議ノ結果別葉(二)ノ通回答致シタルニ付爲念此段通知ニ及フ

別紙

(一)

管外野球場使用許可申請

今般京都市内中等學校春季野球聯盟試合ヲ別紙日程表ニヨリ舉行致シ其ノ際滋賀縣綠ヶ丘野球場ヲ使用仕度候ニ就テハ本府ニ於ケル事情御認メ被下例年ニヨリ御許可賜度此段及申請候  
追テ右綠ヶ丘野球場ニ關スル限リ其ノ地理的實情ニ依リ同球場ヲ使用スル本府中等學校野球試合ニ關シテハ爾今本府中等學校野球ノ統制團體タル本聯盟ノ理事長ノ責任ニ於テ適宜處置相成然ル可キヤウ御取計ヒ被下度併セテ申請候也

記

- 一、試合日程 四月九日ヨリ五月七日マテノ日曜及祭日  
但シ四月二十二日(土) 五月六日(土)ヲ加フ
- 二、試合場所 京都府相樂郡寺田野球場  
滋賀縣綠ヶ丘野球場
- 三、參加學校 府立京都第一中學校 同 第二中學校

昭和十四年 文部省訓令



同 第三中學校

京都府師範學校

京都市立第二商業學校

同 四條商業學校

京都市立第一工業學校

聖峰中學校

同志社中學校

四、經費 參加學校負擔

同 桃山中學校

京都市立第一商業學校

同 第三商業學校

大谷中學校

京都商業學校

東山中學校

平安中學校

(11)

管外野球場使用方ニ關スル件

昭和十四年三月二十一日附ヲ以テ申請有之タル京都市内中等學校春季野球聯盟試合施行ニ際シ滋賀縣綠ヶ丘野球場ヲ使用スルノ件ハ了承致シタルニ付此段通知ニ及フ

追テ貴府中等學校野球試合施行ニ際シ右綠ヶ丘野球場使用方ニ關シテハ爾今貴府中等學校野球ノ統制團體タル貴聯盟理事長ニ於テ必要ト認メラレタル場合ハ理事長ノ責任ニ於テ適宜コレヲ貴府管下所在ノ野球場ト同様ニ取扱ハレテ然ル可ク右承認相成リタルニ付此段御諒知相成度尙右綠ヶ丘野球場使用ニ當リテハ滋賀縣ト十分連絡有之ヤウ御注意相成度

○小學校武道指導要目ノ趣旨徹底ニ關スル件

(昭和十四年六月九日 發 體 四 〇 號 各地方長官へ文部次官通牒) 今般文部省令第四十五號並文部省訓令第十六號ニ依リ小學校ニ於テ武道ヲ實施セシムルコトト相成タルニ就テハ充分右趣旨

ノ徹底ヲ圖ラルルハ勿論此ノ際特ニ左記事項ニ關シ御留意ノ上本件實施ノ目的達成上遺憾ナキヲ期セラレ度

記

一、小學校ニ於ケル武道指導ノ真全ヲ期スル爲メ師範學校ニ於テハ爾今生徒ヲシテ本指導要目ニ依ル武道ヲ必ス履修セシムルコト

二、小學校教員ニ對シ適切ナル講習會等ヲ開催シ本要目ノ正シキ傳達ヲ圖ルコト

三、本指導要目ハ正課ニ準シテ實施セシムル場合ノモノニシテ從來各地ニ於テ實施セル指導ヲ禁止スルノ趣旨ニ非サルハ勿論其ノ指導ニ際シテハ自ら本要目ノ精神ヲ尊重セシムルニ努ムルコト

○學生生徒ノ運動競技試合ニ關スル件

(昭和十四年八月十六日 發 體 七 五 號 直轄學校長、公立大學、私立大學、高等學校、專門學校長へ文部次官通牒)

今ヤ興亞ノ大業日々ニ進ミ國民ノ責務愈々重大ヲ加ヘ强健有爲ナル次代國民ノ鍊成ヲ要スルノ秋ニ當リ曩ニ 長クモ青少年學生ニ 勅語ヲ賜フ 聖旨宏遠洵ニ感激ニ堪ヘサル次第ニ有之自今益々武道其ノ他ノ運動競技ヲ獎勵シテ心身ノ鍛鍊ニ努ムルト共ニソノ實施方法ノ適正ヲ期シ以テ學生生徒ノ本分ヲ盡サシメ度ニ付テハ右趣旨ニ基キ各種試合ノ施行上一層ノ配意相成度特ニ對校試合等ニ關シテハ左記事項銳意勵行相成度此段依命通牒ス

記

一、試合ニ當リテハ學生生徒ノ本分ヲ守リ眞劍勝負ノ氣魄ヲ尙ヒ日本精神ノ涵養發揮ニ努ムルコト

二、特ニ文部省ノ承認シタル場合ノ外試合又ハ練習ノ爲學業ヲ缺クカ如キ事アルヘカラサルコト

三、試合ニ際シテハ之ニ關與スル者ハ勿論其ノ他場内ニ在ル者ヲシテ眞ニ學生試合ノ精神ヲ尊重スルノ風ヲ養ハシムル様十

分ナル指導監督ヲナスコト

今般標記ノ件ニ關シ直轄學校長及公立大學高等專門學校長ニ對シ別紙ノ如ク通牒致シタルニ就テハ右御諒知ノ上貴管下各學校ニ對シテモ本趣旨ニ鑑ミ可然御取計ヒ相煩度此段依命通牒ス

(別紙前掲)

(昭和十四年八月十六日 各地方長官へ文部次官通牒) 發 體 七 五 號

○學校職員身體檢查實施ニ關スル件

(昭和十四年十一月十四日 各地方廳へ體育課通牒) 官 體 四 六 號

先般文部省令第十七號ヲ以テ學校職員身體檢查規程ヲ制定シ本年度ヨリ實施ノ處右ハ學校配屬將校ニ對シテモ一般學校職員ト同様實施致シ度所存ナルニ付可然御措置相成之ガ實施ニ遺憾ナキヲ期セラレ度依命通牒ニ及ブ  
追テ學校配屬將校ノ身體檢查受檢方ニ關シテハ別紙寫ノ通陸普第五五〇七號ヲ以テ陸軍省副官ヨリ關係各師團參謀長宛通牒濟ニツキ爲念申添フ

(別紙)

學校職員身體檢查實施ニ關スル件

(昭和十四年八月三十一日 陸普第五五〇七號)

文部省ニ於テハ自今學校職員ノ健康ヲ保全シ生徒兒童ノ衛生養護ヲ全ウスル趣旨ノ下ニ學校職員身體檢查ヲ實施スルコトニ定メラレタルニ付配屬將校モ一般職員同様進ンテ受檢スル如ク指導相成度依命通牒ス

追テ學校職員身體檢查規程ハ昭和十四年四月十九日附文部省令第十七號ヲ以テ公布セラレアルニ付爲念申添フ

○地方青年學校教育職員費補助ニ關スル件

(昭和十四年三月二十八日 各地方長官へ文部次官通牒) 發 社 一 一 五 號

青年教育ノ重要性ニ鑑ミ地方ニ於ケル青年學校教育ノ指導監督ニ關スル機構ヲ整備シ以テ一層之ガ運用ノ徹底ヲ期スルハ斯教育ノ振興上喫緊ノ要事タリ仍テ本省ニ於テハ別記地方青年學校教育職員費補助要綱ニ依リ補助金ヲ交付可致ニ付御承相成度此段通牒ス

別記

地方青年學校教育職員費補助要綱

- 一、文部大臣ハ青年教育ノ普及發達ヲ助成スル爲本要綱ニ依リ毎年度豫算ノ範圍内ニ於テ補助金ヲ交付ス
- 二、補助金ハ道府縣ニ於テ設置スル職員ニシテ青年學校教育ニ從事スベキ社會教育主事補ノ俸給ニ對シ交付スルモノトス
- 三、道府縣ハ申請書ニ左ニ掲グル書類ヲ添附シ毎年二月末日迄ニ文部大臣ニ之ヲ提出スルコト

- 一 補助ヲ受ケントスル員數
- 二 收支豫算書

- 四、補助金ノ交付ヲ受ケタル後第三ノ書類ニ記載シタル事項ニ變更ヲ加ヘントスルトキハ文部大臣ノ認可ヲ受クルコト
- 五、道府縣知事ハ收支決算書ヲ翌年度六月三十日迄ニ文部大臣ニ提出スルコト
- 六、本要項ノ規定及補助金ノ交付條件ニ違反シタル場合ニ於テハ其ノ全部又ハ一部ノ還付ヲ命ズルコトアルコト

○工場事業場技能者養成令ニ基ク技能者ノ養成ト青年學校教育トノ關係ニ關スル件

(昭和十四年四月四日 各地方長官へ厚生、文部兩次官通牒) 厚生省發職第二八號 各地方長官、各地方監督局長

今般國家總動員法第二十二條ノ規定ニ基キ制定公布セラレタル工場事業場技能者養成令ニ依ル技能者養成ハ青年學校ノ教育ト關係スルコト密接ナル處右兩者ノ關係ニ付テハ左記事項ニ留意シ指導監督其ノ宜シキヲ制シ以テ本制度ノ施行運用上遺憾ナキヲ期セラレ度

記

- 一 養成工ハ令第四條第四項ノ規定ニ依リ養成開始ノ際原則トシテ年齢十四年以上十七年未滿ノ男子ニシテ修業年限二年ノ高等小學校ヲ卒業シ若ハ青年學校普通科ノ課程ヲ修了シ又ハ文部大臣ニ於テ之ト同等以上ノ學力ヲ有スト認メタルモノナルコトヲ要スルヲ以テ青年學校ノ本科ノ教育義務制ガ實施セラルル(昭和十六年度ヨリ實施セラルル見込)ニ於テハ養成工ノ年齢ニ該當スル者ハ原則トシテ青年學校本科ニ就學スベキ義務ヲ負フコトトナルベキモ養成令ニ依ル養成工ニ付テハ養成中ノ當該期間青年學校ノ修身及公民科、普通學科及職業科ノ課程ヲ修ムル義務ヲ免除セラレ爾後ノ青年學校ノ學年ニ於テハ青年學校ノ普通學科及職業科ノ課程ヲ修ムル義務ヲ免除セラルル見込ナルコト
- 二 事業主ニ於テ養成計畫ノ認可ニ關シ工場又ハ事業場ニ設置スル青年學校等ニ於テ本令ニ依ル養成ノ全部又ハ一部ヲ行フコトヲ申請セル場合ニ於テハ其ノ學校ニ於ケル課程ガ養成令ニ基ク課程ヲ充足シ且技能者養成上支障ナシト認メララルトキハ之ヲ認可スルコト
- 前項ニ依リ青年學校ニ於テ工場事業場技能者養成令ニ基ク養成ヲ行フモノニ付テハ青年學校トシテハ學務部工場事業場技能者養成令ニ依ル養成施設トシテハ警察部ヲシテ監督指導ニ當ラシムルコト
- 三 青年學校ニ於テ養成令ニ基ク課程ヲ修ムル養成工ニ對シテハ青年學校ノ普通學科及職業科ノ課程ハ養成期間終了後ノ青年學校ノ學年ニ付テハ青年學校教育義務制實施後ト雖モ之ヲ課セラレザル見込ナルコト
- 四 一ニ基キ青年學校等ニ於テ養成令ニ基ク養成ヲ行フ場合其ノ監督及指導ニ付テハ關係部課ト連絡ヲ密ニシ又互扞格スルコトナキ様留意スルコト

尙養成令ニ基ク養成工ノ徳性涵養及養成工ニ授クヘキ學科ノ種目並ニ授業時數等ニ關シテハ左ノ各項ニ留意シ指導監督ニ遺憾ナキヲ期セラレ度

一 養成工ノ徳性涵養

養成工ノ徳性涵養ニ付テハ修身及公民ノ科目ヲ置カシメ其ノ教授訓練ヲ通ジテ之ヲ行ハシムルコト修身及公民科ノ教授要目ハ青年學校ノ修身及公民科ノ教授及訓練要目ニ準據シテ之ヲ定メシムルコト

二 養成工ニ授クベキ學科ノ種目及其ノ種目別授業時數

(一) 養成工ニ授クヘキ學科ノ種目

養成工ニ授クヘキ學科ノ種目ハ普通學科ト工業學科トニ分ツコト

(二) 普通學科ノ教授科目

普通學科ノ教授科目ハ國語、國史、數學及理科(物理及化學)トシ必要ニ應シ地理、英語ヲ加フルコトヲ得ルコト但シ國語及國史ハ毎年之ヲ課セシムルコト  
前項ノ各教授科目ハ適宜之ヲ分合シ得ルコト  
普通學科ノ各教授科目ノ教授要目ハ成ルベク青年學校ノ普通學科ノ教授及訓練要目ヲ參酌シテ定メシムルコト

(三) 工業學科ノ教授科目

工業學科ノ教授科目ハ製圖、機械ノ要素、電氣工學、材料、專門機械工學、力學、機械工作法、專門作業法及工

業要項トシ必要ニ應ジ其ノ他ノ科目ヲ加フルコトヲ得ルコト  
 前項ノ各教授科目ハ工場、事業場ノ状況及養成職種ニ依リ適宜之ヲ分合シ得ルコト  
 各教授科目ノ教授要目ハ養成計畫中ニ記載スルコトヲ要セザルモ成ルベク左例ニ準據シテ之ヲ定ムルコト但シ養成職種ニ依リ精粗其ノ取扱ヲ適切ニシ得ルコト

工業學科教授要目ノ例

旋盤工、仕上工ノ工業學科教授要目

科目	教授要目
製圖	投象圖、機械製圖法、機械ノ要素ノ畫法、簡單ナル機械ノ見取、讀圖練習、其ノ他
機械ノ要素	機械ノ意義、工業ト機械、機械製作ノ要旨、部分品類、動力傳導裝置、其ノ他
電氣工學	電氣單位、電氣回路、電氣計器及測定、導體抵抗體及抵抗器、絕緣材料、磁石、直流電動機ノ構造、特性及取扱、交流電動機ノ構造、特性及取扱、三相交流電動機ノ特性及運轉法、配電盤及電氣機械ノ故障ト其ノ處理、其ノ他
材料學	鐵及鋼、非鐵金屬、非金屬材料、燃料減磨劑、其ノ他
力學	速度及加速度、力、力ノ圖示法、力ノ合成及分解、回轉速度及トルク、質量及重量、重心、摩擦、仕事、馬力及ワット、應力及歪、應力ノ種類、應力歪線圖、彈性及彈性界限、破壊應力ト安全係數並ニ使用應力、機械部品ノ大サノ決定、其ノ他
機械工作法	鑄造、鍛造、熱處理、熔接、製罐、手仕上、機械仕上、限界ゲージ、刃具及工具検査、其ノ他
工業要項	安全教育、工場常識、工場組織、工數見積、工程管理、工場法、作業研究、元價計算、其ノ他
專門機械工學	工場事業場ノ製品ニ應シ適宜定ムルコト(例ヘハ内燃機圖、工作機械等)
專門作業法	養成職種ニ應シ適宜定ムルコト(例ヘバ旋盤作業法、仕上法等)

(四) 授業時數

各教授科目ノ授業時數ハ第一號表ノ時數以上ニ於テ之ヲ定ムルコト但シ普通學科ノ各教授科目間及工業學科ノ各教授科目間ノ授業時數ハ工場事業場ノ状況及養成職種ニ應シ適當ニ増減スルコトヲ得ルコト  
 施行規則第十條第二項ノ規定ニ依リ授業時數ヲ五百五十時間迄短縮スルコトヲ認可セラレタル工場事業場ニ在リテハ第二號表ノ時數以上ニ於テ之ヲ定ムルコト但シ普通學科ノ各教授科目間及工業學科ノ各教授科目間ノ授業時數ハ工場事業場ノ状況及養成職種ニ應シ適當ニ増減スルコトヲ得ルコト

第一號表

學科	科目	時數
普通學科	國語	(一)二〇
	算術	五〇(二)一五
	理科	(三)一五
	歴史	(一)二〇
	公民	五〇(二)一五
計	英語	七〇
	算術	五〇
	理科	二二〇

第二號表

學科	科目	時數
普通學科	國語	(一)二〇
	算術	五〇(二)一五
	理科	(三)一五
	歴史	(一)二〇
	公民	四五(二)一五
計	英語	六五
	算術	四〇
	理科	二〇〇

工業學科	製 造 業							合 計
	製 造ノ要素	電 氣 工 學	材 料	力 學	機 械 工 作 法	工 業 要 項	專 門 機 械 工 學	
	七〇	五〇	四〇	四五	五〇	三五	八〇	七二〇
	計	計	計	計	計	計	計	計

(括弧内ノ算用数字ハ年度ヲ示ス)

○青年學校生徒等ノ教授及訓練ノ取扱ニ關スル件

今般青年學校生徒ニシテ興亞青年勤勞報國隊員トシテ選拔派遣セラルル者ニ對シテハ現地ニ於テ大略別紙寫ノ如キ訓練ヲ施ス豫定ナルヲ以テ其ノ教育訓練ノ效果ヲ斟酌シ右生徒ノ居住地出發ヨリ歸郷ニ至ル迄ノ期間ニ配當セラレタル當該生徒ノ受クベキ教授及訓練ハ之ヲ履修シタルモノトシテ取扱ハシムベキモノトシ此ノ場合ニ在リテハ青年學校手帳備考欄ニ其ノ旨明記セシメラルル様致度尙本人ニ對シテハ出發ニ先チ派遣期間中ト雖モ現地ノ情況ニ應ジ努メテ自學自習ヲ怠ルコトナキヤウ

(昭和十四年六月九日各地方廳へ社會教育局通牒)  
發社一九〇號

工業學科	製 造 業							合 計
	製 造ノ要素	電 氣 工 學	材 料	力 學	機 械 工 作 法	工 業 要 項	專 門 機 械 工 學	
	六〇	三〇	三〇	四〇	四〇	一〇	五〇	五五〇
	計	計	計	計	計	計	計	計

特ニ訓諭セシメラレ度青年學校教員養成所生徒ニ付テモ右ニ準ジ所長ニ於テ可然取扱ハシムルヤウ致度

滿洲建設勤勞奉仕隊輔導要領

一 輔導方針

- 一、滿洲建國精神ノ眞髓ヲ把握セシメ、日滿不可分關係特ニ共同防衛ノ認識ヲ深カラシメ民族協和ノ中核タルノ規範ヲ實踐セシム
- 二、嚴格ナル規律ト秩序アル團體的訓練ヲナシ日滿青年學生生徒トシテノ襟度並ニ熾烈ナル國家觀念ヲ涵養ス
- 三、神聖ナル勤勞ノ眞ノ價値ヲ體認セシムルト共ニ勤勞奉仕ヲ通シテ心身ノ鍛鍊陶冶ヲナス

二 輔導要領

一、日課表ノ作製

次表日課標準案ヲ指示シ當該奉仕隊主任者ハ現地開拓團長其ノ他ト協議ノ上實行案ヲ作成ス

勤勞奉仕隊日課標準案

課 別	時 期	摘 要
起 床	五、三〇	喪、清掃、整頓
朝 行 事	六、〇〇 六、五〇	點呼、禮拜、體操、唱歌、訓話、簡單ナル作業
朝 食	七、〇〇	
課 業	一、八、〇〇 一、三、〇〇	作業
食 食	二、〇〇	食後午睡

課	二、三〇〇	作業、水、土曜ハ講話、又ハ軍事教練
夕行	六、四〇	夕拜、共同反省、禮拝
入浴、夕食	七、二〇〇	
自習	八、三〇	研究会、座談會等ヲ開催ス
點呼、消燈	九、三〇〇	

二、週間行事表ノ作製

- (イ) 通常日ハ日課表ニ依ル
  - (ロ) 水、土曜日ノ午後ハ講話又ハ軍事教練トシ講話ハ日滿兩國官民補綴者ニ之ヲ依頼シ教練ハ指導員之ニ當ル
  - (ハ) 休日ニハ附近ノ遠足ヲ兼ネ見學ヲナサシム
  - (ニ) 祝祭日ハ嚴肅ナル儀式ヲ以テ課業ニ代フ
- 三、内務ノ指導監督ノ指針
- (イ) 勅諭勅語ノ趣旨ヲ銘肝セシムルコト
  - (ロ) 敬神ノ念ヲ涵養セシムルコト
  - (ハ) 點呼ヲ嚴格ニ行フコト
  - (ニ) 服装並ニ敬禮、態度、言語等ハ凡テ心ノ表現ト心得シムルコト
  - (ホ) 衛生ニハ特ニ各自自發的ニ注意セシムルコト
  - (ヘ) 入浴ハ衛生ヲ旨トシ、公德心ニ則ラシムルコト

- (ト) 食事ハ善良ナル饗ヲ主トス
- (チ) 屋舎内外ノ清潔、整頓、美化並ニ諸物品ノ整守ニ留意セシムルコト
- (リ) 火元ノ取締リヲ嚴重ニスルコト
- (ヌ) 衛兵勤勞及不寝番勤務ハ職責觀念ノ養成ヲ主トシテ爲サシムルコト
- (ル) 私的制裁ヲ嚴禁スルコト
- (ワ) 貴重品ノ取扱ヒニ注意スルコト
- (ヰ) 總テ勤務ハ當番制トスルコト

四、勤勞率仕隊手帳

- (イ) 率仕隊参加ノ記念トナル如ク編輯スルコト
- (ロ) ボケツト入堅牢ニ裝幀ス
- (ハ) 手帳ニハ別項ノ事項ヲ編輯ス

五、作業

- (イ) 各率仕隊指導者ノ人的要素ヲ強化スル爲ニ滿洲側ニ於テ各隊ノ主任ニ對スル援助者ヲ一名附ス單位ハ概ネ隊員四〇名ニ一名ノ制トス
  - (ロ) 隊ノ編成ハ一二〇名ヲ一ケ中隊トシ四〇名ノ小隊ニ分編ス
  - (ハ) 隊メ隊員ノ體力特技等ヲ調査シ同類分組ス
- 六、作業指導上特ニ留意スベキ點左ノ如シ

(イ) 勤勞作業ハ常ニ無言ヲ以テシ、行三昧ノ境地ニ迄到達セシメ、飽クマデ勤勞ヲ通シテ腹ヲ練リ心ヲ鍛ヘル如ク指導ス

(ロ) 學ノ指導ニ當リテハ特ニ作業ヲ輕蔑セス怖レズ困苦ニ耐ヘルガ如キ態度ヲ養成ス  
七、作業狀況ノ調査

(イ) 中央、省、縣實踐部員ハ作業地ヲ巡回シ作業狀況ノ調査ヲナス

(ロ) 時期ハ一般青年學生ヲ通シ隊員ノ作業期間ノ半以後、終末以前トス

(ハ) 調査要項ハ物心兩面トシ一定ノ調査用紙ヲ作成シ之ニ記入スルモノトス

(ニ) 調査ノ成績ハ中央實踐本部ニ於テ統括スルモノトス

八、ラヂオニヨル指導

時宜ニヨリ中央實踐本部ヨリ現地ニ對シラヂオニテ指導ス

○青年學校生徒ノ教授及訓練ノ取扱ニ關スル件

(昭和十四年十二月二十八日 發社三九二號 各地方廳へ社會教育局通牒)

時局下青年學校ニ於テ集團勤勞作業ニ参加スル場合ニ於テ之ニ從事セシメタル生徒ノ青年學校ニ於ケル教授及訓練時數ノ取扱方ニ關シテハ左記ニ依リ御處理相成様致度此段通牒ス

追テ集團勤勞作業行事標準添付致シタルニ付參考セラレ度申添フ

記

一、事業ハ國家的の公共的ノモノニシテ地方長官ニ於テ青年學校生徒ノ教育上適切ナル奉仕作業トシテ選定シタルモノナルコト

二、作業實施ニ當リテハ指導要項ヲ定メ當該青年學校教員指導ノモトニ之ヲ行フコト、但シ特別ノ事情アル場合ニ在リテハ青年學校長ニ於テ適當ト認ムル他ノ指導者ヲ選ビテ指導ノ任ニ當ラシムルヲ得ルコト

三、作業實施當日ニ於ケル當該生徒ノ受クベキ教授及訓練科目及其ノ時數ハ之ヲ履修シタルモノトシテ取扱フコト

四、集團勤勞作業ニ從事シタル時數ヲ教授及訓練時數ト認メ得ル總時數ハ各科各學年ニ於ケル教授及訓練時數ノ五分ノ一ヲ超ユルヲ得ザルコト

集團勤勞作業行事標準

禮節規律ニ留意シ彌々盡忠報國ノ精神ヲ以テ心身ヲ鍛鍊シ集團的勤勞ニ依リ不撓不屈生成發展ノ氣魄ヲ培ヒテ實踐的精神教育ノ實ヲ擧グルコト

(一) 開始行事

一、集 合

一、點 呼

一、服装検査

一、宮城進拜

一、國旗掲揚

一、君ガ代奉唱

一、皇軍將兵武運長久祈願、戰役將兵ノ英雄感謝獻詞

一、訓 話

一、體操

- 一、作業任務ノ指示
- 一、器具、機材ノ配當
- 一、始業

(二) 終了行事

- 一、器具、機材ノ整頓點檢
- 一、集合
- 一、點呼
- 一、講評
- 一、青年學校ノ歌合唱
- 一、國旗降下
- 一、解散

備考

- 一、作業ノ種類ニ應ジ適當ニ休憩及矯正體操ヲ行フコト
- 二、晝食休憩時ニハ適當ニ吟詠、唱歌團體遊戲等ヲ行フコト

注意

- (イ) 敬禮、態度、言語等ハ端正ナルコト

- (ロ) 作業地往復途上ニ於ケル指導ヲ適切ナラシムルコト
- (ハ) 作業實施ニ當リテハ可成設計等ヲ行ハシメ研究的態度ヲ養成スルコト
- (ニ) 作業中ハ作業ニ必要ナル以外ハ無言ヲ本體トスルコト
- (ホ) 特ニ危害豫防ニ十分注意スルコト
- (ヘ) 合圖ハ「ラツペ」太鼓等ヲ用ヒ一齊ニ之ヲ行フコト
- (ト) 参加生徒ニ付テハ特ニ身體情況ヲ考慮スルコト

○改正青年學校令ノ施行ニ關スル件

(昭和十四年六月二十六日 各地方廳へ社會教育局通牒)

今般公布相成タル改正青年學校令及青年學校令施行規則ノ運用ニ就テハ左記各事項御了知ノ上御取扱相成度此段依命通牒ス

記

- 一 教授及訓練科目ノ一部ヲ課セザル場合ノ取扱ニ關スル事項
- (一) 青年學校令施行規則(以下規則ト稱ス)第五條第二號ノ規定ニ依リ地方長官ニ於テ青年學校令(以下令ト稱ス)第七條ニ規定スル施設ト認定シタル施設ニ於テ教育ヲ受クル生徒ニ對シテ課セザルコトヲ得ル教授及訓練科目ハ普通學科及職業科トスルコト
- (二) 規則第四條第二號又ハ第五條第二號ノ規定ニ依ル認定ハ認定ヲ受ケントスル關係施設又ハ當該施設ガ左ノ各號ニ掲グル條件ヲ具備スル場合ニ於テ之ヲ爲スヲ得ルコト
- (イ) 管理及維持ノ方法確實ナルコト



- (ロ) 當該施設ノ教員トシテ適當ト認メラルル相當員數ノ教員ヲ有スルコト
- (ハ) 相當ノ設備ヲ有スルコト

- (ニ) 規則第四條第二號ノ認定ニ在リテハ認定ヲ受ケントスル關係施設ノ課程ガ尋常小學校卒業程度ヲ以テ入學資格トスル修業年限四年以上、高等小學校卒業程度ヲ以テ入學資格トスル修業年限二年以上又ハ之ト同等以上ノモノニシテ各學年ニ付青年學校ニ於ケル普通學科ニ相當スベキ科目二百十時以上又ハ職業科ニ相當スベキ科目四百二十時以上ヲ課スルモノナルコト

規則第五條第二號ノ認定ニ在リテハ認定ヲ受ケントスル施設ノ課程ガ一學年ニ付青年學校ニ於ケル普通學科ニ相當スベキ科目百五十時以上又ハ職業科ニ相當スベキ科目二百十時以上ヲ課スルモノナルコト

- (三) 道府縣立ノ施設ニ付テハ管理者ニ於テ規則第六條ノ規定ニ準ジテ文部大臣ニ之ガ指定ヲ申請スルコト

二 教授及訓練ノ一部ヲ他ノ青年學校ニ於テ受ケシムル場合ノ取扱ニ關スル事項

- (一) 規則第二十條ノ規定ニ依リ他ノ青年學校ニ於テ教授及訓練ヲ受ケシムル場合ニハ學校長ハ其ノ青年學校ノ學校長ニ文書ヲ以テ其ノ旨ヲ申入レ且當該生徒ノ青年學校手帳ニ出席情況其ノ他必要ナル事項ヲ記入證明スルコト

- (二) (一)ノ申入ヲ受ケタル青年學校ノ學校長ハ特別ノ事情アル場合ノ外其ノ申入ニ應ジ當該生徒ニ對シテ適當ナル教授及訓練ヲ爲シ滞留地ノ青年學校ニ在リテハ教授及訓練ヲ終了シタルトキ、其ノ他ノ學校ニ在リテハ適當ノ時期ニ於テ在籍學校ニ生徒ノ出席情況其ノ他必要ナル事項ヲ記載シタル書類ヲ送付シ且當該生徒ノ青年學校手帳ニ出席時數其ノ他必要ナル事項ヲ記入證明スルコト

- (三) 在籍學校ノ學校長ハ他ノ學校ニ於テ當該生徒ニ爲シタル教授及訓練ヲ以テ其ノ學校ニ於テ爲シタルモノト看做スコト

三 課程ノ修了及卒業ノ認定ニ關スル事項

- (一) 各學年ニ於テ規則第一條第一號表乃至第四號表ニ掲グル各學年ノ各教授及訓練科目ノ最低時數出席セザル者ニ對シテハ各學年ノ課程又ハ普通科若ハ本科ノ全課程ノ修了ヲ認メザルコト

前項ノ場合中途入學者ニ關シテハ入學シタル時ヲ基準トシ其ノ以後ニ配當シタル時數ニ依ルヲ得ルコト但シ就學ヲ猶豫セラレタル者就學スルニ至リタルトキハ此ノ限ニ在ラザルコト

前二項ノ場合ニ於テ令第七條又ハ第八條ノ規定ニ依リ教授及訓練科目ノ一部ヲ課セラレザル者ニ付テハ各其ノ限度ニ於テ減セラレタル時數トスルコト

- (二) 生徒ニシテ所定ノ教授及訓練ヲ受クルコトヲ得ザル者ニ對シテハ適當ナル時期ニ於テ之ヲ補充シ課程ノ修了ヲ認メ得ルコト

- (三) (一)及(二)ヲ學年ノ中途ニ於テ轉學シタル生徒ニ適用スル場合ニ於テハ其ノ轉學ノ前後ノ出席時數ヲ通算シタル時數ニ依ルコト但シ轉學ノ時期、當該學校ノ施設等ノ爲(一)及(二)ニ依リ課程ノ修了ヲ認メ難キ場合ハ學校長ニ於テ適當ト認ムルトキニ限り課程ノ修了ヲ認メ得ルコト

四 義務就學者ノ就學ニ關スル事項

- (一) 令第十四條ノ規定ニ依リ瘋癲白痴不具癱疾又ハ病弱以外ノ事由ニ因リ就學ヲ免除又ハ猶豫スルハ義務就學者ガ航海遠洋漁撈ニ従事スルトキ等主トシテ職業上已ムヲ得ザル場合ニ限ルコト

- (二) 昭和十年發社八六號通牒八轉學ノ取扱ニ關スル事項中(一)ノ第二項及(二)ハ義務就學者ニ關シテハ之ヲ適用セザルコト

五 義務課程ニ關スル事項

- (一) 義務課程履修ノ爲出席スベキ日及時刻ヲ定ムルニ當リテハ左ノ各號ニ留意スルコト
- (イ) 生徒ノ實際生活ヲ考慮シ地方ノ實情ニ適應セシメ出席ニ便ナル時期及時刻ヲ選ブコト
- (ロ) 工場法、鑛業法ニ基キテ發スル命令又ハ商店法中ニ規定スル休日ニ於テハ成ルベク教授及訓練ヲ避クルコト但シ體位向上ニ資スルモノニ在リテハ此ノ限ニ在ラザルコト
- (二) 義務課程ニ於ケル教授及訓練時數ノ算定ハ一日ノ教授及訓練ノ實時間數ニ依ルコト 但シ當該學校ニ於ケル休憩時間(食事及食後ノ休憩時間ハ之ヲ除ク)並ニ所定ノ集禮アル場合ハ其ノ時間ハ之ヲ算入スルコト
- (三) 教練科ノ教授及訓練ハ別段ノ指示アルモノヲ除クノ外一日ニ付四時間ヲ超エテ爲シタル場合ニ於テモ生徒ノ修得時數ハ四時間ト看做スコト
- (四) 義務就學者青年學校ニ就學後左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ學校長ハ義務課程履修ノ爲出席スベキ日及時刻又ハ之ガ變更ノ通知ヲ爲スニ當リ其ノ旨ヲ明瞭ナラシムルコト
  - (イ) 令第七條又ハ第八條ノ規定ニ依リ教授及訓練科目ノ一部ヲ課セラレザルトキ
  - (ロ) 令第九條ノ規定ニ依リ出席ヲ停止セラレタルトキ
  - (ハ) 令第十四條又ハ第二十七條第三項ノ規定ニ依リ就學ヲ免除又ハ猶豫セラレタルトキ
  - (ニ) 令第十五條ノ規定ニ依リ青年學校以外ノ施設ニ於テ青年學校ノ課程ト同等以上ト認ムル課程ヲ修ムルコトトナリタルトキ
- (ホ) 規則第十六條ノ規定ニ依リ學校ニ於テ臨時休業ヲ爲シタルトキ

六 青年學校ノ課程ト同等以上ト認メラルベキ課程ノ認定ニ關スル事項

- (一) 規則第三十二條第二號ノ認定ハ認定セントスル課程ニシテ一年ニ付規則第三十三條第二項ノ條件ヲ具備シ且一ノ(二)ノ(イ)、(ロ)及(ハ)ノ各號ニ該當スル場合ニ於テ之ヲ爲スヲ得ルコト
- (二) 道府縣立ノ施設ニ付テハ管理者ニ於テ規則第三十三條第一項ノ規定ニ準ジ文部大臣ニ之ガ指定ヲ申請スルコト

七 教授及訓練時刻ニ關スル事項

規則第十三條第二項ノ規定ノ適用ニ當リテハ午後十時ヲ過ルル教授及訓練ハ之ヲ認可セザルコト

八 専任教員ノ他ノ學校兼務ニ關スル事項

専任教員ヲシテ已ムヲ得ザル事由ニ依リ青年學校以外ノ學校ノ教員ヲ兼務セシムル場合ニ在リテハ其ノ兼務時數ヲ適當ニ制限スルコト

九 私立青年學校ノ學校長及教員ニ關スル事項

- (一) 私立青年學校ニ於テハ學校長ヲ定メテ地方長官ノ認可ヲ受クベキコト(私立學校令第三條)
  - (二) 私立青年學校ニ於テハ成ルベク生徒數ニ應ジ相當員數ノ専任教員ヲ置カシムルコト
  - (三) 私立青年學校ニ於テ教員ヲ採用スル場合ニハ成ルベク青年學校教員タルコトヲ得ル資格ヲ有スル者ヲ採用シ地方長官ニ之ヲ開申セシムルコト
- 私立青年學校ニ於テ青年學校ノ教員タルコトヲ得ル資格ヲ有セザル者ヲ教員トシテ採用スル場合ニハ地方長官ノ認可ヲ受ケシムルコト(青年學校教員資格規程第四條)
- 前項ノ認可ハ當該學校在職間有效ナルコト

(四) 私立青年學校ノ教員ノ名稱ハ公立青年學校ニ準ジ教諭、助教諭、指導員等ノ名稱ヲ使用セシムルコト  
 十 學校ノ設置等ニ關スル事項

(一) 青年學校ヲ設置スルコトヲ得ル私人ハ個人及法人トスルコト

(二) 法人ニ非ザル社團ニシテ青年學校ヲ設置シ得ルモノハ明治十七年農商務省違同業組合準則ニ依ル同業組合並ニ商工會等トスルコト

(三) 學校ノ設置ニ關スル認可ノ申請ニハ市町村學校組合、町村學校組合又ハ町村制ヲ施行セザル地域ニ於ケル之ニ準ズベキモノノ設置ニ係ルモノニ在リテハ組合規約ヲ、商工會議所、農會其ノ他之ニ準ズベキ公共團體(水産會等)ノ設置ニ係ルモノニ在リテハ定款又ハ會則等ヲ、私人ノ設置ニ係ルモノニ在リテハ履歷書定款又ハ寄附行爲ヲ、法人ニ非ザル社團ノ設置ニ係ルモノニ在リテハ社團ノ規則、代表者ノ履歷書及代表者タルコトノ公ノ證明書ヲ添附セシムルコト  
 學校ノ設置者ノ變更ノ場合モ亦前項ニ準ジテ之ヲ取扱フコト

十一 分教場ニ關スル事項

(一) 分教場ハ交通、職業等ノ關係上必要アル場合ニ之ヲ設クルコト

(二) 令第二十四條ノ規定ニ依リ設置スル學校ノ分教場ヲ除クノ外分教場ヲ設ケタルトキ又ハ之ヲ廢止シタルトキハ其ノ事由ヲ具シ監督官廳ニ開申スルコト但シ此ノ場合監督官廳ニ於テ必要アリト認ムルトキハ別段ノ定ヲ爲スコトヲ得ルコト

十二 授業料ニ關スル事項

授業料ヲ徵收スルヲ得ルハ教授及訓練時數ノ多キ課程ノモノニ限り義務課程ノ時數程度ノモノニ在リテハ之ヲ徵收セシメザルコト

十三 學務委員ニ關スル事項

(一) 公民ヨリ出ヅル學務委員ハ成ルベク商工會議所、農會其ノ他ノ産業團體、青年團其ノ他ノ社會教育團體又ハ在郷軍人會ノ役職員、方面委員、社會教育委員其ノ他青年學校ノ學務委員トシテ適當ナル者ノ中ヨリ之ヲ經衛スルコト

(二) 學務委員ノ員數ハ人口五十萬未滿ノ市及町村ニ在リテハ十五人以内、人口五十萬以上二百萬未滿ノ市ニ在リテハ二十人以内、人口二百萬以上ノ市ニ在リテハ三十人以上ヲ標準トシテ土地ノ情況ニ依リ適宜之ヲ定ムルコト市町村學校組合及町村學校組合ノ學務委員ノ員數ハ其ノ組合市町村ノ合計人口ニ依リ右ニ準ジ定ムルコト  
 學區ノ學務委員ノ員數ハ十人以上トシ土地ノ情況ニ依リ適宜之ヲ定ムルコト

十四 青年學校手帳ニ關スル事項

青年學校手帳ハ義務就學者ニ對シテハ成ルベク市町村又ハ青年學校等ニ於テ無償ヲ以テ交付スル方法ヲ講ズルコト  
 進而昭和十年發社八六號通牒青年學校ニ關スル件中

三 學校ノ設置等ニ關スル事項

四 分教場ニ關スル事項

七 入學ノ取扱ニ關スル事項

九 教授及訓練ノ委託ノ取扱ニ關スル事項

十 課程ノ修了及卒業ノ認定等ニ關スル事項

十一 教科書ノ使用ニ關スル事項

十五 私立青年學校ノ學校長及教員ニ關スル事項

十九 青年學校手帳ニ關スル事項

ハ改正青年學校令、青年學校令施行規則並ニ本通牒ニ依リ消滅シタルモノニ付爲念申添フ

○青年學校學籍簿ノ様式改正ノ件

(昭和十四年八月三十一日各地方廳へ社會教育局通牒)  
發社 二八六號

今般文部省告示第三百九十二號ヲ以テ青年學校學籍簿ノ様式改正相成タル處本件ハ曩ニ公布セラレタル改正青年學校令及同令施行規則ノ制定ニ基クモノニシテ本様式ノ注意事項ノ外各欄ノ取扱ニ關シテハ左記各項御了知ノ上記入及整理上遺憾ナキヲ期セシメラレ度此段通牒ス

追テ本學籍簿ハ昭和十四年度ニ於テハ普通科第一學年生徒ニ付使用セシメ逐次學年ヲ逐ツテ使用セシムルモ差支無之而シテ從前ノ學籍簿ヲ使用スル場合ハ改正様式ニ準ジ適宜訂正ノ上使用セシメラレ度尙紙質及大サニ付テハ道府縣若ハ當該學校ニ於テ適宜相定差支無之

記

- 一、保護者、代理人及使用者ノ欄ハ就學並ニ義務課程履修ニ關スル事務ノ圓滑ナル處理ヲ期スル趣旨ニ出テタルモノナルコト
- 二、修了又ハ卒業ノ認定欄ハ各學年ノ課程修了ノ制度ヲ定メタルニ依ルモノナルコト
- 三、身體情況欄ヲ削除シタルハ學校身體檢查規程ニ依ル身體檢查票トノ重複ヲ避ケシムルタメナルコト

以上

○青年學校手帳ノ様式改正ノ件

(昭和十四年九月四日各地方廳へ社會教育局通牒)  
發社 二五三號

今般文部省告示第四百三號ヲ以テ青年學校手帳ノ様式改正相成タル處本件ハ青年學校令施行規則第四十八條ノ規定ニ基クモノニシテ之カ使用ニ關シテハ昭和十四年度ニ於ケル普通科第一學年生徒ヨリ使用セシメ現ニ從前ノ青年學校手帳ヲ所持スル者ニ對シテハ改正様式ニ準シテ適宜訂正ノ上使用セシムルモ差支無之ニ付御了知相成度

○壯丁教育調査要項中改正ニ關スル件

(昭和十四年三月十四日各地方長官へ文部次官通牒)  
發社 九〇號

昭和十二年三月二十四日發社五〇號文部次官通牒ニ依ル標記要項中別紙ノ通り一部改正致スコトト相成タルニ付昭和十四年度以降之ニ據ツテ實施相成度

尙今般改正相成タル「壯丁ノ居住地調査」ハ壯丁ノ居住地ト壯丁ノ學力等トノ關係ヲ知ラントスルモノニシテ一般教育特ニ青年教育上有力ナル參考資料タルベキニ付調査委員及調査事務者ヲシテ其ノ取扱ニ遺憾ナキヲ期セシメラレ度此段通牒ス

(昭和十二年三月二十四日發社五〇號)  
文部 次官 通牒

改正 昭和十三年發社六二號

一、目的

本調査ハ徵兵検査ニ際シ壯丁ノ教育程度及學力情况等ヲ調査シ一般教育特ニ青年教育ノ改善進歩ニ資スルヲ以テ目的トス

二、調査ノ種別

本調査ハ之ヲ左ノ二種トス

1 一般調査

毎年全國ニ互リ實施ス

2 特別調査

臨時一定ノ地域ヲ限リ教育上特ニ必要ト認ムル事項ニ就テ實施ス

三、一般調査

1 調査事項

調査事項ハ左ノ五種トス

(一) 教育程度別人員調査

壯丁ノ教育程度ヲ左ノ十三種ニ分テ各該當人員ヲ調査ス

(1) 不就學

(2) 尋常小學校中途退學

(3) 尋常小學校卒業

(4) 高等小學校在學及中途退學

左ニ掲グルモノハ高等小學校在學及中途退學中ニ含マシム

(イ) 實業補習學校前期ヲ中途退學シタル者

(ロ) 青年學校普通科ニ在學スル者及青年學校普通科ヲ中途退學シタル者

(5) 青年學校普通科修了

實業補習學校前期ヲ修了シタル者ヲ含マシム

(6) 高等小學校卒業

(7) 青年學校本科在學及中途退學

實業補習學校後期ヲ中途退學シタル者ヲ含マシム(削除)

(8) 青年學校本科卒業

左ニ掲グルモノハ青年學校本科卒業中ニ含マシム(削除)

(イ) 實業補習學校後期ヲ卒業シタル者(削除)

(ロ) 青年學校研究科ニ在學スル者及青年學校研究科ヲ中途退學シタル者 (ヲ含マシム)(ハ) (ロ)ヲ削  
除)

(9) 青年學校研究科修了

(10) 中等學校在學及中途退學

實業學校「乙」ヲ卒業シタル者ヲ含マシム

(11) 中等學校卒業

專門學校(高等學校高等科、大學資料及實業專門學校ヲ含ム)ニ在學スル者及專門學校ヲ中途退學シ  
タル者ヲ含マシム

(12) 專門學校卒業

大學學部ニ在學スル者及大學學部ヲ中途退學シタル者ヲ含マシム

(13) 大學學部卒業

各種學校又ハ本種別中ニ掲ゲザル教育程度ノ者ニ關シテハ其ノ入學資格、修業年限、學科ノ程度等ニ從ヒテ適宜本種別中ノ該當教育程度ニ入ルモノトス

教育程度ノ種別中、中等學校卒業トアルハ尋常小學校卒業程度ヲ入學資格トスル修業年限五年、高等小學校卒業程度ヲ入學資格トスル修業年限三年又ハ之ト同等以上ノ學校トス  
實業學校「乙」ハ右程度以下ノ實業學校トス

(11) 學力調査

第一部(修身、公民科等)第二部(國語)第三部(數學)ニ關スル調査問題ヲ壯丁ニ課シテ解答ヲナサシメ其ノ結果ヲ左ノ八種ノ教育程度ニ從ヒテ調査ス 但シ教育程度別人員調査ノ(11)中等學校卒業以上ノモノニ對シテハ當分ノ内第二部(國語)及第三部(數學)ハ之ヲ調査セス

(1) 不就學

(2) 尋常小學校半途退學

(3) 尋常小學校卒業

教育程度別人員調査ノ(4)高等小學校在學及半途退學ヲ含ム

(4) 青年學校普通科修了

(5) 高等小學校卒業

教育程度別人員調査ノ(7)青年學校本科在學及半途退學ヲ含ム

(9) 青年學校本科卒業

教育程度別人員調査ノ(9)青年學校研究科修了ヲ含ム

(7) 中等學校在學及半途退學

(8) 中等學校卒業以上

教育程度別人員調査ノ(12)專門學校卒業及(13)大學學部卒業ヲ含ム

本調査ニ使用スベキ調査問題ハ本省ニ於テ之ヲ選定シ其ノ内容及形式ハ各道府縣ヲ通ジ之ヲ齊一ナラシムルモノトス

(三) 尋常小學校ヲ卒業セザル者ノ不就學及半途退學ノ原因別人員調査

壯丁中等小學校ヲ卒業セザル者ニ就キ其ノ不就學又ハ「又ハ」ラ「及」ニ改ム尋常小學校半途退學ノ原因ヲ左ノ八種ニ分チ各該當人員ヲ調査ス

(1) 瘋癲・白痴

(2) 不具・癩疾

(3) 病弱・發育不完全

(4) 學業不振・學校嫌忌

(5) 家業ノ手傳

(6) 雇傭・徒弟

(7) 出稼・乗船

(3) 其ノ他

(四) 壯丁ノ年齢調査

壯丁ノ年齢ヲ左ノ三種ニ分チテ之ヲ調査ス

(1) 當年適齡者

前年十二月一日ヨリ其ノ年十一月三十日迄ノ間ニ於テ年齢二十年ニ達スル者

(2) 適齡ヲ超エタル者

(3) 適齡ニ達セザル者

(五) 壯丁ノ居住關係調査(削除)

(五) 壯丁ノ現住地調査

中等學校卒業以上ノ者ヲ除ク壯丁ニ就キ壯丁ノ現住地(但シ徵兵検査ノ當日ニ於テ一年ニ充テタル時ハ前住地トス)ヲ調査ス

2 調査壯丁

本調査ヲ受クル者ハ徵兵署ニ於テ徵兵検査ヲ受クル壯丁全部ノ外徵兵署ニ於テ身體検査ノミヲ受クル兵役法施行令第七條ニ依ル現役志願者及陸軍戸山學校軍樂生徒志願者トス

3 調査事務

道府縣ノ本調査事務ハ社會教育事務主管課若クハ學校教育事務主管課ニ於テ之ヲ處理ス

各調査場ニ於ケル本調査事務ハ市教育事務職員、公立青年學校長、公立小學校長等ニ就キ調査委員トシテ委嘱シタル者ヲシテ之ヲ處理セシム。但シ公立ノ青年學校教員並ニ小學校教員ヲシテ調査委員ノ事務ヲ補助セシムルコトヲ得

道府縣ノ本調査事務者ハ各調査場ニ於ケル本調査實施ノ指導監督ニ任ズルモノトス

4 調査方法

(一) 調査日時

本調査ハ道府縣調査事務者ニ於テ徵兵官ト協議ノ上徵兵検査ノ當日徵兵検査ニ支障無キ時刻若クハ徵兵検査ノ前日適當ナル時刻ヲ選ビテ之ヲ實施スルモノトス

(二) 調査場

本調査ハ徵兵署開設ノ場所公立ノ青年學校並ニ小學校等ニ調査場ヲ設ケテ之ヲ實施スルモノトス

(三) 調査時間

調査ニ要スル時間ハ一時間以内トス

(四) 調査ノ實施及整理方法

調査事項中學力調査ハ壯丁ノ全部ヲ合シ又ハ之ヲ町村別ニ分チテ一齊ニ行フモノトス。但シ徵兵検査當日ノ調査ハ徵兵検査ノ都合ニ依リ各壯丁ニ對シ個々ニ行フコトヲ妨グズ

其ノ他ノ調査事項ハ各壯丁ヨリ直接聴取シ若クハ壯丁名簿ニ依リテ之ヲ調査スルモノトス

各調査場ニ於テ本調査ヲ實施シタル結果ハ之ヲ市(區)町村別ニ一括シ更ニ教育程度別ニ分類シテ整理ノ上

各調査事項ニ就キ之ヲ整理票「甲」及「乙」ニ記入スルモノトス

(1) 左ニ掲グル事項ハ整理票「甲」ニ記入スルモノトス

(イ) 教育程度別人員調査

(ロ) 尋常小學校ヲ卒業セザル者ノ不就學及中途退學ノ原因別人員調査

(ハ) 壯丁ノ年齢調査

(ニ) 壯丁ノ居住關係(「居住關係」ヲ「現住地」ニ改ム)調査

(2) 整理票「乙」ニ記入スベキ事項

學力調査ノ結果

調査ノ實施及整理ニ關シ注意スベキ事ノ細目ニ互ル事項竝ニ整理票「甲」及「乙」ハ本省ニ於テ毎年之ヲ定メ印刷ノ上道府縣ニ配付ス

5 調査上ノ注意

(一) 調査場ニ於テハ壯丁ヲシテ規律ヲ守ラシメ調査ハ之ヲ嚴正ニ實施スルモノトス

(二) 學力調査ニ於テハ其ノ教育調査タルノ本旨ニ鑑ミ壯丁ヲシテ學科試験等ト混同セシメザルヤウ留意スルコトヲ要シ且市町村別ノ調査ノ結果ハ之ヲ講評セザルモノトス

(三) 壯丁個人ノ學力調査ノ結果ハ之ヲ一般ニ發表スルコトヲ得ズ

(四) 學力調査ノ調査問題ハ全國ニ於ケル本調査ノ實施ヲ完了スル迄之ヲ外部ニ發表セザルヤウ特ニ留意スルコトヲ要ス

6 調査ノ報告

(五) 學力調査ノ解答紙ハ其ノ年十二月三十一日迄道府縣ニ於テ適宜之ヲ保管スルモノトス

(六) 道府縣ニ於テハ本調査ヲ實施シタル後徴兵検査ニ支障ナキ限り別ニ當該道府縣ニ於テ教育上必要ト認ムル事項ニ就キ調査ヲ行フコトヲ妨グズ

道府縣ニ於テハ本調査ノ結果ヲ左記ニヨリ整理シ調査済ノ分ヨリ逐次本省ニ報告スルモノトス

(一) 市ノ區域

東京市、京都市、大阪市、名古屋市、横濱市及神戸市ニアリテハ區ノ區域

(二) 郡ノ區域

北海道ニアリテハ支廳管内、東京府大島支廳管内・八丈支廳管内及小笠原支廳管内・島根縣隱岐支廳管内竝ニ長崎縣對馬支廳管内ニアリテハ當該管内

右ノ區域中特ニ本省ニ於テ指定シタルモノニ就テハ右調査ノ報告ノ外其ノ區域ノ學力調査問題解答紙ヲ送付スルモノトス

四、特別調査

特別調査ノ時期、調査地域、調査事項、調査方法等ハ其ノ都度別ニ之ヲ定ム

○文部省推薦圖書ノ周知徹底方ニ關スル件

優良ナル圖書ガ國民ノ思想、知識並ニ品性陶冶ニ寄與スルコト最モ大ニシテコレヲ廣ク世ニ推薦シ讀書ノ道シルベトナスコ

(昭和十四年七月十二日各地方廳へ社會教育局通牒) 發社二三三號



トハ社會教育上緊要ナルヲ以テ本省ニ於テハ既ニ昭和五年以來優良圖書ノ推薦ヲ行ヒ來リタル處時局下國民一般ガ一段ト讀書ヲ通ジテ教養ノ向上ヲ圖ルコトハ極メテ緊切ナルヲ以テ今回本省ニ於テハ從來ノ圖書推薦機構ニ全面的改革ヲ加フルト共ニ新ニ兒童圖書ノ推薦ノ方途ヲ講ジ各方面各分野ノ良書ヲ選擇シテ凡ユル讀書層ニ對シ讀書ノ指針ヲ示シ且ツコレガ周知方ニ就テハ官報、週報、新聞、ラヂオ、ボスタキ、各種團體機關誌ヲ利用スル等種々方途ヲ講ジツツアル次第ニ有之貴縣ニ於テモ右ノ趣旨ヲ體シ貴管下ノ圖書館、學校等ハ勿論總テノ方面ヘノ周知、利用ノ徹底方ニ關シ何分ノ御配慮相成様致度追テ今後ハ毎月推薦圖書ハ其ノ都度速報致スベキモ最近ノモノハ別紙ノ通ニ有之

(別紙ハ略ス)

○法人事務所ニ備フベキ表簿ニ關スル件

(昭和十四年八月十日學務課所管法人理事會專門學務局長通牒)

文部大臣ノ主管ニ屬スル法人ノ設立及監督ニ關スル規程第八條ニ依リ備フベキ表簿ハ左記事項參照ノ上整備セラレ度此般及通牒

記

- 一、寄附行爲原簿ヲ備ヘ左ノ事項ヲ明ニナシ置クコト
  - イ、寄附行爲中一部變更シタルトキハ其ノ新舊規定
  - ロ、理事會評議員會等ノ議決年月日
  - ハ、主務官廳ノ認可年月日
- 二、職員ノ名簿ニハ左ノ事項ヲ記載スルコト
  - イ、職名及擔任事務

- ロ、住所氏名及生年月日
- ハ、給料又ハ手當
- ニ、就職退職ノ年月日(任期ノ定メアル者ハ選任及滿期ノ年月日)
- ホ、監督官廳ノ認可又ハ承認ヲ得タル者ニ付テハ其ノ年月日
- 三、職務日誌ニハ左ノ事項ヲ記載スルコト
  - イ、理事監事等ノ出務ノ狀況
  - ロ、會議又ハ重要事件ノ概況
  - ハ、重要事務處理ノ概況
- 四、決議録ニハ左ノ事項ヲ記載スルコト
  - イ、開會日時及場所
  - ロ、開會當時ノ役員總數
  - ハ、出席者及缺席者ノ氏名
  - ニ、議事ノ經過ノ要領及結果
  - ホ、表決數
  - ヘ、議長及署名委員ノ署名
- 五、收入簿、支出簿等ハ左ノ事項ヲ整備スルコト
  - イ、帳簿上ノ勘定科目ハ豫算科目ト一致スルコト







今般厚生省ニ於テ資源調査法第一條ノ規定ニ基キ勞務動態調査規則公布セラレタル處本調査ハ時局下緊迫セル勞務對策樹立ノ基礎資料ニ供スルモノナルニ依リ各官廳ニ於テモ右規則ニ準ジ調査相成度旨依頼有之タルニ付別冊調査提要御参照ノ上別紙様式ニ依リ御調査ノ上明年一月十五日迄ニ當課ニ到達スル様御回報相成度

追テ同封ノ調査票ハ正副二通御送付相成度尙病院、實驗所、研究所、演習林、其ノ他ノ分モ本部ノ分ト併セ御記入相成度尙本調査ハ毎年二回六月及十二月各月末現在ヲ以テ調査ノ上毎回翌月十五日迄ニ當課ニ御報告相成様致度ニ付爲念

○官吏ニシテ今次事變ニ關シ應召セラレ幹部候補生ヲ志願シ採用セラレタル者ノ取扱方

(昭和十四年一月二十三日 直轄各部へ秘書課通牒)

官吏ニシテ今次事變ニ關シ未教育補充兵トシテ應召セラレ陸軍補充令第五十三條ニ依リ幹部候補生ヲ志願シ採用セラレタル者ノ取扱方ニ關シ別紙ノ通り通牒有之タルニ付御了知相成度

(別紙)

(昭和十三年八月十八日 内閣第一〇五二號)

官吏ニシテ今次事變ニ關シ未教育補充兵トシテ應召セラレ陸軍補充令第五十三條ニ依リ幹部候補生ヲ志願シ採用セラレタル者ノ取扱方ニ關シ別紙甲號ノ通内務次官ヨリ照會有之乙號ノ通回答致置候間御了知相成度

(甲號)

(昭和十三年八月一日 丙第九八八號)

官吏ニシテ今次事變ニ關シ未教育補充兵トシテ應召セラレタル者ハ次官會議ノ申合ニヨリ可成現職ノ儘應召セシメ居リ候處

本年三月廿六日勅令第三百三十七號ヲ以テ改正セラレタル陸軍補充令第五十三條ニヨリ幹部候補生ヲ志願シ採用セラレタル者

ハ一應現職ヲ退職セシムベキヤ或ハ他トノ權衡モアリ可成現職ノ儘ニ差措クベキヤ聊カ疑義有之候ニ付此段及照會候也

(乙號)

(昭和十三年八月十八日 内閣第一〇五二號)

本月一日附丙第九八八號ヲ以テ官吏ニシテ今次事變ニ關シ未教育補充兵トシテ應召セラレ陸軍補充令第五十三條ニ依リ幹部候補生ヲ志願シ採用セラレタル者ノ取扱方ニ關シ御照會相成候處右ハ可成現職ノ儘ニ差措ク方次官會議ノ申合ニ適合スルモノト思料致候

○應召教員並短期現役兵タル教員ニシテ幹部候補生ニ採用セラレタル者ノ取扱ニ關スル件

(昭和十四年二月七日 各地方へ普通學務局通牒)

書記幹部候補生ハ小學校令施行規則第二百二十三條及公立學校職員分限令第八條第二項中ノ「陸海軍現役ニ服シタル者」ニ該當セザルニ付現職者トシテ御取扱相成度

○私立中等學校長及教員認可ニ關スル件

(昭和十四年二月八日 各地方へ普通學務局通牒)

私立學校令第五條ニ依リ私立ノ中學校、高等女學校、實業學校、盲、聾啞學校、兵役法施行令第一百條第三號ノ規定ニ依ル認定學校及專門學校入學者檢定規程ニ依ル指定學校ノ教員認可ヲ申請スル際ハ爾今左記様式ニ依リ當該學校ノ教員組織表ヲ添付セシメラレ度尙私立ノ中學校、高等女學校、實業學校及盲、聾啞學校ノ校長ノ解職ニ伴ヒ新ニ校長ヲ定メントスル認可申

請ニ際シテハ前任者ノ辭職願ノ寫又ハ解職ノ理由書ヲ添付スル機關係者ニ御示達相成度

記

教員免許狀 記載學科目	擔任學科目 及其每週受 持時數	最終卒業學 位稱號 及其他免許 狀受得事由	職 名	俸 給 額	就 職 年 月	專 任 兼 任 別	氏 名	生 年 月

○青年教育官ノ任用ニ關スル件

(昭和十四年十月四日 各地方長官へ文部次官通牒)  
發社三〇九號

青年學校教育義務制實施ニ伴ヒ本年度ヨリ新ニ道府縣廳ニ設置スル青年教育官ニ關スル勅令ハ近日公布セラルベキ見込ノ處  
今後之ガ任用方内ニ際シテハ豫メ本省ニ御打合相成様致度此段通牒ス

○應召教員並ニ短期現役兵タル教員ニシテ幹部候補生ニ採用セラレタル者ノ俸給支給方ニ關スル件

(昭和十四年三月八日 普通學務局通牒)  
新普一〇號 各地方廳へ秘書課通牒

今般新潟縣ヨリ標記ノ件ニ關シ甲號ノ通照會有之タルニ對シ乙號ノ通回答致シタルニ付御了知相成度

(甲號)

教員ニシテ幹部候補生ヲ志願採用セラレタル者ノ俸給支給方ニ關スル件

應召教員並短期現役兵タル教員ニシテ幹部候補生ヲ志願採用セラレタル者ノ身分ニ關シテハ昭和十四年二月七日附官普二

二三號ヲ以テ現職者トシテ取扱フ様通知有之タル處右ハ一般應召教員ト聊カ異ル點有之且昭和十四年一月三十日附藏第六  
號通牒ニヨル一般官吏トノ均衡上ソノ俸給ハ之ヲ支給セサルコトト致可然哉此點擬議有之候條此段及照會候也

(乙號)

二月二十四日學第三〇一號ヲ以テ標記ノ件ニ關シ御照會ノ趣了承右ハ公立學校職員俸給令第十條並ニ小學校令施行規則第百  
五十五條ニ依リ處理スヘキモノト御了知相成度

○恩給年額推定書交付ニ關スル件

(昭和十四年一月十三日 教學局、帝國、官立大學へ秘書課通牒)  
官 秘 一六三號

內閣恩給局ヨリ別紙寫ノ通り申越有之タルニ付御了知相成度

(寫)

(昭和十三年十二月二十日)  
恩 發 第一八一號

恩給金庫ガ恩給金庫法第十九條ノ規定ニ依リ裁定前ノ恩給ニ付貸付ヲ爲ス場合ニハ裁定廳若ハ最終經由廳ノ恩給年額推定書  
ヲ求ムルコトト相成居候ニ付內閣恩給局長ノ裁定スベキ恩給ニシテ右ノ推定書ヲ交付シタル場合ニハ恩給請求書送付書類表  
面ノ上部餘白ニ「推定書交付」ト朱書相成度候

○所得税免除ノ便宜上在米本邦官吏ノ姓名其ノ他米國國務省ニ通報方ノ件

(昭和十四年一月十八日 各局部課、督學官室、教學、秘書課通牒)  
官 秘 一六一號 局、直轄各部、各地方廳

所得税免除ノ便宜上在米本邦官吏ノ姓名其他米國國務省ニ通報方ノ件ニ關シ別紙寫ノ通り外務次官ヨリ通牒有之タルニ付御  
了知相成度



券ト共ニ新規旅券ヲ提示スルニ於テハ有効期間内無料ニテ査證ノ轉記ヲ受クルコトヲ得又英領馬來在留邦人ヨリノ家族呼寄ノ場合ニモ新手續ヲ適用セラルルニ付呼寄人ハ豫メ新嘉坡移民官ニ申告ノ上在本邦英國領事宛承認(Sanction)ヲ取付ケ置ク必要アルニ付右御了知ノ上可然御取計相成度此段申進ス

本信送付先 内閣書記官長、各省(宮内省ヲ含ム)次官、貴衆兩院書記官長、會計検査院長、行政裁判所長官、賞勳局  
總裁、法制局長官、樞密院書記官長、特許局長官

(昭和十四年六月八日  
米三普通合第二九四九號)

本件ニ關シ本月五日附米三普通合第二八八二號ヲ以テ申進置タル處右新手續ニ依リ英官憲ヨリ入國査證ヲ拒否セラレタル場合ニハ左記事項御取調ノ上御報告相成度此段申進ス

記

- 一、氏名
- 一、官職名
- 一、旅券ノ日附
- 一、査證ヲ拒否セラレタル事由
- 一、其他參考トナルヘキ事項

以上

本信送付先 内閣書記官長、内務、大藏、陸、海、司法、文部、農林、商工、通信、鐵道、拓務、厚生、宮内各次官、貴衆兩院書記官長、會計検査院長、行政裁判所長官、賞勳局總裁、法制局長官、樞密院書記官長、特許局

長官

○旅券査證ニ關スル件

(昭和十四年十二月二十一日 各局部課、醫學官室、教學局、直轄(秘書課通稱)官、一、九、五、號 各部、公立大學、專門學校、高等學校)

旅券査證ニ關スル件ニ付別紙寫ノ通外務次官ヨリ通牒有之タルニ付御了知相成度

(別紙)

(昭和十四年十二月十三日  
米三普通合第六二四七號)

從來本邦ト左記諸外國及其ノ領土トノ間ニハ旅券査證相互廢止ノ取極ニ依リ旅券ニ査證ヲ必要トセザリシ處今又歐洲戰爭開始ト共ニ査證制度復活セラレタル結果本邦人ニ對シテモ夫々旅券ニ査證ヲ必要トスルコトナリタルヲ以テ貴方關係公用旅券所持者ニシテ左記ニ赴ク場合ニハ夫々査證ヲ取付ラルル機致度ニ付右示達方御取計相煩度シ

記

- 「アイスランド」 白耳 蘭
- 「エストニア」 芬 蘭
- 瑞 典 諸 威
- 丁 抹 佛 蘭 西(佛領印度支那及委任統治地域ヲ含ム)
- 西 牙 「リヒランスタイン」
- 瑞 西 香 港



「ハンガリー」  
追テ貴省管下各關係學校ニ對シ夫々移牒方可然御取計相成様致度シ

○本邦銀行海外支店ニ於ケル圓紙幣買入抑制ニ關シ海外渡航者ニ注意方ノ件

(昭和十四年七月七日 各局部課、督學官室、教學局、直轄、公立大學、專門學校、高等學校、官 秘 八 九 號 各部、公立大學、專門學校、高等學校、(秘書課通牒))

本邦銀行海外支店ニ於ケル圓紙幣買入抑制ニ關シ海外渡航者ニ注意方ノ件ニ付別紙寫ノ通り外務次官ヨリ通牒有之タルニ付御了知相成度

(別 紙)

(昭和十四年六月二十四日 米三普通合第三二一八號)

曩ニ大藏省ヨリ別紙寫ノ通海外旅行者ニシテ圓紙幣ヲ携行セル爲各種支拂ニ支障ヲ來シ困窮セル事例甚タ多キ現狀ナルヲ以テ圓紙幣ノ携行ニ代ヘ信用狀或ハ爲替手形ヲ用フル様海外渡航者ニ周知方申越ノ次第アリタルニ付委細右ニテ御了知ノ上公用旅行者ニ對シ無漏右示達方可然御取計相成度此段申進ス

(別 紙)

本邦銀行海外支店ニ於ケル圓紙幣ノ買入抑制ニ關シ海外旅行者等ニ對スル周知方ニ付テハ豫テ御依頼致置候處現在猶海外ニ圓紙幣ヲ携行セル爲各種支拂ニ支障ヲ來シ困窮セル事例(別添参照)甚タ多キ實狀ニ有之候條貴局ニ於カレテモ旅券御下附其ノ他ノ場合ニ海外旅行者ニ對シ右ノ事情周知セシムルト共ニ圓紙幣ノ携行ニ代ヘ信用狀或ハ爲替手形ヲ用フル様御意趣相成候御取計相成度尙府縣廳、外地當局ニ對シテモ右ノ趣旨徹底方可然御配慮相煩度此段重而及御依頼候也

(別 紙)

○海外ニ於テ圓紙幣ノ兩替不能ニ依リ困窮セル實例

- 一、移民ニシテ海外諸港ニ於テ圓紙幣(今以テ百圓札ノ携帶者モアリ)ノ兩替不能ノ爲轉船再渡航出來ス立往生セルモノアリ
- 二、販路擴張出張員ニシテ携帶見本ノ税金支拂ニ窮シ目的ヲ果サス徒ラニ旅費倒レニ終レルモノアリ
- 三、海外ニ於ケル邦人經營「ホテル」モ圓ノ支拂ハ受領セサル建前ナリ而シテ昨今ノ旅客ハ齊シク兩替不能ノ圓紙幣ノ處分方法トシテ圓ノ支拂ヲ強要シ已ムナク受領セル「ホテル」業者ハ資金固定シテ手許不如意ニ陥リ居レリ
- 四、海外ニ於ケル邦人心付生活者ハ邦人客ヨリ例外ナク圓ヲ貰フ關係上生活上生活ニ窮シツツアリ
- 五、鑽石木材等積取ノ邦船々員ハ歸航手廻食料品等ノ買入不可能ニテ難澁シツツアリ

○部外ヨリノ照會ニ關スル取扱方ノ件

(昭和十四年十月十一日直轄各部長ヘ支那次官通牒) 發文 一五六號

最近部外ヨリノ直接學校等ニ對スル照會頃ニ加ハリシ處右ハ昭和五年六月二十日發專一〇八號ヲ以テ一部當該取扱方ニ關シ通牒セシ趣旨ニ依リ防牒上並機密漏洩防止上必要ナル事項又ハ輕易事項以外ハ一應本省ノ指揮ヲ承ケシメラレ度此段依命通牒ス

(別 紙)

駐日中華民國留學生監督文書發送ニ關スル件

(昭和五年六月二十日直轄各部長ヘ支那次官通牒) 發專 一〇八號

最近往々ニシテ駐日中華民國留學生監督ヨリ諸種案件交渉ヲ學校ニ發送致ス趣ナルガ監督ヨリ直接交渉ノ公文書往復ハ原則

トシテ之ヲ認メ得サルモノニ付爾後カカル場合ハ左記事項ヲ除クノ外ハ之レカ回答ヲ避ケラルル様致度此段通牒ス

記

- 一、從來入學願書ノ直接保送ヲ認メタル學校ニ對スル入學願書ノ保送ニ關スル事
- 一、學生生徒個々ノ學籍ノ有無ニ關スル事
- 一、學生生徒個々ノ出缺ニ關スル事
- 一、學生生徒個々ノ成績（一般他人ニ知ラシメテ差支ナキ範圍内ニ於テ）ニ關スル事
- 一、其ノ他學生生徒個々ニ關スル交渉事務ニ亙ラサル輕微ナル事項

○入學志願者ニ交付スベキ印刷物送付ノ件

（昭和十四年一月十二日 帝國大學、官公私立大學・高等學（專門學務局通牒）  
發 專 三 號 校・專門學校（實業專門學校ヲ除ク）

貴學（校）ニ於テ入學志願者ニ交付スベキ印刷物ハ爾今毎年其ノ都度各二部宛御送付相成度

○小學校ニ於ケル紙幣模造品使用禁止ノ件

（昭和十四年八月十四日 各地方廳へ普通學務局通牒）  
發 普 一〇 七 號

小學校兒童ノ紙幣偽造取締ニ關シ大正九年三月九日附內務省警保局長文部省普通學務局長連名ヲ以テ通牒シ置キタル處最近小學校算術練習用紙幣模寫品使用ノ詐欺事件發生シタルモノ有之學校ニ於テ紙幣模造品ヲ使用セシムルニ於テハ相當弊害ヲ生ズル虞アルニ付之ガ使用ヲ禁止スル様御取計相成度

○履備人ニシテ現職ノ儘應召中幹部候補生ヲ志願シタル場合ノ取扱方

（昭和十三年七月二十九日 教學局照會）  
庶 祕 三 七 號

今次事變ニ際シ履備人ニシテ現職ノ儘應召中ノ者志願ニヨリ幹部候補生ニ採用セラレタル場合本省ニ於テハ引續キ現職トシテ御取扱相成ヤ否ヤ御回示相煩度

右秘書課回答

（昭和十三年八月二十二日）  
教 學 三 六 號

本年七月二十八日附庶祕三七號ヲ以テ今次事變ニ際シ履備人ニシテ現職ノ儘應召中ノ者志願ニヨリ幹部候補生ニ採用セラレタル場合ノ取扱方ニ關シ御照會ノ處官吏ノ場合ニハ現職ノ儘トシテ差措ク方可然旨內閣ヨリ通牒有之タルニ付履備人ノ場合モ右ニ準シ御取扱相成様致度

○官廳刊行圖書目錄月刊トシテ發行ノ件

（昭和十三年六月九日 各局部課、教學局、直轄各部へ文書課通牒）  
官 文 一 七 九 號

官廳刊行圖書目錄ハ從來年四回內閣印刷局ニテ編纂發行ノトコロ來ル第四十五號ヨリ月刊ト改メラルルニ付爾今貴廳（校、所、會）刊行ノ圖書ニ關スル本圖書目錄ニ登載スベキ原稿正副二通（圖書一部添付）ヲ圖書刊行ノ都度御送付相成度  
追ツテ右原稿ハ其大サ區々ニ互リ取扱上困難ナルヲ以テ日本標準規格表A列五番型厚手用紙ニ漸次御一定相成度

○青年學校生徒ノ教授及訓練ノ取扱ニ關スル件

（昭和十四年十二月二十八日 各地方廳へ社會教育局長通牒）  
發 社 三 九 二 號

時局下青年學校ニ於テ集團勤勞作業ニ參加スル場合ニ於テ之ニ從事セシメタル生徒ノ青年學校ニ於ケル教授及訓練時數ノ取扱方ニ關シテハ左記ニ依リ御處理相成様致度此段通牒ス  
追テ集團勤勞作業行事標準添付致シタルニ付參考セラレ度申添フ

記

- 一、事業ハ國家的公共的ノモノニシテ地方長官ニ於テ青年學校生徒ノ教育上適切ナル奉仕作業トシテ選定シタルモノナルコト
- 二、作業實施ニ當リテハ指導要項ヲ定メ當該青年學校教員指導ノモトニ之ヲ行フコト、但シ特別ノ事情アル場合ニ在リテハ

青年學校長ニ於テ適當ト認ムル他ノ指導者ヲ選ビテ指導ノ任ニ當ラシムルヲ得ルコト

三、作業實施當日ニ於ケル當該生徒ノ受クベキ教授及訓練科目及其ノ時數ハ之ヲ履修シタルモノトシテ取扱フコト

四、集團勤勞作業ニ從事シタル時數ヲ教授及訓練時數ト認メ得ル總時數ハ各科各學年ニ於ケル教授及訓練時數ノ五分ノ一ヲ超ユルヲ得ザルコト

集團勤勞作業行事標準

禮節規律ニ留意シ彌々盡忠報國ノ精神ヲ以テ心身ヲ鍛鍊シ集團的勤勞ニ依リ不撓不屈生成發展ノ氣魄ヲ培ヒテ實踐的精神教育ノ實ヲ擧タルコト (以下略)

# 昭和十五年文部省例規

## ○學校生徒ノ木炭増産勤勞作業實施ニ關スル件

(昭和十五年一月十一日各地方長官へ教育調查部長通牒)

首題ノ件ニ付テハ曩ニ農林、文部兩次官連名通牒ノ次第モ有之タル處本作業ハ現下國家ノ喫緊ナル必要ニ寄與スルト共ニ實踐的精神教育ノ效果ヲ一層大ナラシムルモノアリト認メラルニ付テハ曩ニ本件ニ關スル協議會開催ノ際提示シタル別紙指示事項並注意事項ニ付特ニ御留意ノ上夫々適切ナル方途ヲ講ジ之ガ實績ヲ擧グルニ努メラレ度此段及通牒

追テ右實施ニ關スル計畫別紙樣式(第一號及第三號)ニ依リ作成シ來ル一月二十日迄ニ尙實施報告書ヲ別紙樣式(第二號及第四號)ニ依リ作成シ三月十日迄ニ各式通宛御提出相成度(樣式掲載略ス)

### 青年團員、學校生徒ノ木炭増産勤勞報國運動協議會指示事項 (文部省)

今般學校生徒ニ對シ木炭生産ノ作業ニ從事セシムルコトト相成リタルハ、現下國家ノ喫緊ナル必要ニ寄與スルト共ニ、斯カク作業ヲ通ジテ實踐的精神教育ノ效果ヲ一層大ナラシムルモノアリト認ムルニ依リ、各位ハ右ノ趣旨ヲ體シ教育訓練ノ精神ヲ重シ左ノ要項ニ基ツキ實施セシメラレ度

- 一、本作業ハ集團勤勞作業トシテ正科ニ準ジテ實施シ、必要ニ應ジ授業日數トシテ取扱ヒ得ルモノトス
- 一、本事業ノ經營ハ府縣之ニ當リ、學校ニ付テハ差當リ男子ノ中等學校生徒ヲ從事セシムルモノトス
- 一、作業ハ伐木、集材、築窯、製炭、製炭、包裝材料ノ調製及運搬等トス
- 一、作業ノ指導ハ技術的事項ニ關シ府縣ノ技術員等之ニ當ル、生徒ノ訓練指導其ノ他一般ニ互ル事項ニ就テハ學校長專ラ監

督ノ責ヲ負ヒ、衛生養護ニ留意シ殊ニ作業時ノ危険防止ニカムベキモノトス

一、實施期間ハ一月中旬ヨリ二月下旬マデヲ原則トスルモ、學校ニ在リテハ授業トノ關係ニ顧ミ成ルベク開始ノ時期ヲ早メ冬期休業中ヲ利用スルコトハ一層適切ナルベシ

青年團員、學校生徒ノ木炭増産勤勞報國運動協議會注意事項 (文部省)

一、生徒ノ参加ニ關スル件

本作業實施ニ當リテハ地方長官ハ地方ノ實情ニ應ジ實行組織ヲ定ムルモノトシ、成ルベク木炭生産地方ニ近接セル學校生徒ヨリ参加セシメラレタシ、尙生徒参加ニ關シテハ進學、健康等ヲ考慮セシメラレタシ

一、作業期間ニ關スル件

作業ハ生産ノ全過程ヲ同一校ノ生徒ヲ以テ充ツルヲ適當トスルヲ以テ約一週間繼續トス、但シ最初ノ窯ノ作業ハ稍々長期ニ互ルヲ以テ成ルベク農學校及農林學校生徒ヲ配スル等適宜ノ取計ラヒ相成リタシ

一、宿泊訓練ニ關スル件

適當ナル設備ヲ有シ宿泊セシムル場合ハ特ニ訓練及衛生等ニ留意セシメラレタシ

一、本作業ニ對スル報酬並ニ經費ニ關スル件

集團勤勞作業ノ趣旨ニ鑑ミ、生徒各自ニ報酬ヲ與ヘザルコトトシ、之ニ要スル經費ハ府縣ニ於テ負擔スルコトトセラレタシ

一、作業器具ニ關スル件

作業器具ハ成ルベク生徒各自ニ持參セシメ、不足ノ分ハ府縣ニ於テ調達セラレタシ

○昭和十五年國民精神總動員運動實施要領ニ關スル件

(昭和十五年一月十九日 直轄各部長、公私立大學、高等專門學校長、神佛各教宗派管長、神佛各教宗派管長、宛文部次官通牒) 官社 四 號 基督教重立者 本省關係諸團體代表者(精勵本部加盟團體ヲ除ク)

農ニ官社一七三號ヲ以テ昭和十五年ニ於ケル國民精神總動員運動實施方針ニ關シ通牒致シタル處之方實施要領別紙ノ通決定相成タルニ就テハ各其ノ實情ニ應ジ有效適切ナル運動ヲ展開セララルル様格段ノ御配意相煩度此段及通牒

昭和十五年國民精神總動員運動實施要領

(昭和十五年一月十日 國民精神總動員委員會決定)

農ニ決定サレタ「昭和十五年ニ於ケル國民精神總動員運動實施方針」ハ左記要領ニ從ヒ之ヲ各地方ノ實情ニ應ジ實際的ニ具體化シテ強力ニ展開セネバナラヌ

一、戰時認識ノ徹底

時局認識ノ徹底ヲ圖ルコトハ、國民精神總動員ノ先行要件ナルヲ以テ、「時局認識徹底方策」ニ基キ時局ノ真相ガ國民ニ普ク滲透スル様一層努メルコト

二、戰時生活ノ推進(興亞生活ノ建設)

奉公精神ニ徹セル剛健ニシテ素朴ナル國民生活ノ確立ヲ期スル爲、興亞生活運動ヲ起スコト

(一) 簡素生活ノ實踐(生活費ノ切下、國民生活綱要ノ趣旨ノ徹底的實踐)

(二) 戰時經濟道德ノ確立(閑取引、賣惜、買溜、買占等ノ徹底的排除)

(三) 戰時食糧ノ充實確保(増産並ニ節米等ノ徹底的實踐)

三、戰時態勢ノ強化

政治、社會各般ノ戰時態勢化ヲ強化スルノ要急々切ナルヲ以テ「時局照應政治的、社會的態勢促進ノ基本方策」ノ各項目ノ速カナル實現ヲ期スルコト

(參照)

昭和十五年ニ於ケル國民精神總動員運動實施方針

(昭和十四年十二月七日) 國民精神總動員委員會決定

昭和十五年ニ於ケル國民精神總動員運動ハ、曩ニ國民精神總動員委員會ニ於テ決セラレタ各種方策ノ具體的實踐ヲ更ニ一層強化擴充スベキコトハ勿論デアルガ、此ノ年ハ又支那事變ノ處理ト國際情勢ノ轉移トヲメグツテ帝國國運ノ隆替ヲ決スル重大ナル時機ニ直面シ國民ノ日常生活ニハ一段ノ困難ノ加ハルベキコトヲ豫想セラレルノデ、本運動ノ飛躍的進展ヲ圖ル必要ガアル

加フルニ恰モ光輝アル紀元二千六百年ニ相當スルヲ以テ、此ノ意義アル年ヲ期シテ愈々強力日本態勢ノ強化ヲ圖リ、東亞新秩序ノ建設ヲ推進スル爲、強力政治ヲ斷行スルト共ニ益々堅忍持久ノ精神ヲ振起シ舉國不動ノ決意ヲ以テ事變目的貫徹ニ邁進スベキデアアル

之ガタメニハ特ニ左ノ諸點ニカヲ注ギ本運動ヲ實施スル必要ガアル

- 一、肇國ノ大理想ト光輝アル國史ニ基キ、東亞新秩序建設ノ世界史的意義ヲ強調シテ、益々勇往邁進ノ氣魄ヲ昂メルコト、之ガタメニハ現下世界情勢ノ推移ト日本ヲ中心トスル東亞ノ歴史、文化等ニ對スル國民ノ認識ヲ一層深メル方法ヲ講ズルト共ニ、新東亞建設ノ意義ノ闡明ニ努メルコト
  - 二、舉國一體タルノ國民的信念ヲ益々昂揚スルト共ニ、皇運扶翼ノ奉公精神ヲ國民ノ日常生活ノ間ニ具現スルニ努メルコト
- 特ニ戰時重大時局ノ眞義ヲ忘却セル非國民的行爲ノ潛行及ビ一切ノ不健全現象ヲ根絶シ、戰時國民道德ノ確立ニヨリ、

東亞ノ指導的立場ニアル大國民的道德ノ具現ヲ期スルコト

- 三、經濟統制ノ強化ニ伴ヒ國民ノ經濟生活ニ及ボス影響益々大ナルベキヲ以テ不撓不屈如何ナル困苦缺乏ニモ堪ヘルノ精神カヲ振起スルト共ニ、公私生活ノ全面的且徹底的刷新ヲ斷行スルヲ興亞生活運動(假稱)ヲ強力ニ展開スルコト
- 四、事變處理ノ進展ニ伴ヒ思想國防ノ重要性益々加ハルベキヲ以テ、言論機關、社會教育機關等ノ活動ヲ促進シ國論ノ統一強化ヲ圖ルト共ニ一層民意ヲ暢達シ眞摯ナル國民ノ聲ヲ十分政府ノ施策ニ反映セシメ官民一體難局ノ打開ニ邁進スル様方途ヲ講ズルコト

五、事變ノ長期化ニ伴ヒ銃後ノ熱意漸次減退スル虞アルヲ以テ、此ノ際一層之ニ對スル國民ノ關心ヲ深メ前線銃後一體タルノ國民的信念ヲ昂揚シテ軍事援護ノ完璧ヲ期スルコト

六、國民精神總動員運動ノ實績ヲ一層效果的ナラシメル爲地域別、職場別、團體別ノ實踐網ヲ整備強化シテ極力其ノ活動ヲ促進スルコト

特ニ各種ノ同種團體ノ統合整理ヲ斷行スルコト

七、都市ニ於ケル國民精神總動員運動ノ實績ハ未ダ不充分ナルモノアルヲ以テ、他ノ方面ニ及ボス影響ノ甚大ナルニ顧ミ特別ナル徹底對策ヲ講ズルコト、尙ホ社會ノ指導的地位ニ在ル者竝ニ股脈產業關係者ニ一段ノ注意ト實踐トヲ促スコト

○教育教化團體ニ對シ御下賜金ノ件

(昭和十五年二月十一日) 各地方長官(文部次官通牒) 發社 五五四號

二月十一日紀元節ニ當リ事業獎勵ノ思召ヲ以テ教育教化團體竝ニ地方教化團體ニ對シ内帑下賜ノ御沙汰ヲ拜シ奉ル 數慮優渥洵ニ感激ニ堪ヘザル處ナリ時恰モ紀元二千六百年我が國ノ使命愈々重キヲ加フル秋職ニ教育教化ニ在ル者一層踴躍以テ

聖旨ニ副ヒ奉ランコトヲ期セシメラレ度此段依命通牒ス  
尙地方教化團體ニ對スル分ハ財團中央教化團體聯合會ヨリ傳達相成ルベキニ付御相成度

○中等學校入學者選抜ノ爲ノ人物考査ニ關スル件

(昭和十五年二月廿六日 各地方長官へ文部省普通學務局長通牒)  
發 普 三 八 號

中等學校入學者選抜ノ爲ニ行ハルベキ人物考査ノ試問事項及其ノ方法ニ付テハ十分考究ノ上學校當事者ヲシテ遺憾ナク實施セシムル様御配慮相成居ルコトト存ズルモ口頭試問ニ於テ萬一小學校ノ教科ニ基クガ如キコトアルニ於テハ客年九月二十八日付依命通牒ノ趣旨ニモ悖リ又之ガ爲ニ將來其ノ準備教育ヲ誘發スルノ虞有之ニ付斯カルコト無之様嚴ニ御督勵相成度依命此段通牒ス

○生徒兒童ニ對スル軍人授護教育ノ徹底ニ關スル件

(昭和十五年二月二十七日 各地方長官へ軍事保護院副總裁文部次官通牒)  
軍事保護院發第一三號

首題ノ件ニ關シテハ地方ノ實情ニ應ジ夫々適切ナル實施計畫ヲ樹立實行中ト被存候モ時局ノ進展ニ鑑ミ、更ニ之ヲ強化シ、生徒、兒童ニ對シ軍人授護ノ精神ヲ一層徹底セシムルハ軍人授護對策上最モ緊要ト被認ニ付、別記要綱ニ基キ地方ノ實情ニ精ヘ之ガ實現ヲ圖リ本趣旨達成ニ格段ノ御配慮相成度此段及通牒候也

軍人授護教育要綱

一、教育目標 中等學校、青年學校及小學校ノ生徒兒童ヲシテ昭和十三年十月三日内閣總理大臣ヲ召サレ賜ハリタル軍人授護ニ關スル勅語ノ聖旨ヲ奉體シテ大ニ軍人授護思想ヲ涵養振起セシムル爲各學校ニ於テハ左ノ事項ニ留意シ其ノ徹底ヲ期スルモノトス

(一) 戰歿軍人、傷痍軍人及出征軍人ニ對スル感謝ノ念ヲ涵養振起シ苟モ年月ノ經過ニ伴ヒ冷却スルガ如キコトナカラシ

ムルコト

- (二) 傷痍軍人ニ對スル認識ヲ深メ其ノ再起奉公ノ國家的意義及之ニ對スル協力支援ノ必要ナル所以ヲ理解セシムルコト
- (三) 軍人ノ遺族及家族ガ益々其ノ家門ノ譽ヲ顯揚シ家庭ノ護リヲ固ウシテ國民タル本分ヲ全ウスルコトノ國家的意義及之ニ對スル協力支援ノ必要ナル所以ヲ理解セシムルコト

二、實施方法

- (一) 勅語ノ捧讀 事變記念日、銃後後援強化運動該當日其ノ他適當ナル機會ニ軍人授護ニ關スル勅語ヲ捧讀シテ聖旨ノ存スル所ヲ深ク服膺セシムルコト
- (二) 教材ノ採取 修身、國語、歴史等ニ於テ努メテ本趣旨ヲ敷衍スルト共ニ作文、習字、圖畫、唱歌其ノ他各教科目ノ教材ニ可及的廣ク本趣旨ヲ取入レ其ノ徹底ニ努ムルコト
- (三) 訓練 勞力不足ノ遺族、家族ノ家業ニ對スル勤勞奉仕ヲ行フノ外校友關係ノ遺族、家族又ハ傷痍軍人ノ家庭ヲ訪問シテ表弔、慰問ヲ爲サシムル等實踐的訓練ヲ通ジテ本趣旨ノ徹底ヲ圖ルコト
- (四) 各種催ノ活用 音樂會、學藝會又ハ展覽會等ヲ開催セントスル場合ハ可及的の本趣旨ニ因ミタルモノヲ其ノ資料ノ中ニ加フルコト
- (五) 共同見學 軍人授護關係ノ諸施設ヲ見學セシムルコト
- (六) 課外講話 機會アル毎ニ本趣旨ニ關スル講話ヲナスノ外適當ナル講師ヲ招聘シテ講話ヲ聽講セシムルコト
- (七) 善行表彰 前掲教育目標ニ照ラシ他ノ模範トスルニ足ル行爲アリタルモノヲ表彰シ一般生徒、兒童ニ對スル教化ノ實ヲラシムルコト

(八) 其ノ他 學校又ハ同窓會等ヨリ配付スル印刷物ニハ可及の本趣旨ニ關聯アル事項ヲ掲載スルノ外本教育ノ資料トシ得ベキ映畫、紙芝居等ハ可成之ヲ利用鑑賞セシムルコト

三、實施上留意スベキ事項

(一) 道府縣ハ管下關係學校教職員ノ講習會、協議會又ハ研究會等ヲ開催シ本件趣旨ノ徹底ヲ圖ルト共ニ其ノ他教職員ノ公私各種ノ會合ヲ機トシテ趣旨ノ普及ヲ期スルコト

(二) 軍人授護ニ關スル各種資料ハ常ニ洩レテ各學校ニ配付シ以テ本件教材ノ資ヲラシムルコト

(三) 各學校ニ於テハ地方ノ實情ニ即シ具體的細目ノ實施計畫ヲ樹立シ以テ系統的ニ之ヲ行フコト、特ニ師範學校及青年學校教員養成所生徒ニ對シテハ其ノ趣旨ノ徹底ヲ期スルコト

○在外國本邦人若ハ本邦人タリシ者ノ子弟ニシテ日本國籍ヲ有セザル者ノ小學校又ハ中等學校入學ニ關スル件

件

(昭和十五年三月十二日 官 普 四 八 號 各地方長官ハ文部省普通學務局長通牒) 文部省實業學務局長

在外國本邦人若ハ本邦人タリシ者ノ子弟ニシテ日本國籍ヲ有セザル者ノ小學校又ハ中等學校ニ入學セントスル場合ノ取扱ニ關シテハ從來夫々適當ニ處理セラレ居ル處ト存スルモ時ニ地方ニ依リ區々ナルモノ有之趣ニ付テハ自今左記ノ通取扱相成度依命此段通牒ス

追而例規中昭和七年七月十八日官普一三〇號各地方廳宛普通學務局長通牒、昭和十年二月十九日熊本縣照會ニ對スル同年二月二十六日熊普六號普通學務局回答ハ自然消滅ノ義ト御了知相成度又標記以外ノ外國人入學ノ取扱ニ付テハ從前ノ通ニ有之爲念

記

一、小學校ノ入學ニ關シテハ便宜取扱ニ依リ本邦人ト同様入學セシメ卒業者ニ對シテハ卒業證書ヲ交付スルコト

二、中等學校ノ入學ニ關シテハ師範學校規程第四十九條、中學校令施行規則第三十九條、高等女學校令施行規則第四十一條

工業學校規程第三條、農業學校規程第三條、商業學校規程第三條、水產學校規程第三條及職業學校規程第二條ニ依リ檢

定ノ上入學セシメ卒業者ニ對シテハ卒業證書ヲ交付スルコト

○師範學校生徒給費ニ關スル件

(昭和十五年三月三十日 各地方長官宛普通學務局長通牒) 發 普 七 〇 號

師範學校生徒ハ本來公費ヲ以テ養成スベキ建前ナルニ地方財政上ノ關係等ニヨリ近年公費生ノ員數及給費額著シク減少セラレ爲ニ生徒募集上ニ尠ナカラザル影響ヲ及ボシ殊ニ最近產業界ノ勃興ニ伴ヒ優秀ナル生徒ヲ招致スルコト甚ダ困難ナル實情ニアリテ將來ノ國民教育上眞ニ憂慮ニ堪ヘザルモノアリト認メラルルニ付テハ道府縣ニ於テハ右ノ趣旨ニ稽ヘ財政ノ許ス限リ公費生ヲ増員スルト共ニ學資支給額ヲ増加スル様ニ御配慮相成度 追テ本件ニ關シテハ內務省ト協議濟ニ付爲念申添フ

○師範教育費及小學校教育費補助ニ關スル件

(昭和十五年三月三十日 各地方長官宛普通學務局長通牒) 發 普 一 二 二 號

今次支那事變勃發以來滿支方面ニ於ケル本邦人ノ増加ニ伴ヒ日本人小學校教員ノ需要著シク増加シ又内地ニ於ケル小學校ノ學級増加ニ伴ヒ小學校教員ノ需要年ト共ニ増加スルニ反シ近年師範學校ノ入學志願者漸次減少ノ趨勢ヲ示シ之ガ爲ニ優良ナル小學校教員ヲ養成スルコト困難トナリ將來國民教育ニ及ボス影響ノ尠カラザルモノアルニ鑑ミ之ガ對策トシテ差當リ男子師範學校第一部生ノ増募ヲ爲スト共ニ師範學校生徒ヲ公費養成トスルノ建前ヲ強化シ一面ニハ小學校教員ノ待遇ヲ改善シ

以テ師範學校ニ優秀ナル生徒ヲ招致センガ爲昭和十五年度ヨリ之ニ要スル經費トシテ師範教育費及小學校教育費ノ補助ヲ増額スルコトト相成タルニ付右御了知ノ上之ニ順應スル適當ナル計畫ヲ樹立セラレ小學校教員ノ養成及待遇上遺憾ナキヲ期セラレ度此段依命通牒ス

記

一、師範教育費補助

1 男子師範學校第一部生徒増募ニ對スル補助

道府縣各男子師範學校第一部ニ一學級ヲ増募セシメ其ノ經費ニ對シ毎年度一學級當約二千二百圓(生徒給費ハ次ノ第二項ニ依リ交付セラレベキニ付此ノ内ニ包含セズ)ヲ交付スルコト

特別ノ事情ニ依リ男子師範學校ノ増募不可能ノトキハ女子師範學校ニ變更スルコトヲ得此ノ場合ニ在リテハ其ノ事情ヲ具シ本省ニ協議スルコト

第一項ノ學級増加ニ伴ヒ必要ナル教室等ニ付テハ當分ノ間建物ノ増築ヲ避ケ特別教室ノ利用等適宜ノ處置ヲ講ズルコト

2 師範學校第一部(女子師範學校ヲ含ム)ノ生徒給費ニ對スル補助

昭和十五年度ヨリ第一部第一學年ニ入學スル生徒全部ニ對シ卒業ニ至ルマデ學資ヲ支給スルコトトシ其ノ經費ニ充ツル爲國庫ヨリ毎年度生徒一人當年額約六十圓ノ補助金ヲ交付スルコト

一、市町村立小學校教育費補助

昭和十五年度ニ於テ市町村立小學校教員ノ年功加俸ニ充ツル爲國庫補助金約

圓ヲ増加交付スルコト

○國庫保存等ニ關シ寺院ヨリ提出スベキ申請書類ニ關スル件

(昭和十五年四月一日 各地方長官宛宛宗務局長通牒)

兩今國庫保存及重要美術品等ノ保存ニ關シ寺院ヨリ當省ニ提出スベキ申請書類ニ付テハ管長ノ承認書及總代ノ同意書ヲ添付セシメラレ度此段依命通牒ス

○國庫ヲ有スル寺院ニ關スル認可ノ取扱方ノ件

(昭和十五年四月一日 各地方長官宛宛宗務局長通牒)

國庫保存上必要有之ニ付兩今左記ノ場合ニ於テハ豫メ關係書類ノ寫ヲ添附ノ上貴見ヲ具シ當省ニ稟議相成様致度此段依命通牒ス

記

一 國庫ヲ有スル寺院ニ付宗教團體法第十一條ノ規定ニ依ル解散ノ認可(昭和十五年文部省訓令第四號第一條ニ該當スル場合ヲ除ク)ヲ爲サントスルトキ

二 國庫タル建造物ヲ有スル寺院ノ境内地又ハ境内建物ニ付宗教團體法施行令第十六條及第十八條乃至第二十一條ノ規定ニ依リ認可ヲ爲サントスル事項ガ國庫タル建造物ノ保存管理上影響アリト認メラルルトキ

○興亞奉公日徹底方策ニ關スル件

(昭和十五年六月十三日 直轄各部長、公私立大學高等專門學校長、神佛各教 宛文部次官通牒)

興亞奉公日ノ趣旨徹底ニ關シ今般國民精神總動員理事會ニ於テ別紙ノ通決定相成タルニ付テハ兩今一層右趣旨ノ徹底ヲ計ラルル様致度依命及通牒



興亞奉公日徹底方策

一、趣旨

昭和十四年八月、政府ハ時局重大ナルニ鑑ミ、「全國民ハ學ツテ戰場ノ勞苦ヲ偲ビ、自肅自省、之ヲ實際生活ノ上ニ具現スルト共ニ、興亞ノ大業ヲ翼賛シテ、一億一心、奉公ノ誠ヲ致シ、強力日本建設ニ向ツテ邁進シ、以テ恒久實踐ノ源泉ヲラシムル日」トシテ、興亞奉公日ヲ設定セリ。爾來、國民精神總動員中央聯盟ハソノ趣旨ノ徹底ニ努メ、官民一途、ソノ實踐ニ當リ、戰時生活ノ確立ニ貢獻スルトコロ多大ナリシトハ云ヘ、ナホ未、前線將士ノ緊張ニ比シ、銃後一部ノ奉公ニ遺憾ナルモノナシトセズ。因テ國民精神總動員本部ハソノ改組ナリタルニ際シ、一層興亞奉公日ノ眞義ヲ徹底シ、上下億兆ノ實踐ヲ通シテ、所期ノ目的ノ貫徹ニ邁進センコトヲ期ス

二、方針

イ、興亞奉公日ノ實踐事業ヲ具體化スルニ當リテハ、常ニ時局認識ヲ新ニスルコトニ努メ、特ニ左ノ如キ積極的方面ニ留

意スルコト

- 1 能率増進
  - 2 増産勵行
  - 3 節米實踐
  - 4 克己生活
  - 5 貯蓄實行
- ロ、官公署ハ益々率先垂範ノ實ヲ舉グルコト

ハ、一般ニ對シテハ益々ソノ眞義ノ徹底ト實踐ノ強化ヲ圖ルコト。必要ナル向ニ對シテハ夫々適切ナル對策ヲ講ズルコト

三、徹底方法

- イ、官公署ニ於イテハ夫々申合等ノ方法ニヨリ、具體的ニ實踐事項ヲ定メ、ソノ遵守ヲナスコト。
- ロ、會社、銀行、商店、工場等ニ於イテハ夫々申合ヲナシ、實情ニ應ジ奉公日ノ實踐ヲナスコト
- ハ、學校、各種團體、實踐網等ハ、夫々奉公日ノ趣旨ノ徹底ヲ圖ルト共ニ、實情ニ應ジ申合等ノ方法ニヨリ、ソノ實踐ヲ強化スルコト
- ニ、花柳界、カフエー、バー等ニ對シテハ、奉公日ノ趣旨ニ反スルガ如キ事態ノ發生ヲ防止スルタメ、積極的ニ指導スルコト。(組合等ノ申合ニヨリ、慰問文、慰問袋ノ作成、各種講習、修養等ヲナシムルコト)

○支那事變勃發三周年行事ニ關スル件

(昭和十五年六月十五日各地方長官宛文部次官通牒)

來ル七月七日ハ支那事變勃發三周年ニ相當スルヲ以テ別紙要綱ニ基キ支那事變三周年行事ヲ實施スルコトト相成タルニ付テハ貴管下各學校ニ於テ右實施方法(三)ノ實施ハ固ヨリコノ機會ニ生徒兒童ニ對シテ聖戰完遂ニ邁進スルノ精神力ヲ振起セシムヘキ適切ナル方途ヲ講シテ將來ニ對スル覺悟ヲ新ナラシメ此ノ日ヲシテ意義アラシムル様御示達相成度此段依命及通牒(別紙)

支那事變勃發三周年行事實施要綱

一、趣旨

來ル七月七日、支那事變勃發三周年ニ當リ、内外ノ情勢益々多事多難ナルニ鑑ミ、愈々時局認識ヲ新ニシ以テ舉國一體

億兆一心、時艱ヲ克服スルノ國民的決意ヲ固メ、東亞新秩序建設ノ國家的使命ニ邁進セザルベカラズ。惟フニ本年ハ紀元二千六百年ニ當リ、二月十一日紀元節ノ佳辰ニハ特ニ詔書ヲ賜レリ。我等臣民ハ支那事變ノ周年ニ賜リタル勅語及ビ紀元二千六百年紀元節ニ當リ賜リタル詔書ノ聖旨ヲ奉體シテ、時局ニ對處シ、至誠奉公、以テ救慮ヲ安ンジ奉ランコトヲ期ス

二、實施方法

- (一) 當日全國一齊ニ國旗ヲ掲揚スルコト
- (二) 當日正午ヲ期シ、全國民ハ各々其ノ在處ニ於テ戰歿將兵ノ英靈ヲ追悼シ出征將兵ノ武運長久ヲ祈念スルコト  
コノ爲同時刻ニハラチオ放送、サイレン、鐘等ヲ用ヒ、周知方法ヲ講ズルコト
- (三) 當日全國市區町村、官公署、學校、各種團體、會社、銀行、工場等ニ於テハ支那事變一周年ニ當リ下賜セラレタル勅語並ニ紀元二千六百年紀元節ニ當リ賜リタル詔書ノ捧讀式ヲ舉行スルト共ニ、戰時下國民ノ士氣ヲ高揚スベク左記實施例中適宜ノ催ヲ地方ノ實情ニ從ヒ、自發的ニ實施スルコト

實施例

- 1 祈願祭ノ執行
- 2 講演會ノ開催
- 3 歸還將士ヲ國々紀念會ノ開催
- 4 傷病將士ノ慰問
- 5 出征遺家族ノ慰問
- 6 慰問袋、慰問文ノ作成
- 7 勤勞奉仕ノ實行
- 8 模範戰演習ノ實施
- 9 武道大會、耐熱行軍等體力鍛鍊ノ實施
- 01 防空防火訓練

其他

附記

- 一、當日ノ紀念會合等ニ際シテ、此ノ日ヲ期シ申合フ爲シ、特ニ能率増進、増産勵行、銃後後援、節米實踐、貯蓄實行等ノ徹底ニ努ムルコト
- 二、講演會ノ開催ニ當リ軍關係講師ヲ必要トスル向ハ地方ニ於ケル陸海軍官衙ト連絡ヲトルコト  
講師派遣ナキ地方ニ於テハ歸還將兵等ヲ以テ之ニ充ツルコト
- 三、學生生徒兒童ニ對シテハ特ニコノ機會ニ於テ精神力ヲ振起セシムルヤウ適切ナル指導ヲナスコト
- 四、各行事ノ實施ニ當リテハ質素ヲ旨トシ紀元二千六百年ノ嚴肅ナル意義ヲモ肝銘セシムルヤウ心掛クルコト
- 五、當日全國ノ劇場、映畫館ニ於テハ事變ヲ記念スルニ相應ハシキ脚本、映畫ヲ上演、上映スルコト
- 六、新聞、雜誌、ラヂオヲ通ジ特ニ國民ノ奮起ヲ促スヤウ指導スルコト

○學生生徒ノ旅行ニ關スル件

(昭和十五年六月二十日各直轄學校長宛文部次官通牒)

學生生徒ノ旅行ノ調整方ニ關シテハ本年三月二十五日附通牒致シ置キタル處鐵道、自動車ノ貨客輸送、物資消費等ノ情勢ニ鑑ミ更ニ一段ト之ヲ強化スルノ要有之ニ付當分ノ間旅行ハ能ク限リ自制シ以テ學徒ヲシテ率先時局ニ即應セシムル方針ノ下ニ左記ニ依リ處理相成度此段依命通牒ス

記

一、旅行ハ左ニ掲クルモノニ限ル

(一) 單ナル見學視察旅行ニ非スシテ實習、調査、研究ノ爲ニスルモノ

(二) 野外演習、集團勤勞、其ノ他訓練ノ爲ニスルモノ

一、日程三日以上ニ渉ル旅行ハ本省ノ許可ヲ受クヘキコト

一、右ノ許可申請ハ別紙要項ヲ具シ旅行期日十五日前到達ノ見込ヲ以テ本省ニ提出スヘキコト

但シ鐵道輸送ニ關シ團體取扱ヲ受ケントスルモノハ施行期日二ヶ月前ニ提出スヘキコト

一、既ニ切符購入等ノ手配ヲ了シ六月末日迄ニ出發スヘキモノハ差支ナシ

(別紙)要項

一、目的

二、日程表

三、參加學生生徒數

四、引率教職員

五、旅費概算

○生徒兒童ノ旅行ニ關スル件

(昭和十五年六月二十日 各地方長官宛文部次官通牒)

生徒兒童ノ旅行ノ調整方ニ關シテハ本年三月二十五日附通牒致シ置キタル處鐵道、自動車ノ貨客輸送、物資消費等ノ情勢ニ鑑ミ更ニ一段ト之ヲ強化スルノ要有之ニ付貴管下各學校ノ旅行ハ當分ノ間左記ニ依リ調整シ學徒ヲシテ率先時局ニ即應セシムル様格段ノ御配慮相煩度此段依命通牒ス

記

一、單ナル見學旅行ニ非スシテ集團勤勞、野外演習其ノ他眞ニ心身ノ鍛鍊品性ノ陶冶ニ資スル旅行ニ限ル

一、日程ハ三日以内トス

但シ演習、勤勞其ノ他訓練ノ爲特ニ同地ニ繼續宿營スルノ要アリト認ムルトキハ此ノ限ニ在ラス

○國民學校教員講習會實施ニ關スル件

(昭和十五年六月四日 各地方長官宛文部省普通學務局長通牒)

今般昭和十六年度ヨリ國民學校制度ノ實施セラルルニ伴ヒ國民學校教員タルベキ現在ノ小學校教員ニ對シ別紙國民學校教員講習會實施要綱ニ依リ再教育講習ヲ行フコトト相成タルニ付テハ右實施要綱ニ依リ委曲了知ノ上之ガ實施ニ當リ其ノ成果ヲ學ブル様特別ノ御配慮相成度依命此段及通牒

昭和十五年國民學校教員講習會實施要綱

一、趣旨 本講習ハ昭和十六年度ヨリ國民學校制度ノ實施セラルルニ伴ヒ國民學校教員タルベキ小學校教員ニ對シ國民學校

制度ノ趣旨並ニ各教科ノ取扱ニ關シ講習ヲ行フモノトス

二、主催 本講習會ハ文部省主催トシ道府縣ニ委託シテ實施スルモノトス

三、講習會場

- 1 開催場所 各道府縣師範學校及女子師範學校
  - 2 名 稱 國民學校教員講習會何々道府縣第一(又ハ二、三、四)會場
  - 四、講習員 地方長官ノ選定シタル小學校長及教員
  - 五、講習員數 一會場一回五〇人
  - 六、講師 師範學校ノ校長及教員等ニ付地方長官ニ於テ選定スルコト
  - 七、講習期間 三週間(講習日數十八日間)  
但シ日曜日ニ於テモ講習ヲ實施スル場合ハ期間ヲ十八日ニ短縮スルモ差支ナシ
  - 八、講習時數 毎日六時間
  - 九、講習開催回数 昭和十五年七月ヨリ昭和十六年一月マデノ間ニ於テ七回(毎月一回)開催スルコト
  - 一〇、講習修了者
    - 1 所定ノ講習ヲ修了シタル者ニハ修了證書ヲ受與スルコト
    - 2 各小學校ニ於テ「國民學校研究會」ヲ設ケシメ講習修了者ヲシテ其ノ中心ヲラシムルコト
- 一一、注意事項
- 1 講習會ノ開講及閉講ニ當リテハ必ず嚴肅ナル式ヲ舉行シ開講式ニ於テハ教育ニ關スル勅語ヲ、閉講式ニ於テハ小學校教員ニ賜リタル勅語ヲ奉讀スルコト
  - 2 國民學校制度ノ趣旨並ニ各教科ノ取扱ヒニ關スル講習時數ハ概ネ左表ニ依ルコト

研究時間ニ於テハ講師ヲ中心トシテ研究及質疑應答ヲ行フモノトス

教科	別	講義時數	研究時數	總時數
國語	國語	七時間	三時間	一〇時間
算術	算術	一五時間	四時間	一九時間
理科	理科	七時間	三時間	一〇時間
理科	理科	一二時間	四時間	一六時間
理科	理科	一六時間	四時間	二〇時間
理科	理科	一二時間	三時間	一五時間
理科	理科	六九時間	二二時間	九〇時間

3 講習ニハ前號ノ外左ノ事項ヲ加フルコト

(イ) 日本精神ニ關スル事項

(講習時數 一二時間)

(ロ) 時局ニ關スル事項

(講習時數 六時間)

右事項ニ關スル講習ノ講師ハ地方長官ニ於テ選定スルコト但シ師範學校長及教員以外ノ者ヲ以テ之ニ充ツル場合ハ豫メ本省ニ報告スルコト

4 道府縣ニ於テ講習日程ヲ決定シタル上ハ之ヲ本省ニ報告スルコト

昭和十五年 文部省例規